

第1回
「終末期医療に関する調査」結果を解析するための
ワーキングチーム会議

議事次第

平成20年12月19日(金)
10時30分～12時00分
中央合同庁舎5号館 18階
専用第23会議室

議題

1. 「終末期医療に関する調査」結果の解析の手順について
2. その他

(配布資料)

- 資料1・・・「終末期医療に関する調査」結果の解析の手順について (案)
- 資料2・・・第1回終末期医療のあり方に関する懇談会
データ解析に関する発言 議事録より抜粋
- 資料3・・・平成19年度「終末期医療に関する調査」結果
- 資料4・・・コメント要領
- 参考資料・・・終末期医療に関する調査等検討会報告書
(平成16年7月)

第1回終末期懇談会ワーキング会議	資料1
平成20年12月19日	

「終末期医療に関する調査」結果の解析の手順について（案）

- (1) 「終末期医療に関する調査」結果(資料3)の各項目すべてについてコメントを付してはどうか。

- (2) 「終末期医療に関する調査」結果全般の傾向(例えば、年齢による相違、疾患による相違、職種による相違、等)について、コメントを付してはどうか。

※

- ・ (1), (2)について、各委員の意見を平成21年1月●日までに資料4の要領にて事務局に送付。
- ・ 事務局は送付された意見を集約し、解析案のたたき台を作成。
- ・ その後、第2回ワーキングチーム会議で解析案たたき台を基にとりまとめに向けて討議。

第1回終末期懇談会ワーキング会議	資料2
平成20年12月19日	

第1回 終末期医療のあり方に関する懇談会
データ解析に関する発言 議事録より抜粋

○伊藤委員 医療職の人が一般の人よりも関心が高いという説明だったと思いますが、回答率を見ると、一般の人が50.5%、医師は35.0%、看護職は43.3%です。どこをもって、医療職の人は一般の人よりも関心が高いと言われるのかがわからないのです。

それから、リビングウィルについて、高齢者の方の支持率がすごく低いわけですが、それはなぜなのでしょう。書き換えができないと思っている方が多いことを反映しているのかの説明していただきたいです。

もう1つは、延命医療を望むか望まないかで、望まない人が多いという説明だったのですが、確実に望む人もいます。そのことについて、多数だからという言い方で説明されることが、果たして適切なものかどうか。そこら辺がわからないのですが、説明をいただけますか。

○事務局 関心が低いということですが、調査項目の中で、あなたは関心がありますかという質問があります。ここを解析していただければと思います。

リビングウィルの高齢者の解析ですが、これについては解析しておりません。

さらには延命医療に関しては、それも同じように、我々の中でまだ解析はしておりません。

○樋口委員 大きな話と小さな話をしたいと思います。まず、大きな話をすると、この調査の調査結果がまとめられて、これをどう考えるか、どう読むかはなかなか難しいと思います。とは言え、限られた時間の中で伝えられたことがメディアを通じてどのように伝えられるのだろうか少し心配です。それから、こういう部分について解析はできていませんというのもどうかと思います。そこで重要なのは、調査は終わった、そこでまず、解析を誰がやるのかという問題なのです。読み方を丁寧にして何らかの傾向を抽出する必要があります。これまでも何回かやっていることの調査ですので、連続性を持って何か新しい点がありそれを出せるものは出したほうがいい。ただし、そうは言っても、何らかの解析をした結果、そこからこれだけの調査で何かが出てくるかというそれがまた大きな問題です。この調査だけからどこかへというので、何らかの結論を出して、何か新しいことをやりましょうという話に、すぐ飛び付いていけるかという、それはまた難しい問題だと思ふのです。そこは、こんなこと私が言わなくても、そんなに無謀な人はいないと思いますが、解析は重要だが、そこから直ちに何らかの結論や結果を出そうとするものではない、そういうものではないという話で、そういう話を確認しておいたほうがいいのかと思います。

次に、それを前提にしたうえで、小さな話をします。順不同で気づいたことだけ申し上げますが、さっきの報告の中で、家族に聞いたときと、本人に聞いたときと、延

命治療に対する態度について随分差が見られたという点が新しいかのような指摘がなされました。実は、それは前の報告書でも同様の傾向が見られており、しかもその理由は十分かつ容易に説明の付く点だと考えています。それが1点です。

それから、資料3の10頁で「治療方針の決定」のところ、誰の意見を聞きますかという項目があって、これも前の調査でも同じ結果が出ているのですが、患者の意見が大事ですねという結果が出てきているというのですが、よく見ると、真ん中のいちばん大きな青い部分ですが、「患者本人の状況をみて誰にするかを判断する」と書いてあります。それを本人の意思尊重に入れているかのような結論になっている。これはおかしいですね。ですから、結局わからないということです。わからないということなのですが、今日の報告もそうなのですが、患者本人の意見をみんなで重視していると結論づけるのは、あまりに乱暴な話です。これが2つ目です。

3つ目は、今日大臣もわざわざ、終末期といってもいろいろあって、高齢になった人だけを対象として議論するわけではないということを言われました。実態的には高齢になって亡くなっている人も多いので、70歳以上の回答者がどう答えたかについて、わざわざ説明を受けるわけです。これはあくまでも誤解のないようにということで、70歳以上だけをターゲットにここで議論をするわけではないということを強調しておいた方がいいかもしれません。70歳とか75歳とかで線引きをすることについてはとかく疑問が生じやすいことがあります。しかし、今回の調査については、線引きをすることが目的ではなく、年齢によって意識の違いがあるかどうかを見ているだけです。今回は結果を提供しただけですということは、繰り返し申し上げたほうが、メディアにも誤解がないようにお願いするには必要かもしれません。

今度は資料2の最後16ページで、これは解説の1つの例だと思いますが、「余命6カ月以内の医療については、緩和ケア、自然に死期を迎えるケアの順に希望しているが、後者の割合が年々増加傾向にある」。私は緩和ケアの専門家ではありませんが、私の隣にはそういう人がおられます。ここでの記述の仕方を素人が見ると、緩和ケアはあまり充実させなくていいのではないかというように理解される結果が出てきているような気がします。しかし、これは、こういうアンケート調査のあり方自体と、そこから導かれる結論について、現場におられる緩和ケアの専門家からして何らかの御意見があるのではないかと思います。

○町野座長 いくつかありましたが大きいのは、分析して、これを一体どこで捉えるのがいいのかという話です。いままで全3回の最終的な分析した報告を出していただいて、それは樋口さんから言われた。今回もそれと同じようなその結果を分析する。よろしいですか。その過程で、これからまとめるに当たって前回までと同様にいろいろな議論をされていて、特に2回と3回と回を重ねていてかなりいろいろ難しい。ただ、いまの点につきまして、何か調査されるとか、分析の仕方を考えられると思います。

○事務局 いま座長がおっしゃられたとおり、今後議論を深めていただきまして、まず、こういうことがあるという実際の事例をいくつか紹介させていただきます。今後さらに議論を深めていただきたいと思っております。

さらには、本題につきましては、我々今回は単純にデータ集計等をさせていただきます

ました。そのあと、例えば今度こういうデータがほしいとか、こうした解析をすればとか、ご意見を踏まえた上で、考えていきたいと思います。

○町野座長 先ほどの緩和ケアのに出ていますが、報告書の中には、例えば 70 歳以上で解析しているという意味を伝えるべきであると思います。

○中川委員 データを分析した後、この会から、何らかの提案ができないものか、と思うわけです。そうでないと 5 年前と同じ結論で終わってしまうのではないのでしょうか。現在、社会的に問題になっている、救急医療や神経難病（筋萎縮性側索硬化症、ALS）についても、この会から何らかの提案ができないのでしょうか。

第1回終末期懇談会ワーキング会議	資料3
平成20年12月19日	

「終末期医療に関する調査」結果

本調査について	2
結果	
(1) 終末期医療に対する関心	4
(2) 病名や病気の見通しについての説明	8
(3) 治療方針の決定	10
(4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方	11
(5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方	25
(6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に 対する医療のあり方	34
(7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法	43
(8) 終末期医療に対する悩み、疑問	52
(9) 終末期における療養の場所	57
1) 死期が迫っている患者	57
2) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者 ..	69
(10) がん疼痛治療法とその説明	89
(11) 終末期医療体制の充実	91
調査票と結果の対照表	108

本調査について

(1) 調査目的

- 患者の意思を尊重した望ましい終末期医療のあり方について検討する際に、議論の参考とするために実施。

(2) 調査対象及び客体

- 前回(平成15年)の調査と同様、一般国民、医師、看護職員及び介護施設職員(介護老人福祉施設の介護職員をいう。以下同じ。)を対象に意識調査を実施した。調査客体の数は計14,402人(前回13,794人)であった。
- 一般国民
 - 全国の市区町村に居住する満20歳以上の男女から5,000人を層化二段無作為抽出法にて抽出し、客体とした。
 - 各地点の標本数が22～39程度となるように国勢調査区(平成17年)から150地点を無作為に選んだ。
 - 150国勢調査区の住民基本台帳から客体を無作為に選んだ。
- 医師、看護職員
 - 病院・診療所・緩和ケア病棟の医師3,201人と病院・診療所・緩和ケア病棟・訪問看護ステーション・介護老人福祉施設の看護職員4,201人を客体とした。
 - 病院については、全国から1,000施設を無作為に選び、各施設で医師2人と看護職員2人を選定した。
 - 診療所については、都道府県ごとに23施設、計1,081施設を無作為に選び、各施設で医師1人、看護職員1人を選定した。
 - 緩和ケア病棟は、全国120施設の全数を対象とし、各施設で医師1人と看護職員1人を選定した。
 - 訪問看護ステーションについては、全国から500施設を無作為に選び、各施設で看護職員1人を選定した。
 - 介護老人福祉施設については、全国から500施設を無作為に選び、各施設で看護職員1人を選定した。
 - 各施設内の調査対象者の選定は各施設に任せた。
- 介護施設職員
 - 介護老人福祉施設については、全国から2,000施設を無作為に選び、各施設で介護職員1人を選定し、2,000人を客体とした。
 - 各施設内の調査対象者の選定は各施設に任せた。

(3) 調査期間

- 平成20年3月

(4) 調査項目

- 調査項目については、以下のとおりである。調査対象者の意識の変化が把握できるように

前回調査に沿う内容としたが、「終末期における療養の場所」について、従来の「死期が迫っている場合」に加え、「脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した場合」を加えたほか、具体的な延命医療の中止の時期や内容等の質問を加えた。

- (1) 終末期医療に対する関心
- (2) 病名や病気の見通しについての説明
- (3) 治療方針の決定
- (4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方
- (5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方
- (6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に対する医療のあり方
- (7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法
- (8) 終末期医療に対する悩み、疑問
- (9) 終末期における療養の場所
 - 1) 死期が迫っている患者
 - 2) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者
- (10) がん疼痛治療法とその説明
- (11) 終末期医療体制の充実

(5) 調査の方法

- 郵送法

(6) 結果の集計及び集計客体

- 調査対象者数、回収数は表のとおりであり、回収率は46.0%であった。

表 「終末期医療に関する調査」回収結果

対象者	対象施設	調査人数(人)	回収数(人)	回収率(%)
一般国民	—	5,000(5,000)	2,527(2,581)	50.5(51.6)
医 師	計	3,201(3,147)	1,121(1,363)	35.0(43.3)
	病院	2,000(2,000)		
	診療所	1,081(1,034)		
	緩和ケア	120(113)		
看護職員	計	4,201(3,647)	1,817(1,791)	43.3(49.1)
	病院	2,000(2,000)		
	診療所	1,081(1,081)		
	緩和ケア	120(113)		
	訪問看護ステーション	500(500)		
	介護老人福祉施設	500(-)		
介護施設職	介護老人福祉施設	2,000(2,000)	1,155(1,253)	57.8(62.7)
総 計		14,402(13,794)	6,620(6,988)	46.0(50.7)

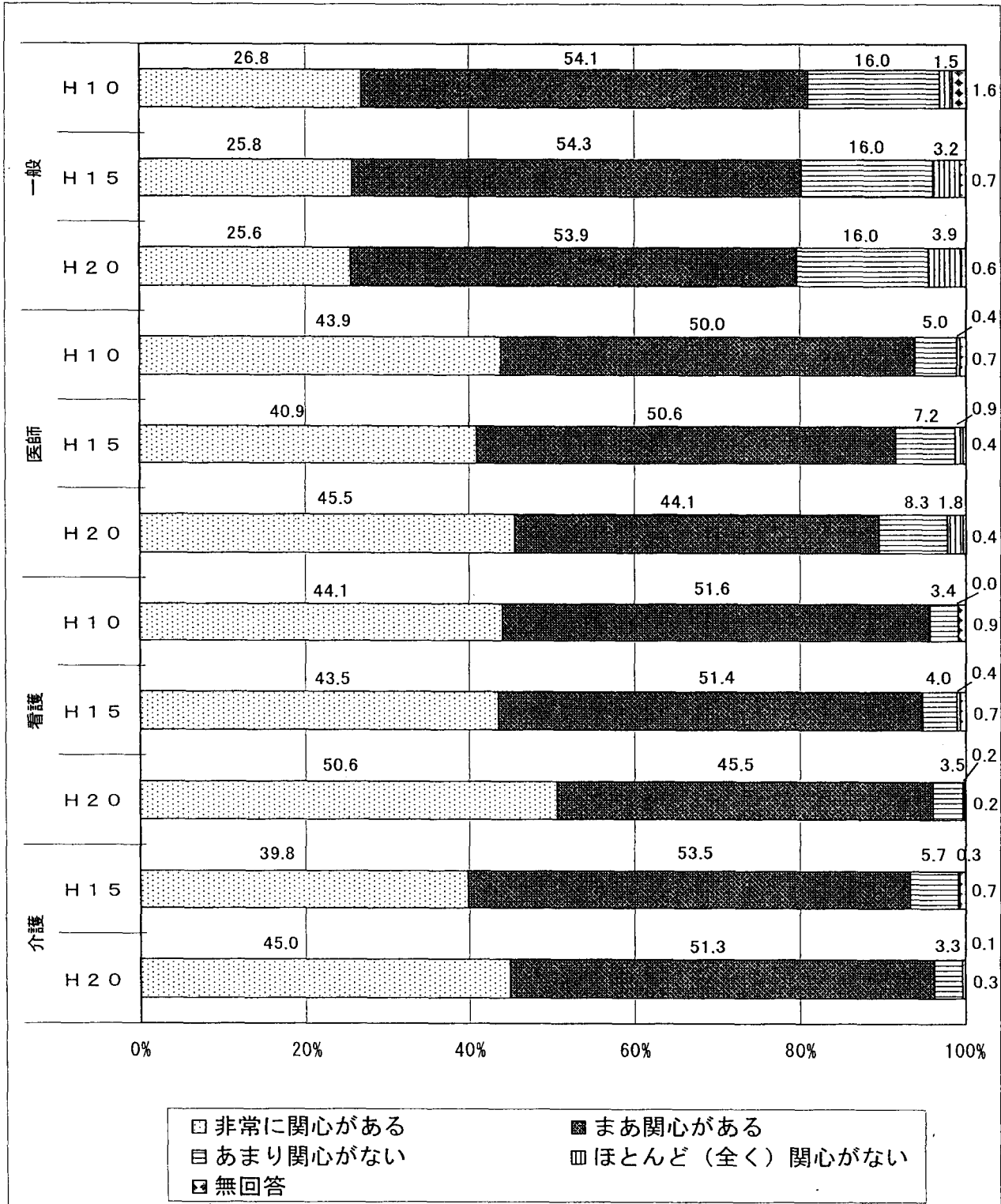
注) () 内は前回調査結果

結果

(1) 終末期医療に対する関心

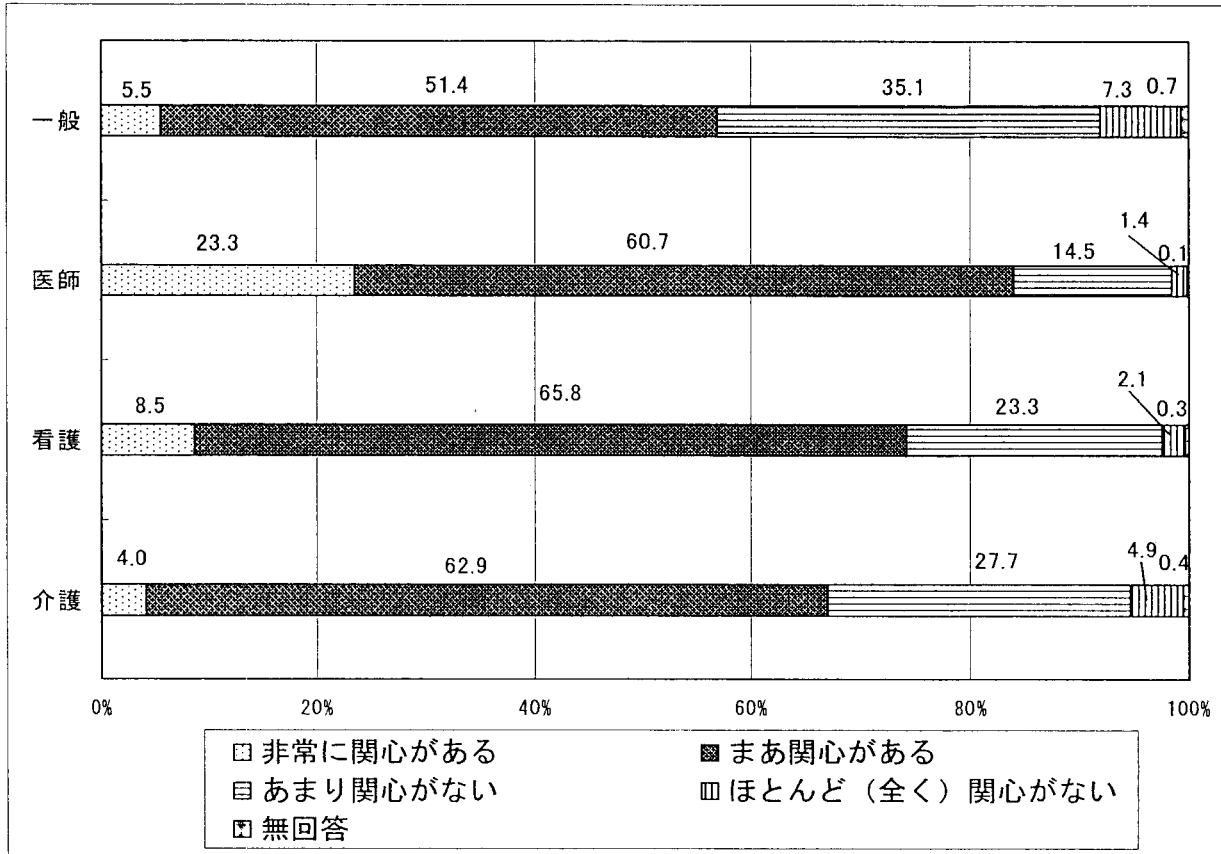
【問1】

近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）



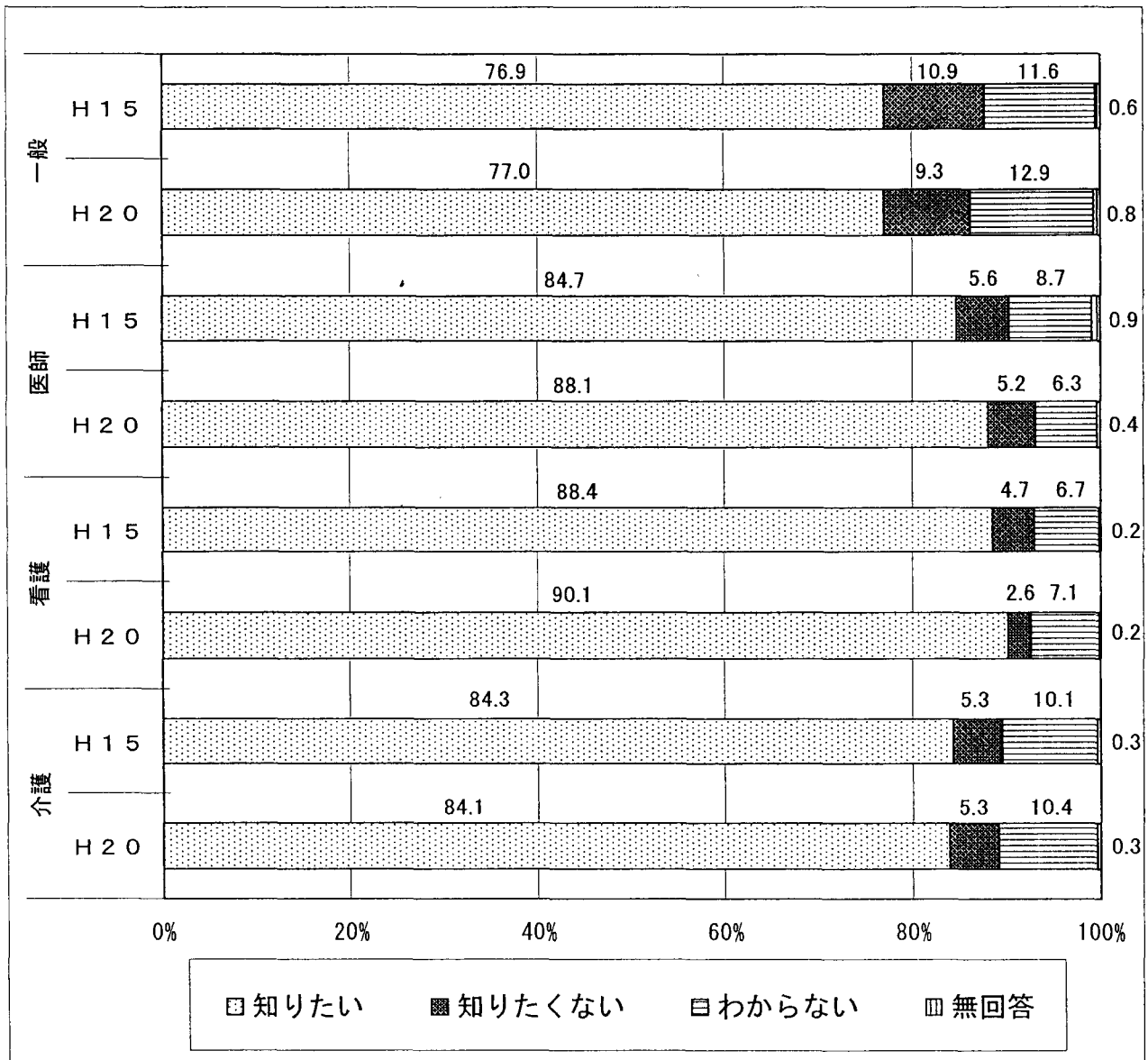
【問1 補問】

(問1で「1非常に興味がある」「2まあ興味がある」をお選びの方に) あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル(書面による生前の意思表示)」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。(〇は1つ)



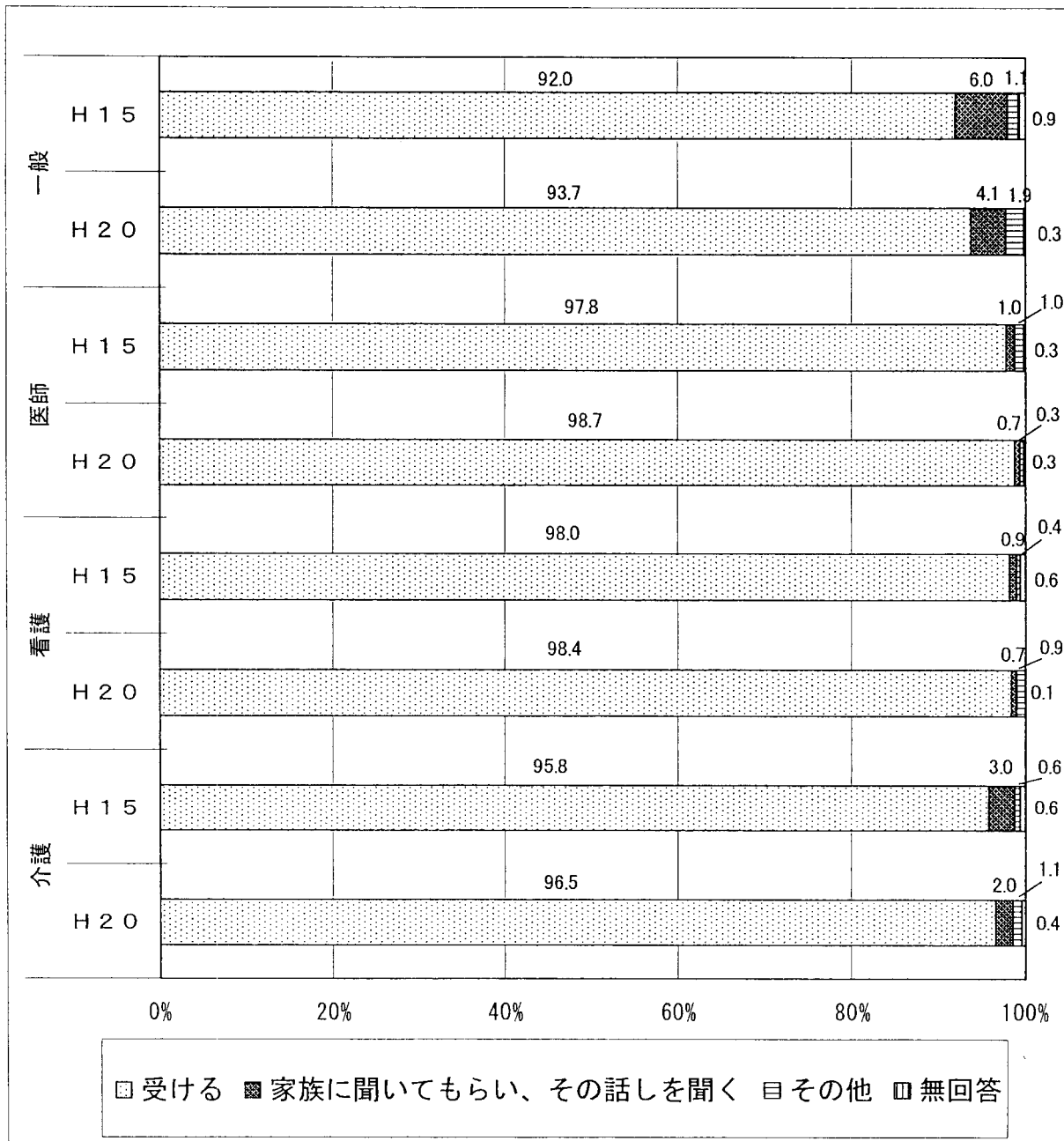
【問2】

あなたご自身が治る見込みがない病気になった場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）



【問2補問】

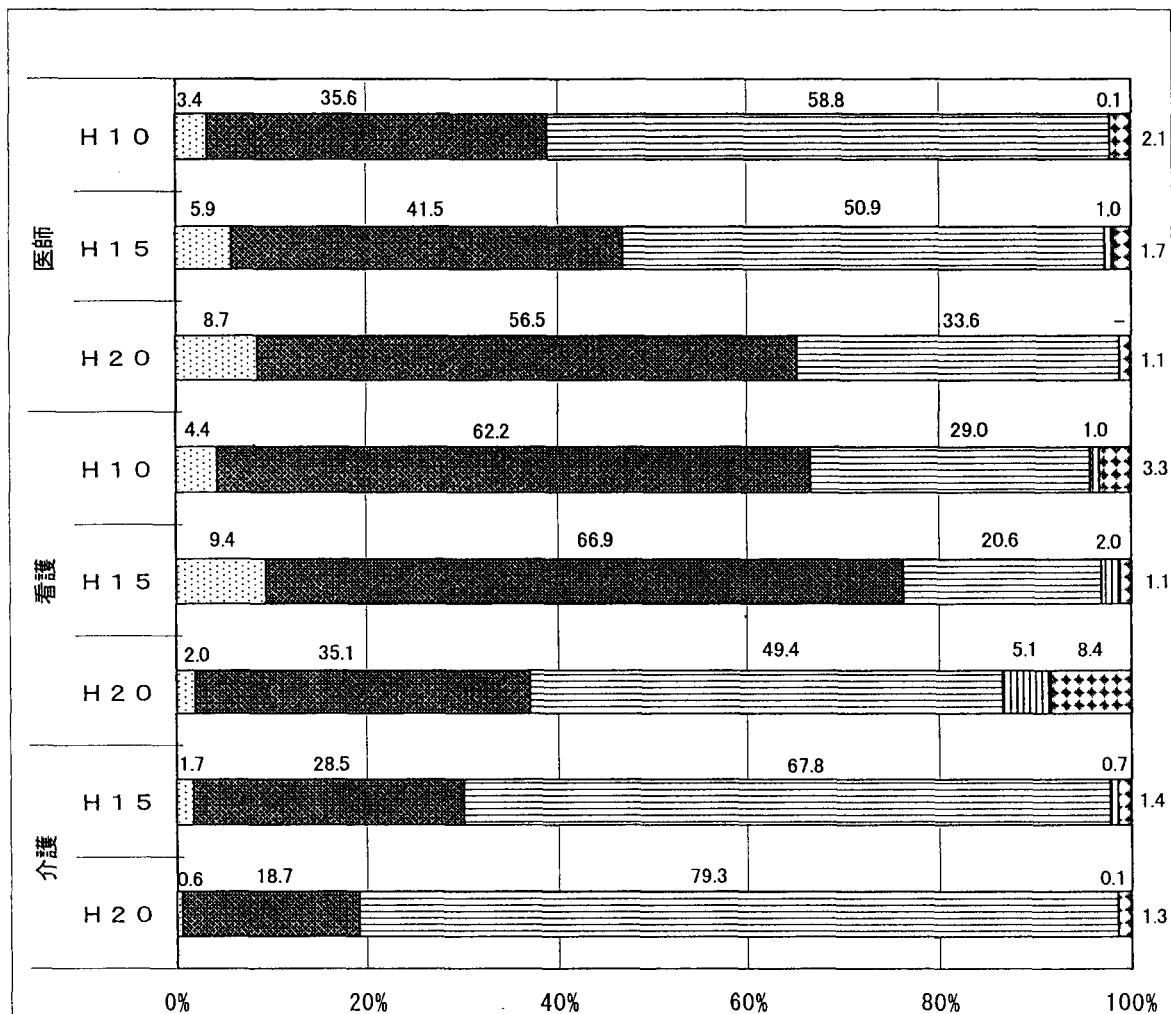
(1「知りたい」をお選びの方に) この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いますか。(〇は1つ)



(2) 病名や病気の見通しについての説明

【(医療従事者) 問6】

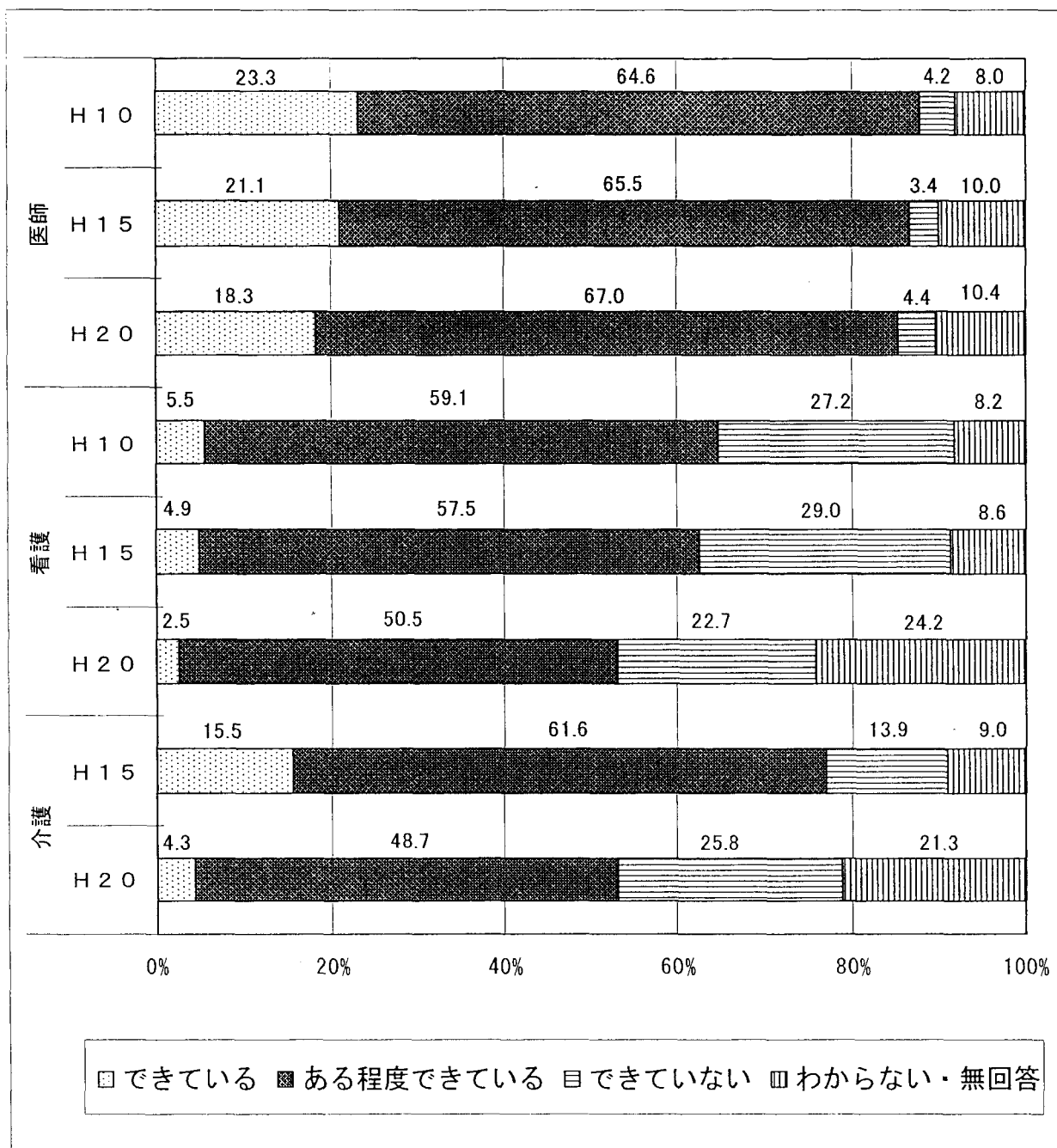
あなたの担当している患者(入所者)が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、まずどなたに説明をしますか。(〇は1つ)



- 患者本人に説明する
(患者・入所者本人に説明すべきである)
- 患者本人の状況を見て患者に説明するかどうか判断する
(患者・入所者本人の状況を見て患者・入所者に説明するかどうか判断した方がよい)
- 家族に説明する
(家族に説明した方がよい)
- 患者本人、家族ともに説明しない
(患者・入所者本人、家族ともに説明しない方がよい)
- わからない・無回答

【(医療従事者) 問7】

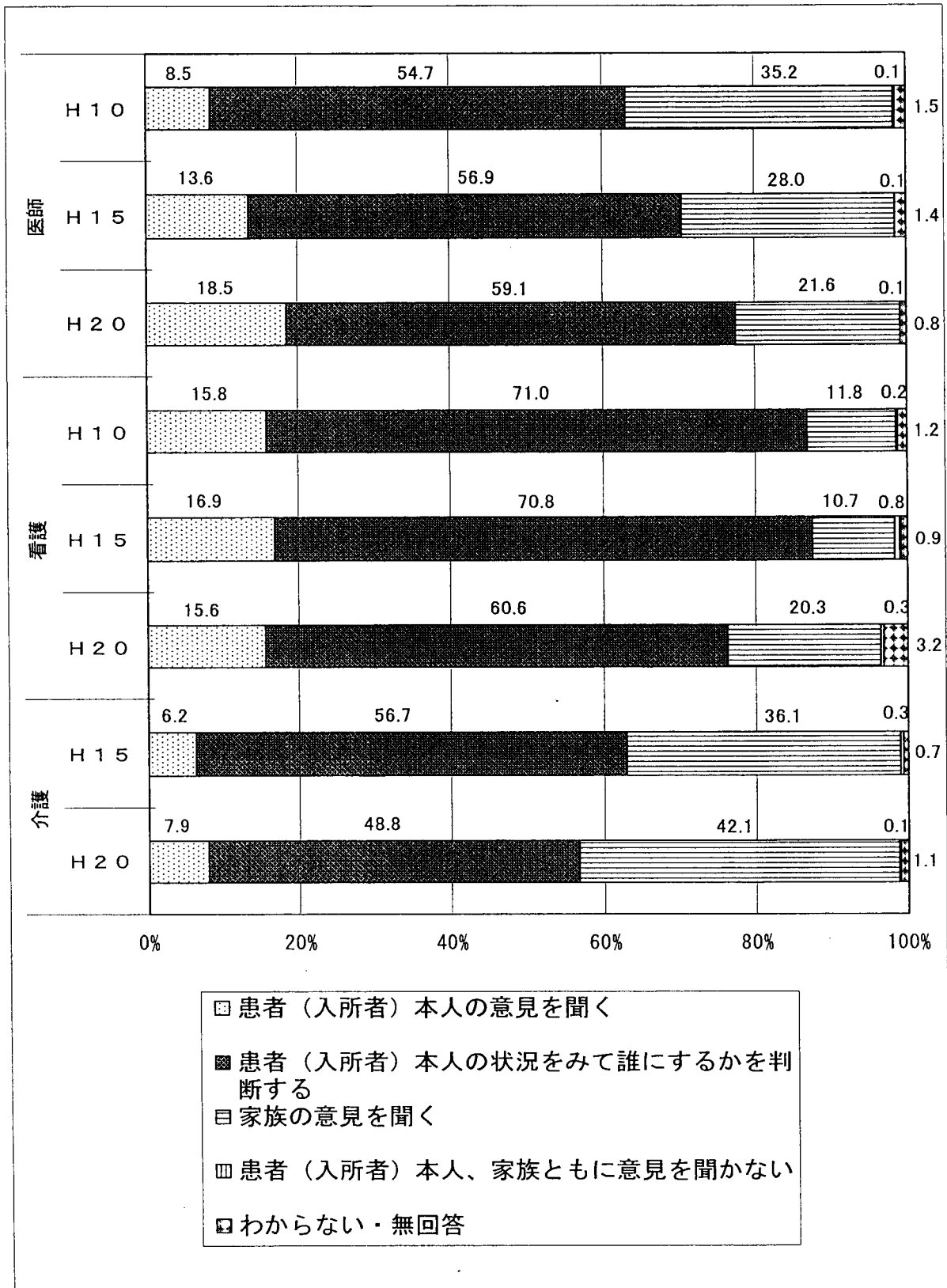
あなたは病名や病気の見通しについて、患者（入所者）や家族が納得のいく説明ができていると考えていますか。(〇は1つ)



(3) 治療方針の決定

【(医療従事者) 問8】

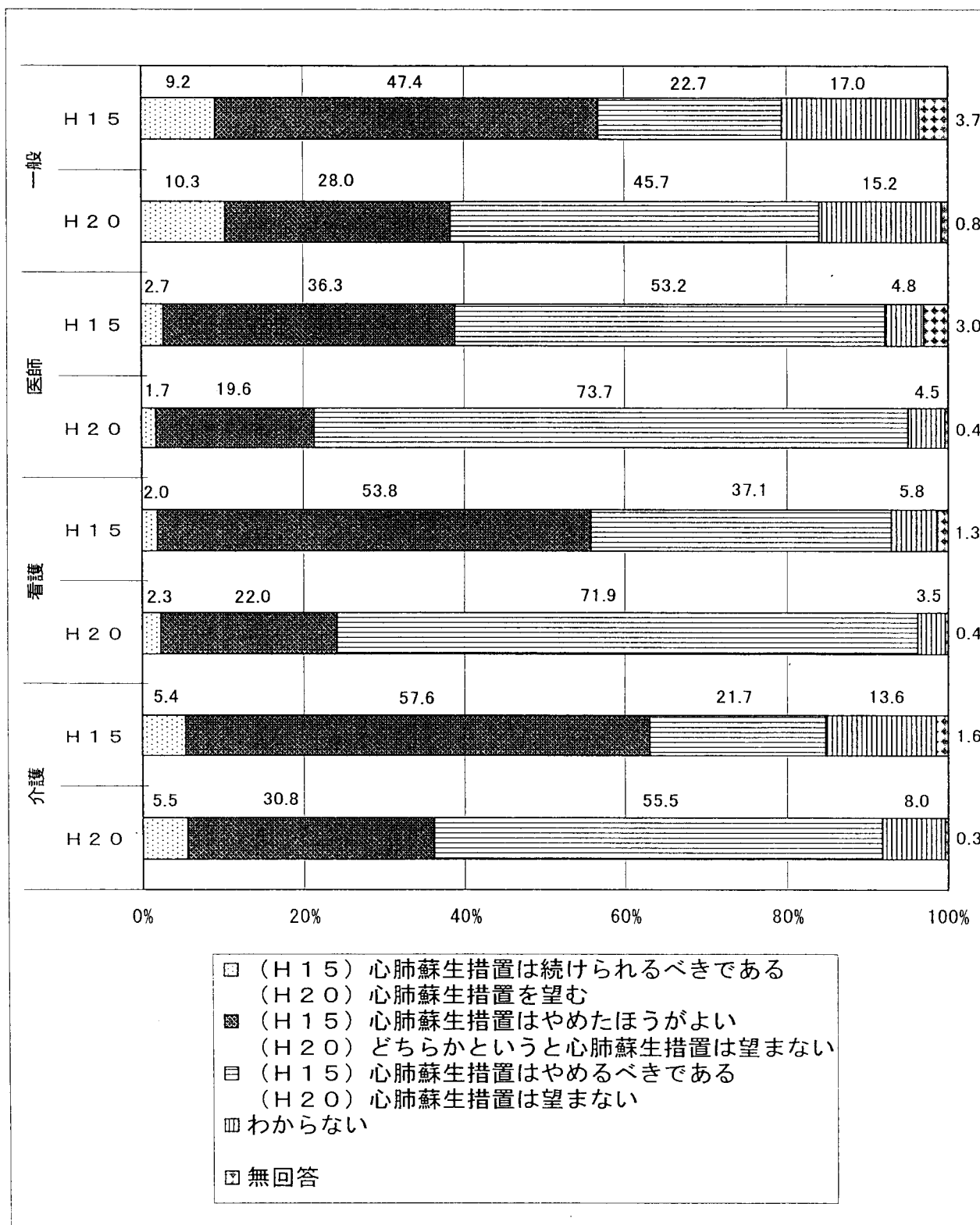
あなたの担当している患者(入所者)が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか。(〇は1つ)



(4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方

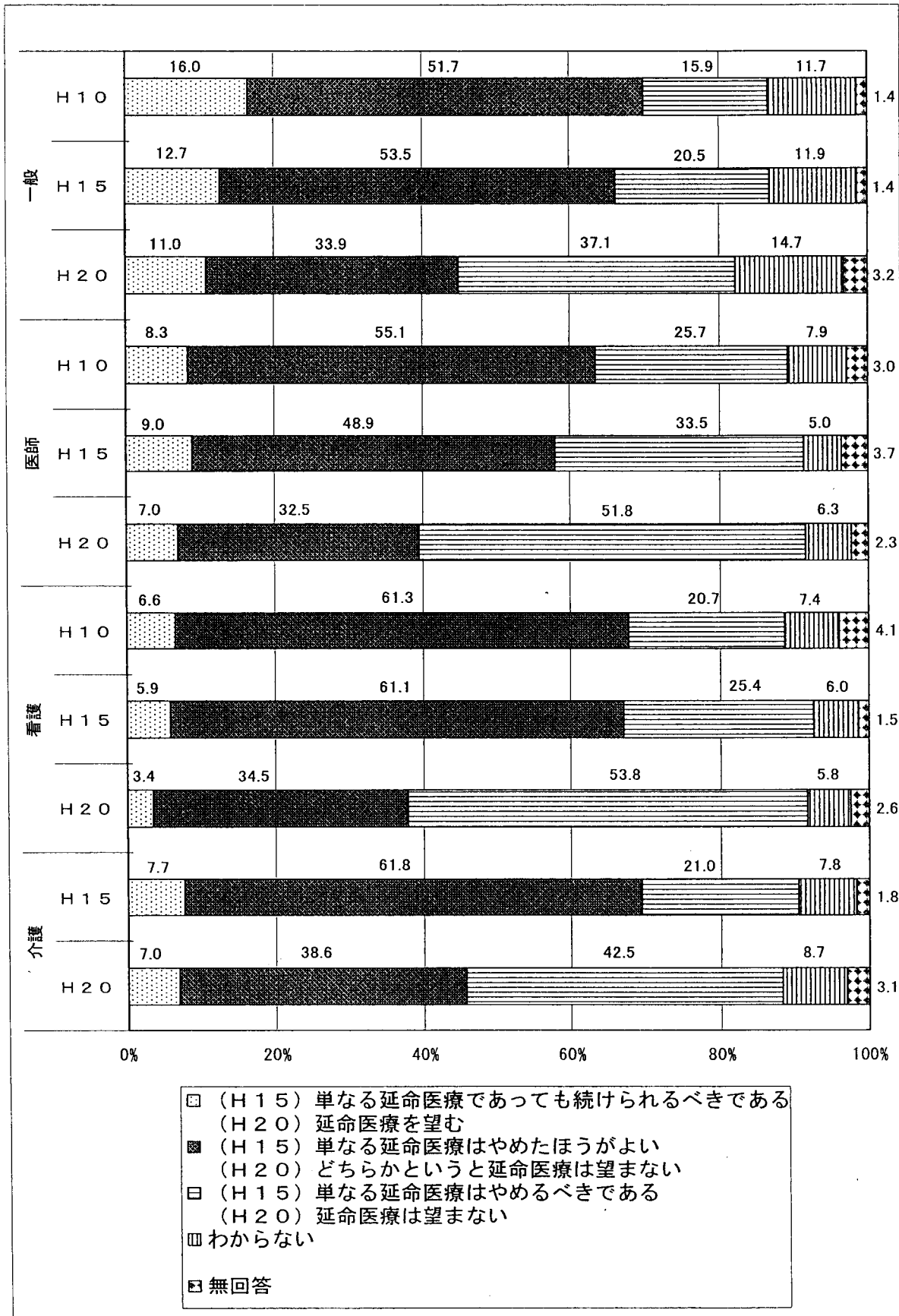
【問3】

あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。（○は1つ）



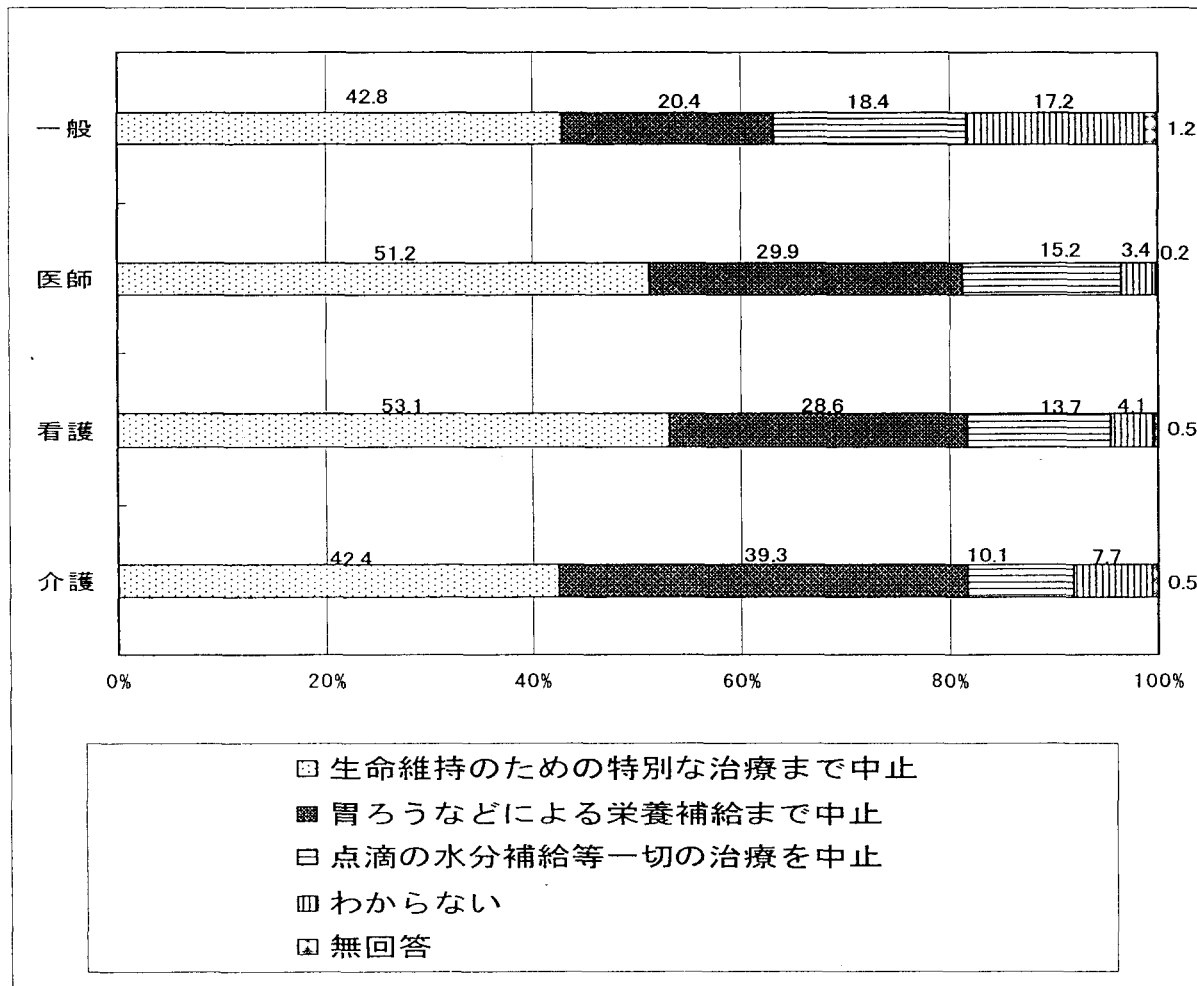
【問4】

あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、延命医療を望みますか。（○は1つ）



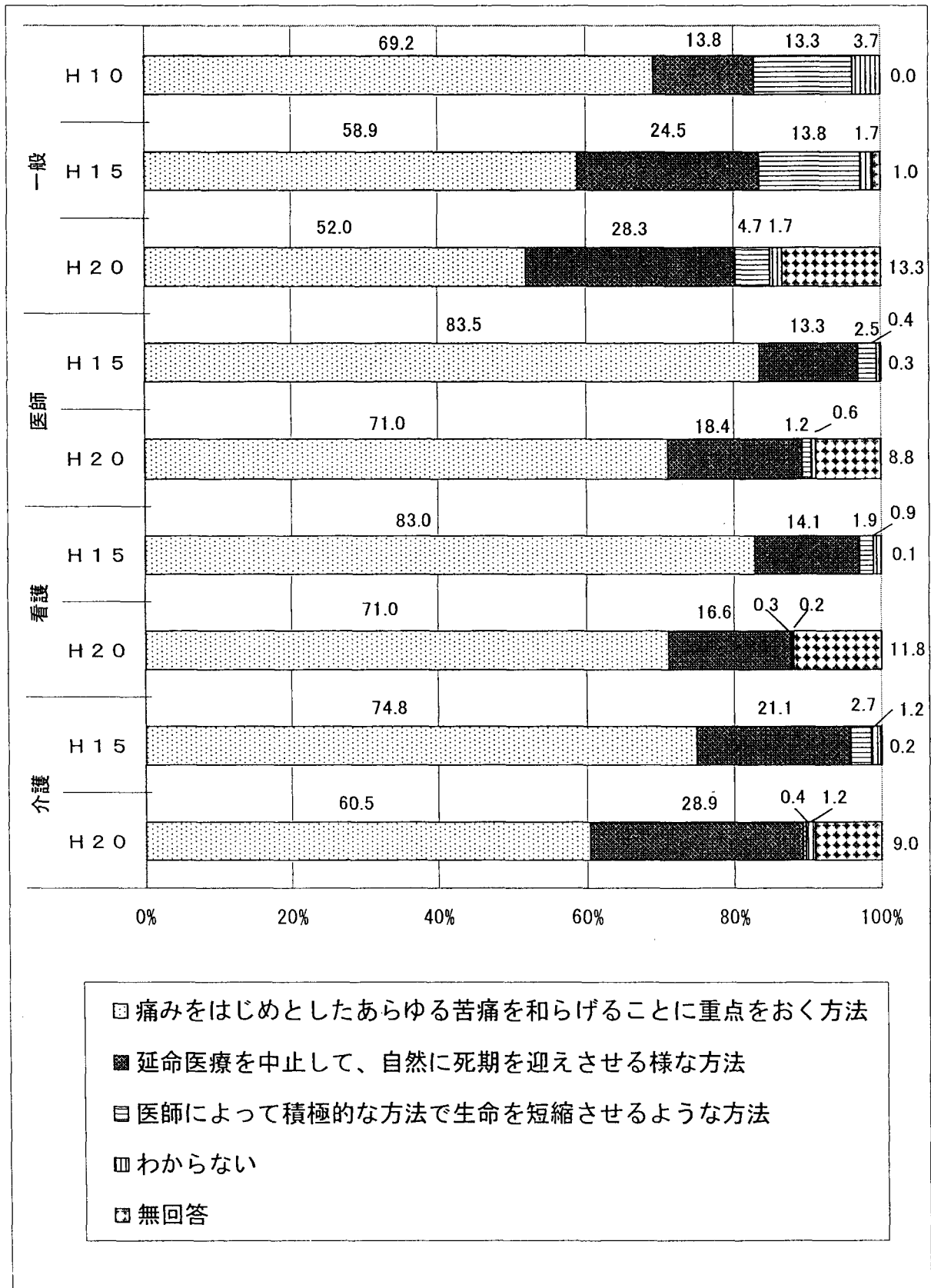
【問4補問1】

(問4で「2どちらか」といって延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



【問4補問2】

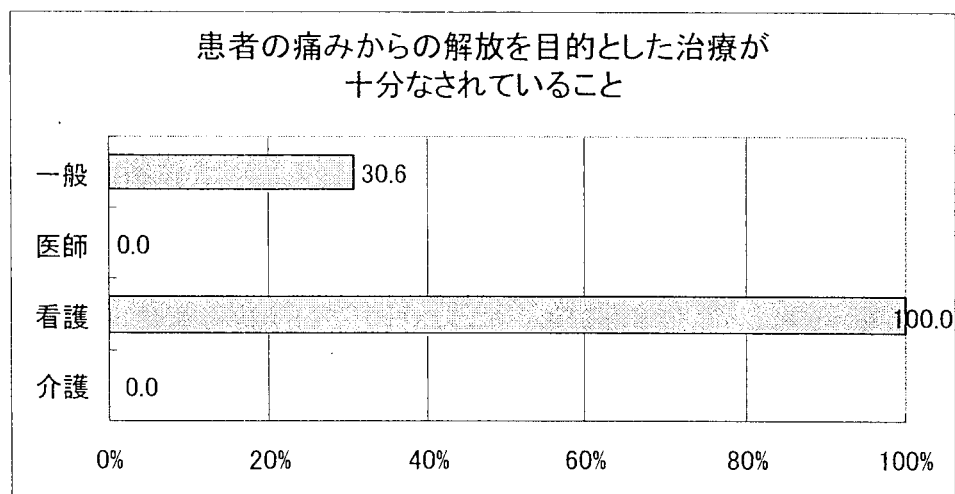
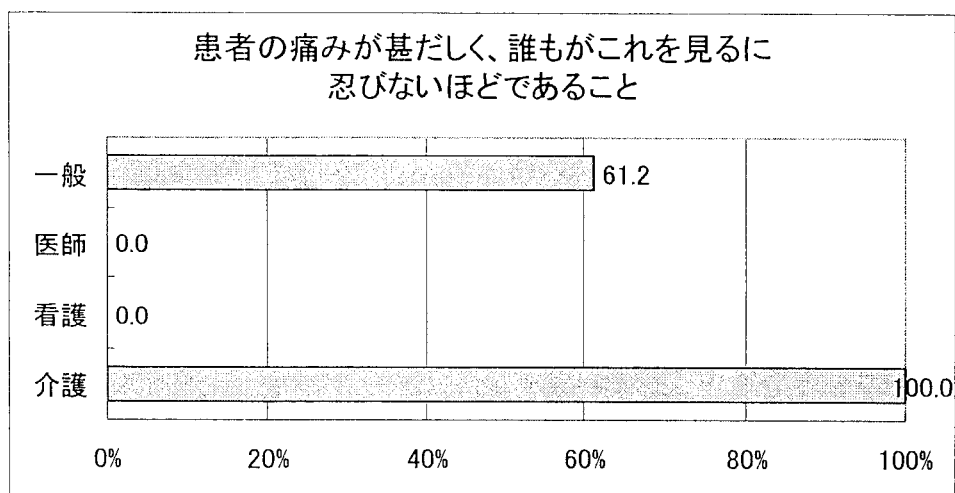
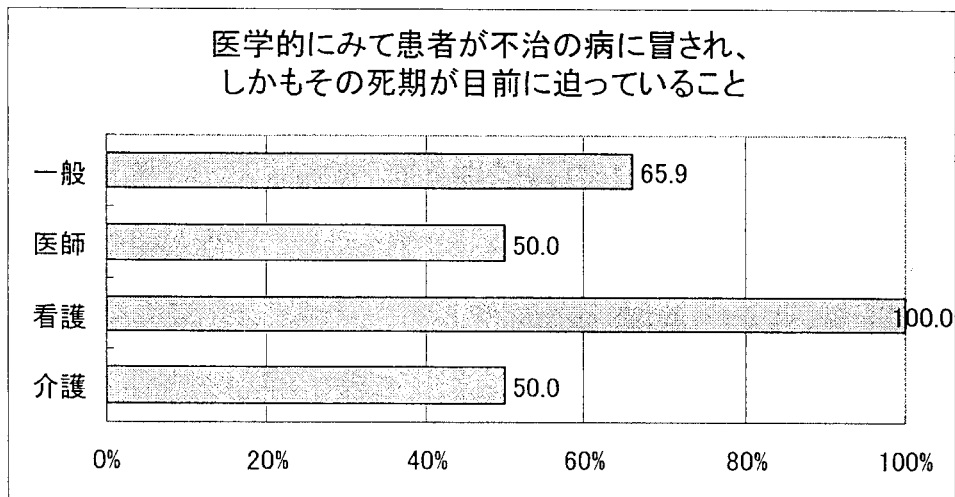
(問4で「2どちらかという延命医療を望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



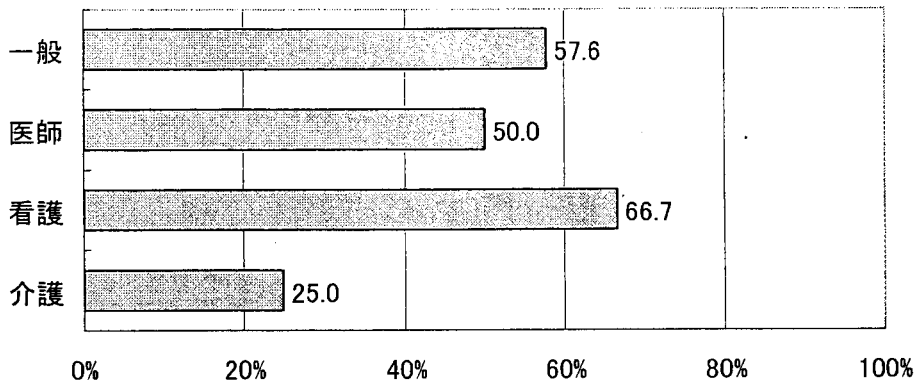
【(一般) 問4 補問3】

【(医療従事者) 問9 補問3】

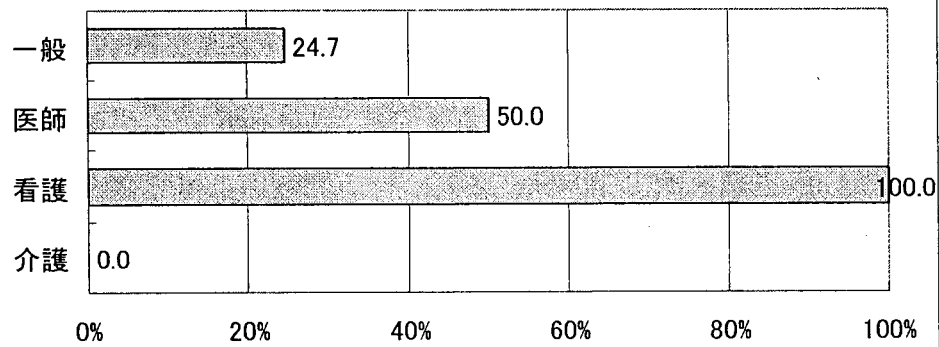
(問4、9の補問2で「3医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法」をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要になるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。(〇はいくつでも)



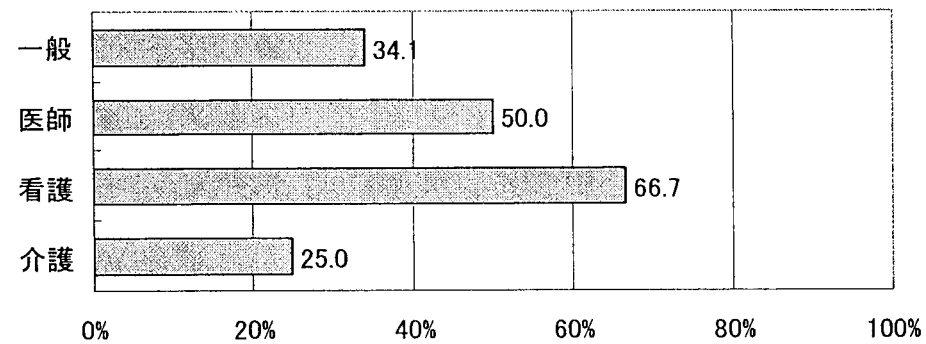
患者本人の強い要請があること



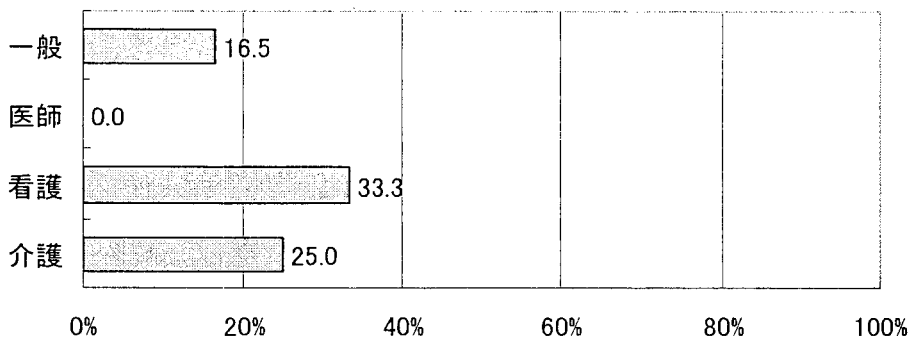
方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること



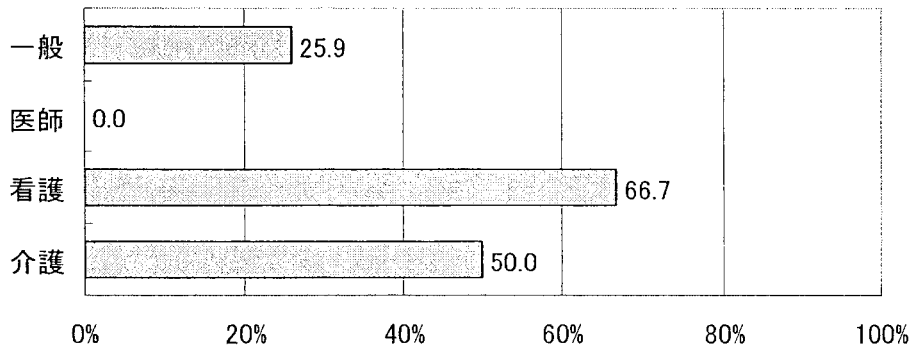
医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること



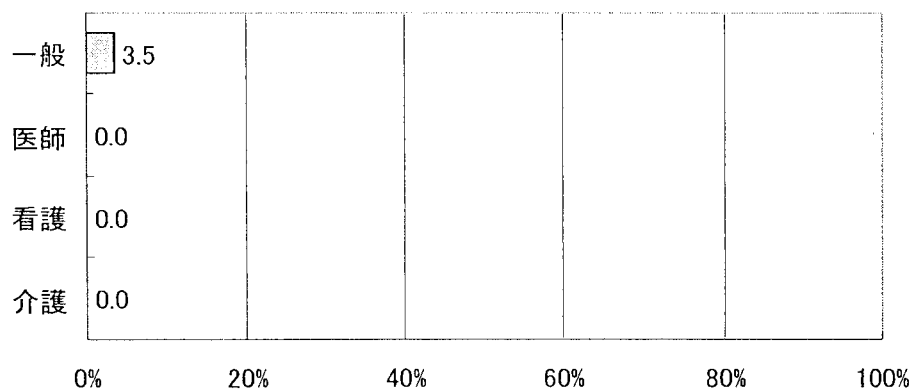
医師の手によることを原則とし、これができない場合は
世間が納得できるだけの特別の事情があること



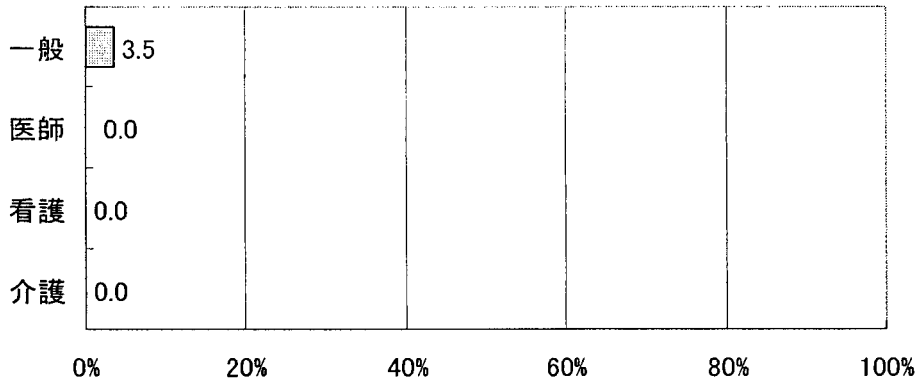
方法が常識的にも妥当なものとして
認め得るものであること



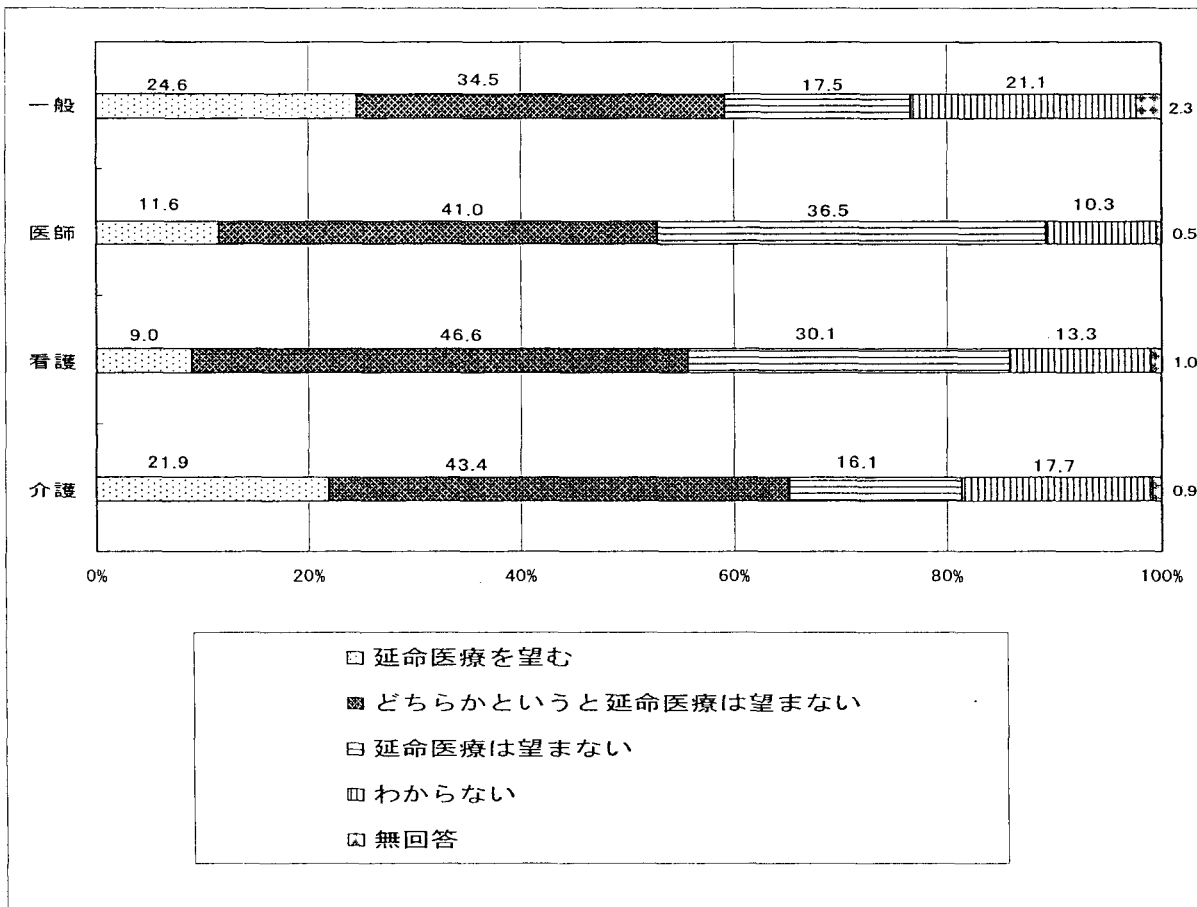
その他



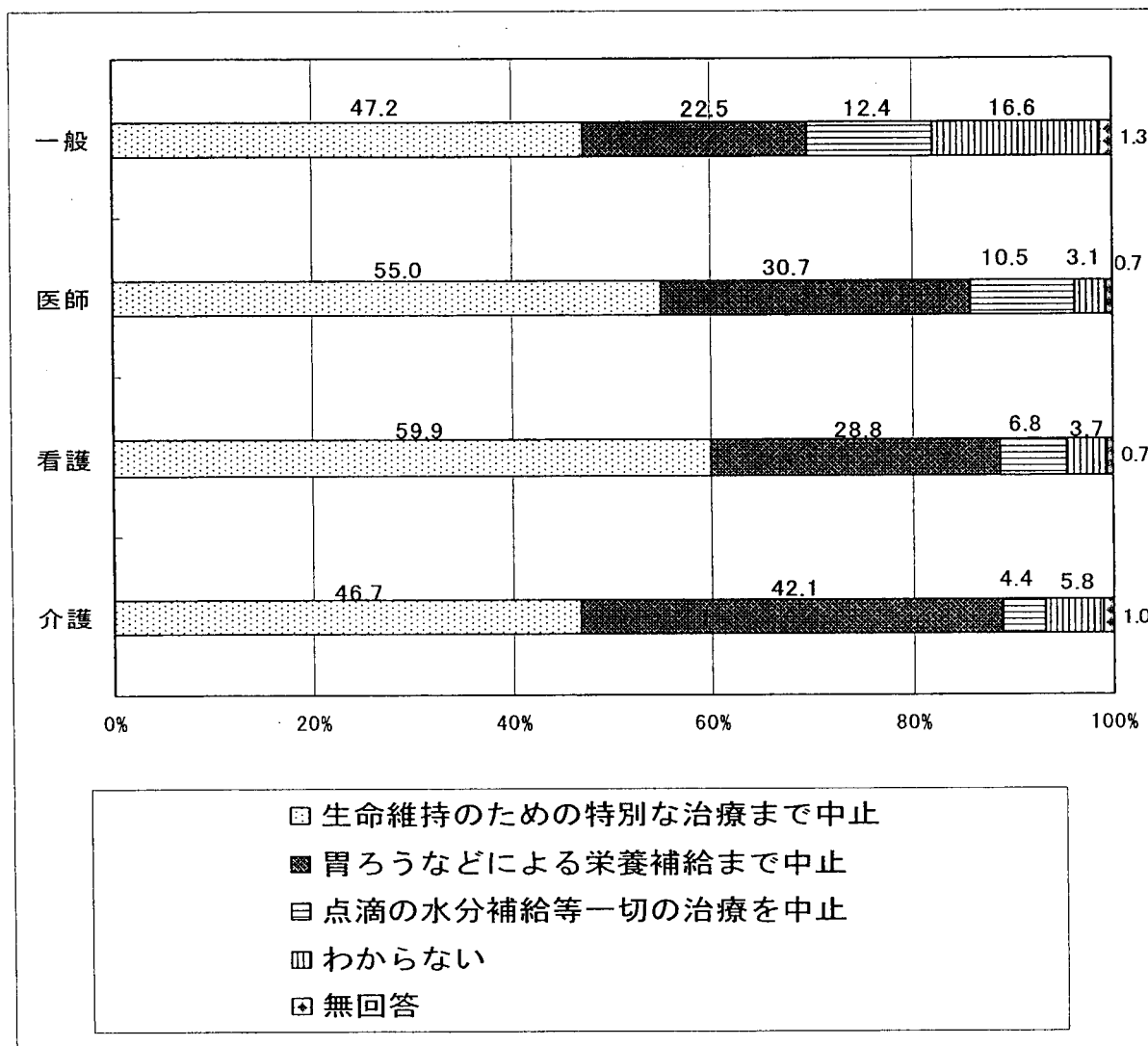
わからない



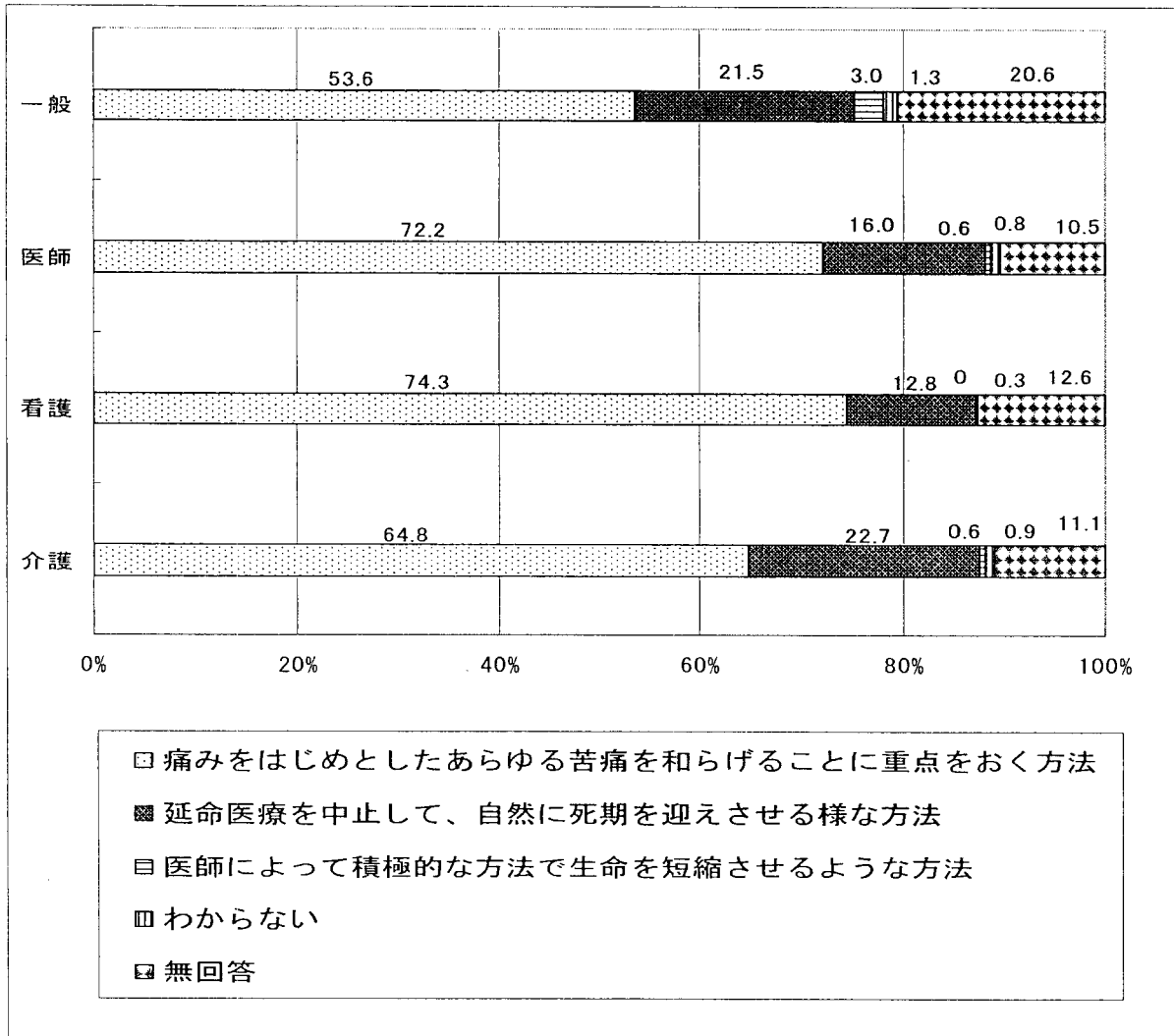
【(一般)問6 (医療従事者)問5】では、あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



【(一般) 問6 補問1 (医療従事者) 問5 補問1】 (問6、5で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

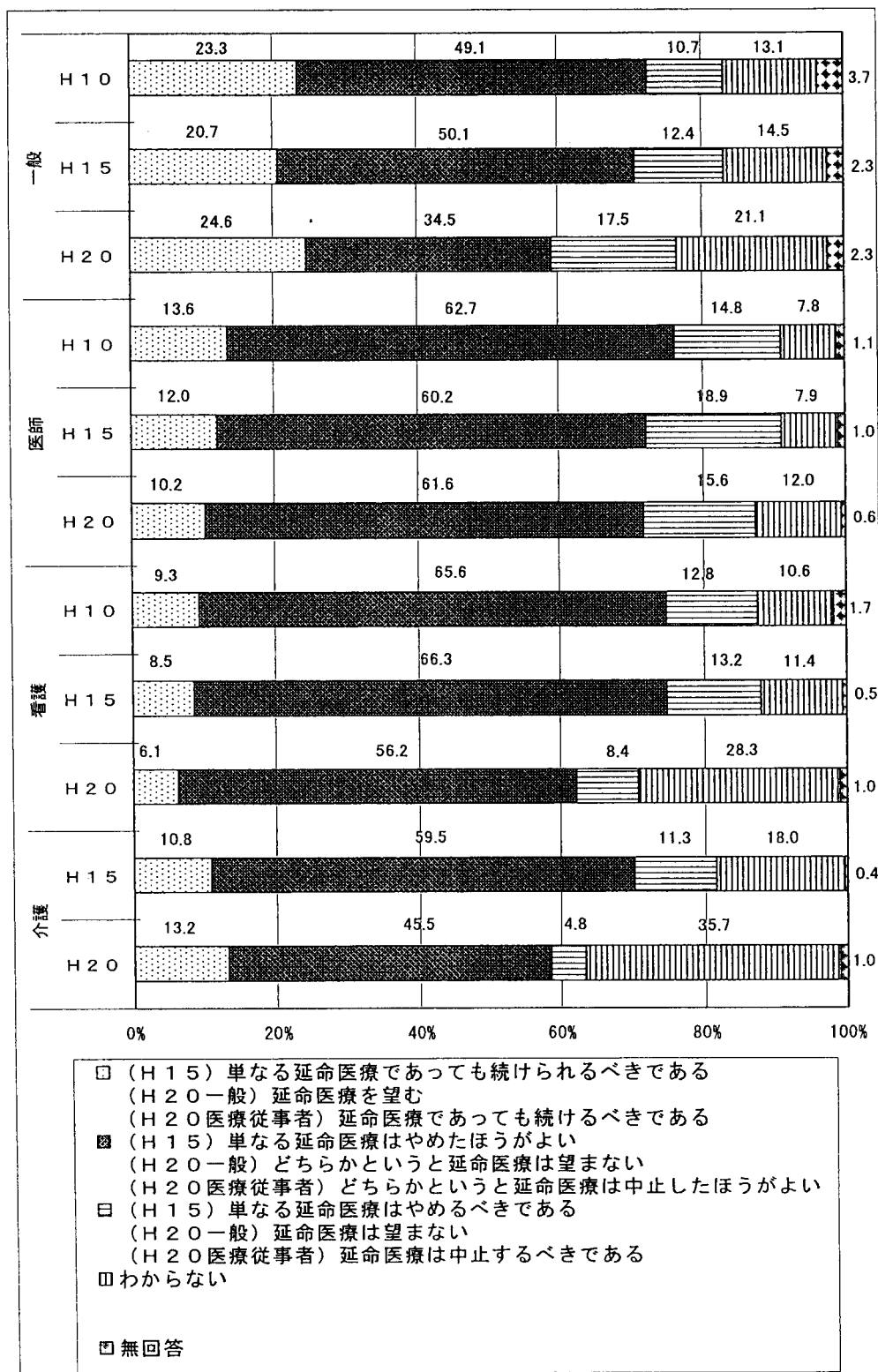


【(一般)問6補問2 (医療従事者)問5補問2】 (問6、5で「2どちらか」というと延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



【(一般)問6】あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

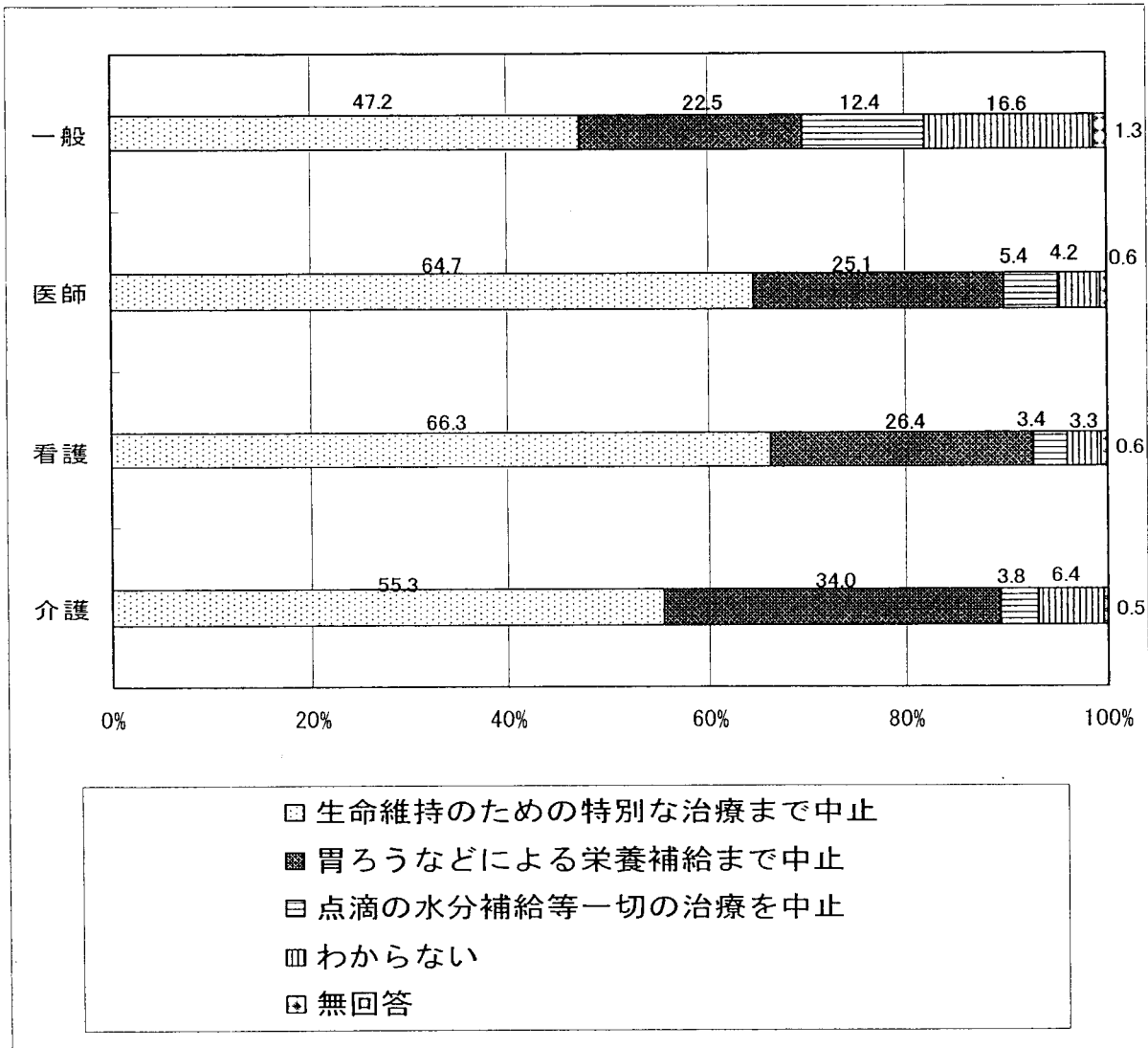
【(医療従事者)問9】あなたが担当している患者(入所者)が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)



【(一般) 問6 補問1】

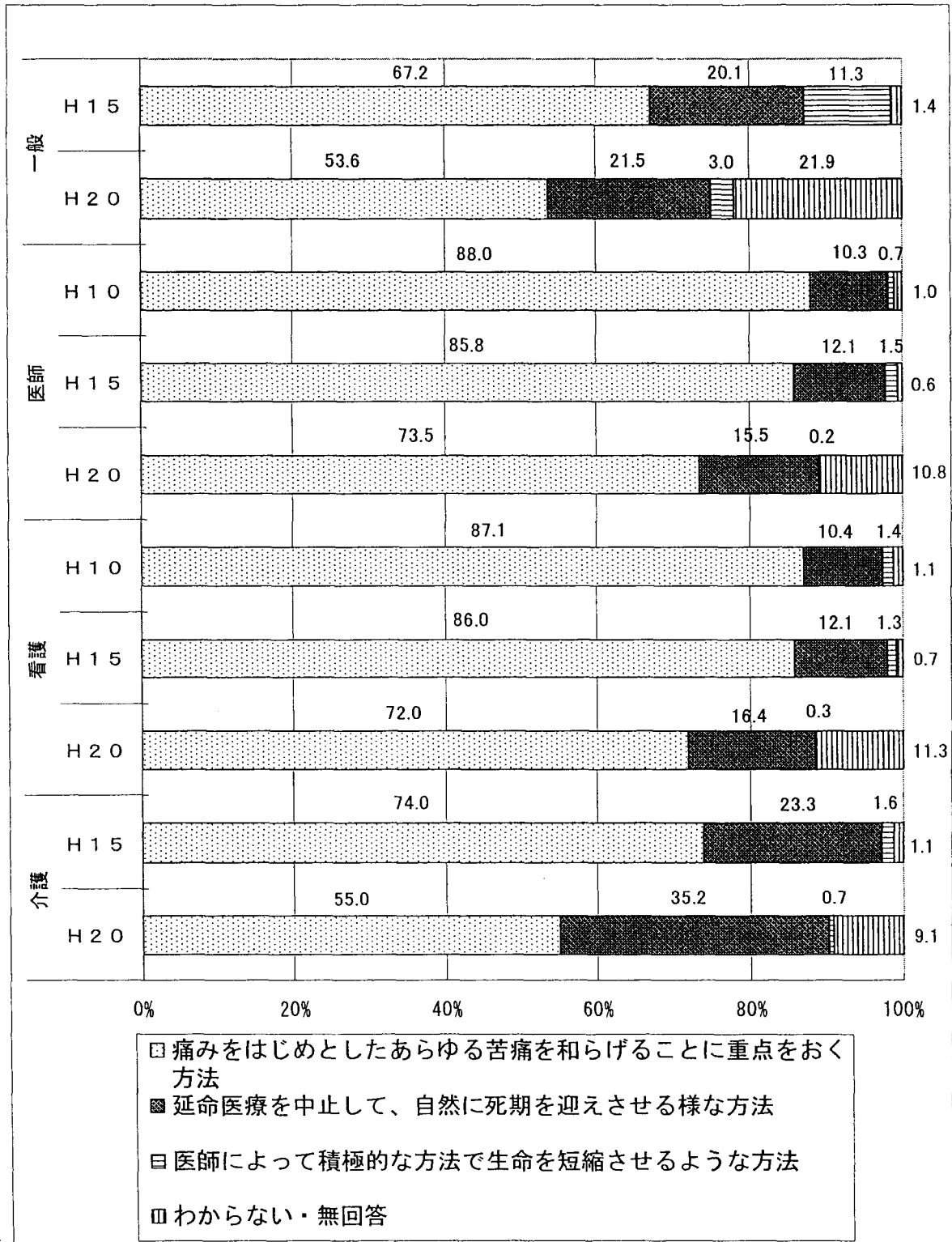
【(医療従事者) 問9 補問1】

(問6、9で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



【(一般)問6補問2】(「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

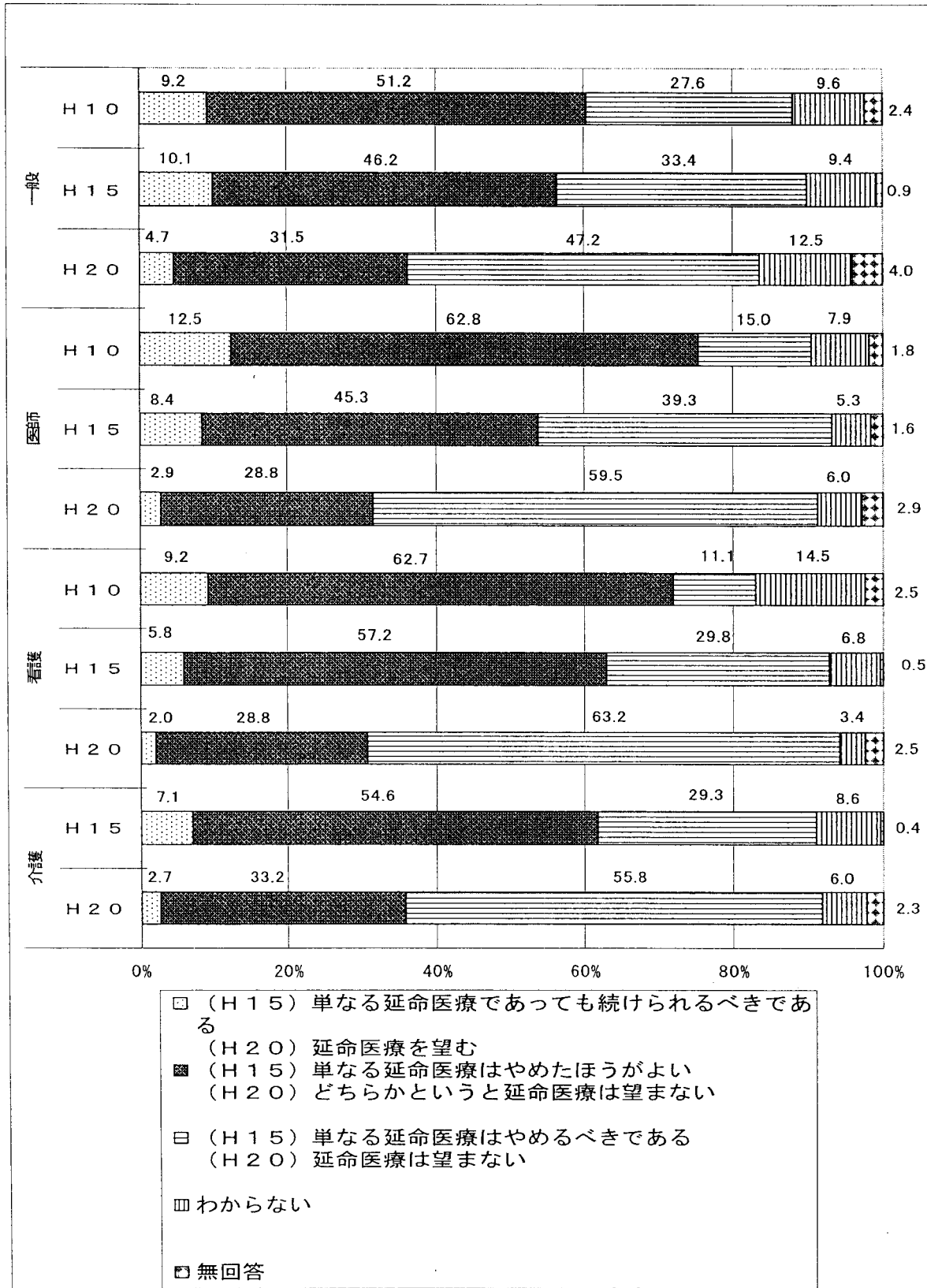
【(医療従事者)問9補問2】(「2どちらかというとな延命医療は中止したほうがよい」「3延命医療は中止するべきである」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



(5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方

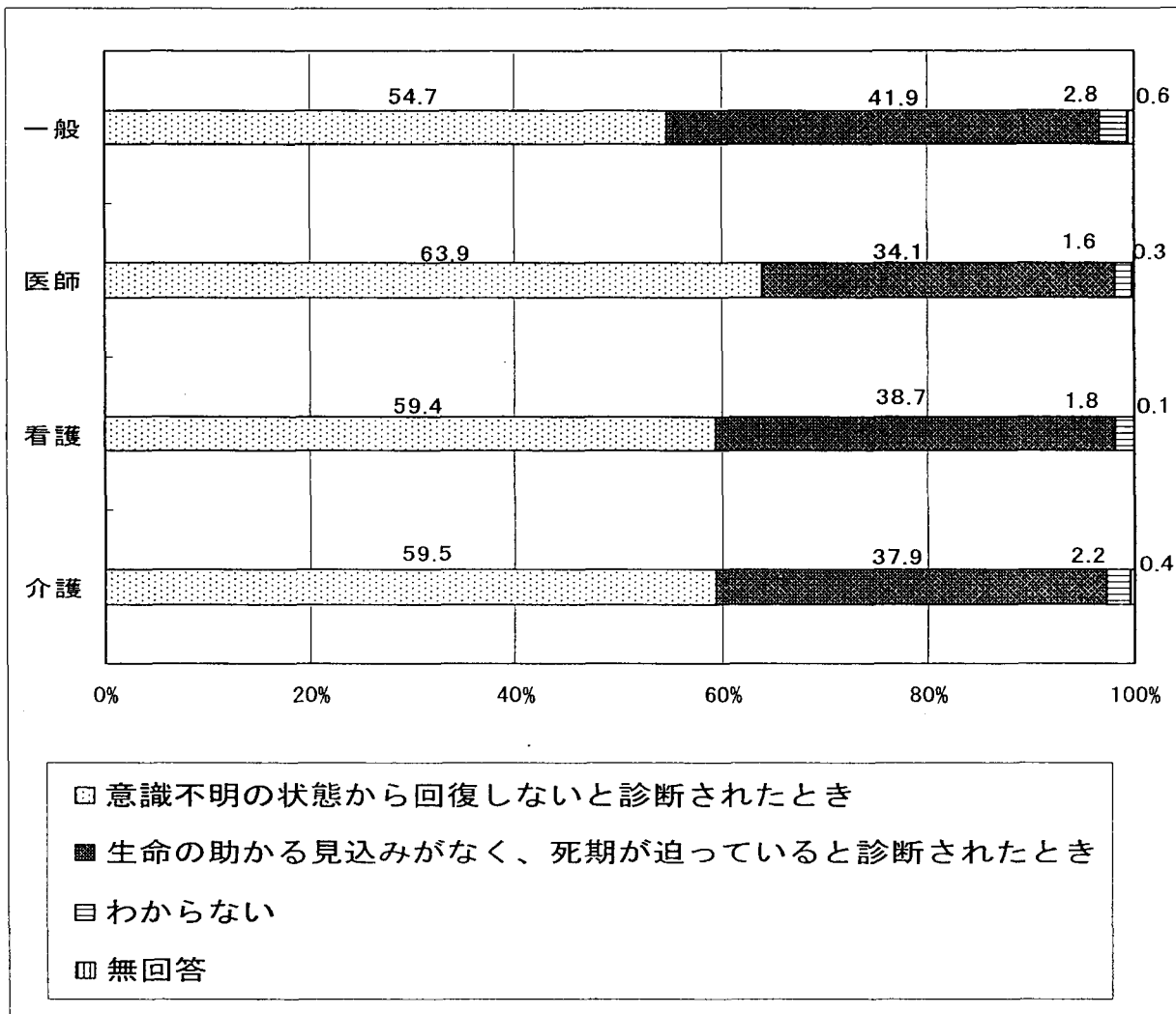
【(一般)問8, (医療従事者)問12】

あなたご自身が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



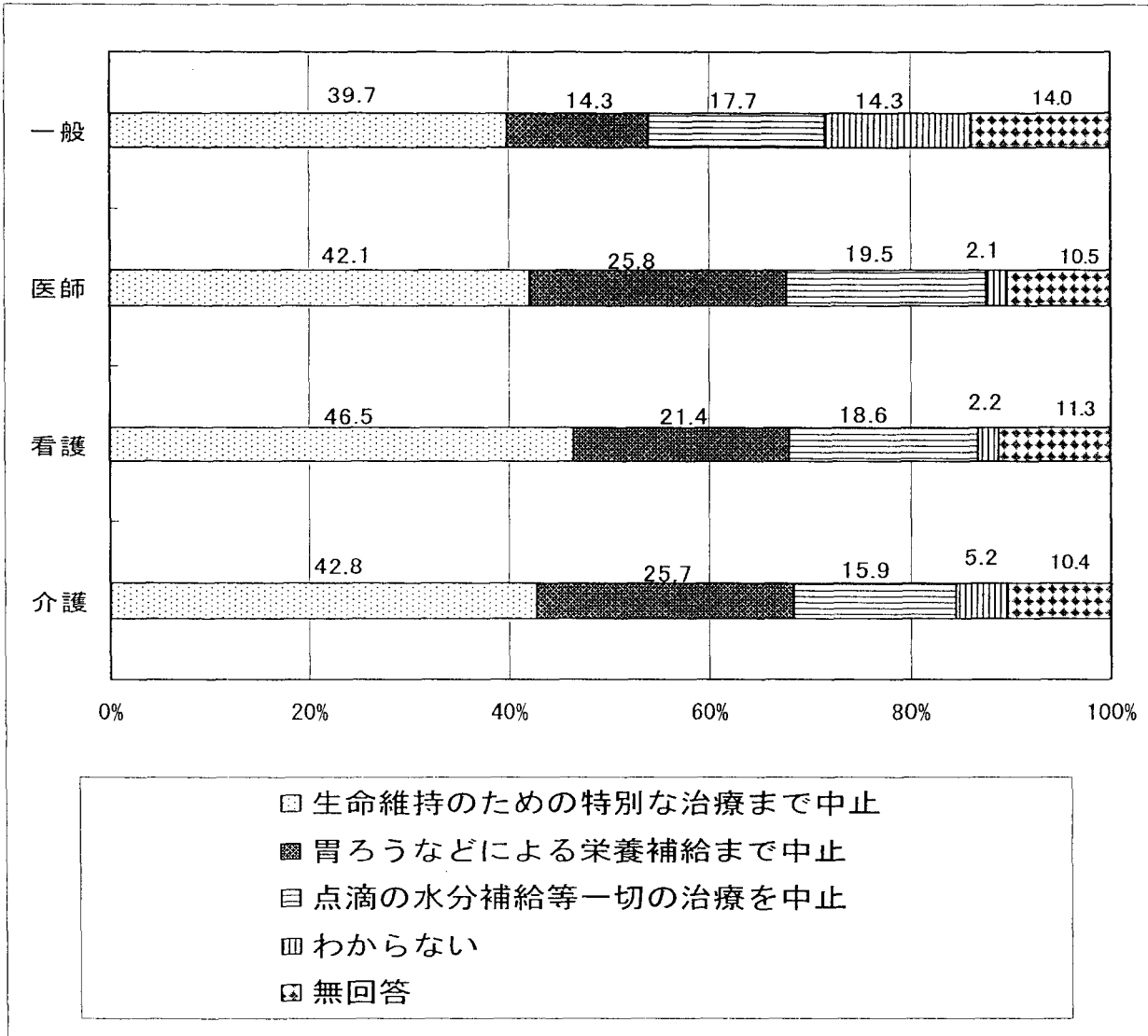
【(一般) 問8補問1, (医療従事者) 問12補問1】

(問8、12で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)
 この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに
 近いものをお選びください。(〇は1つ)

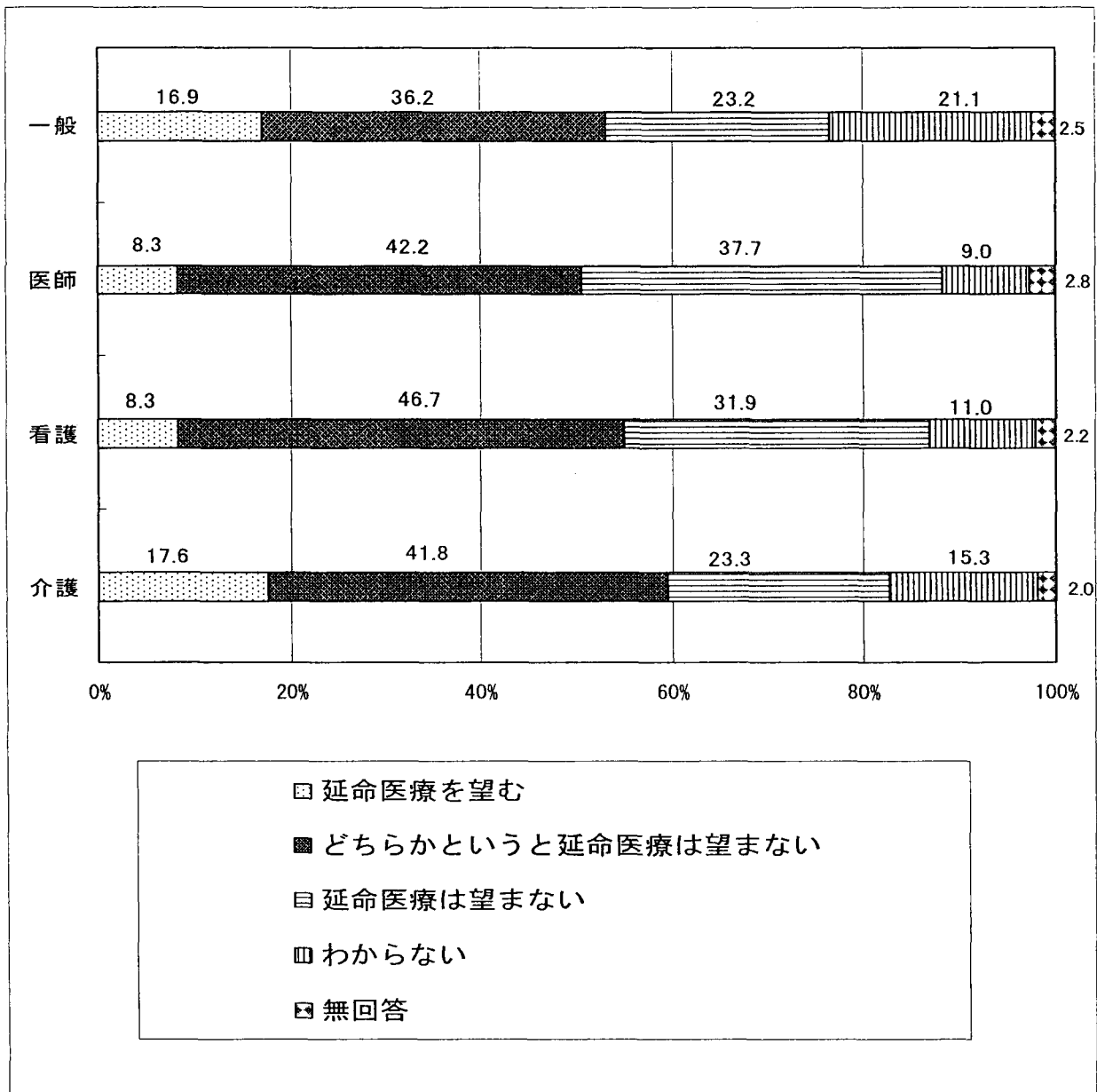


【(一般) 問8 補問2, (医療従事者) 問1 2 補問2】

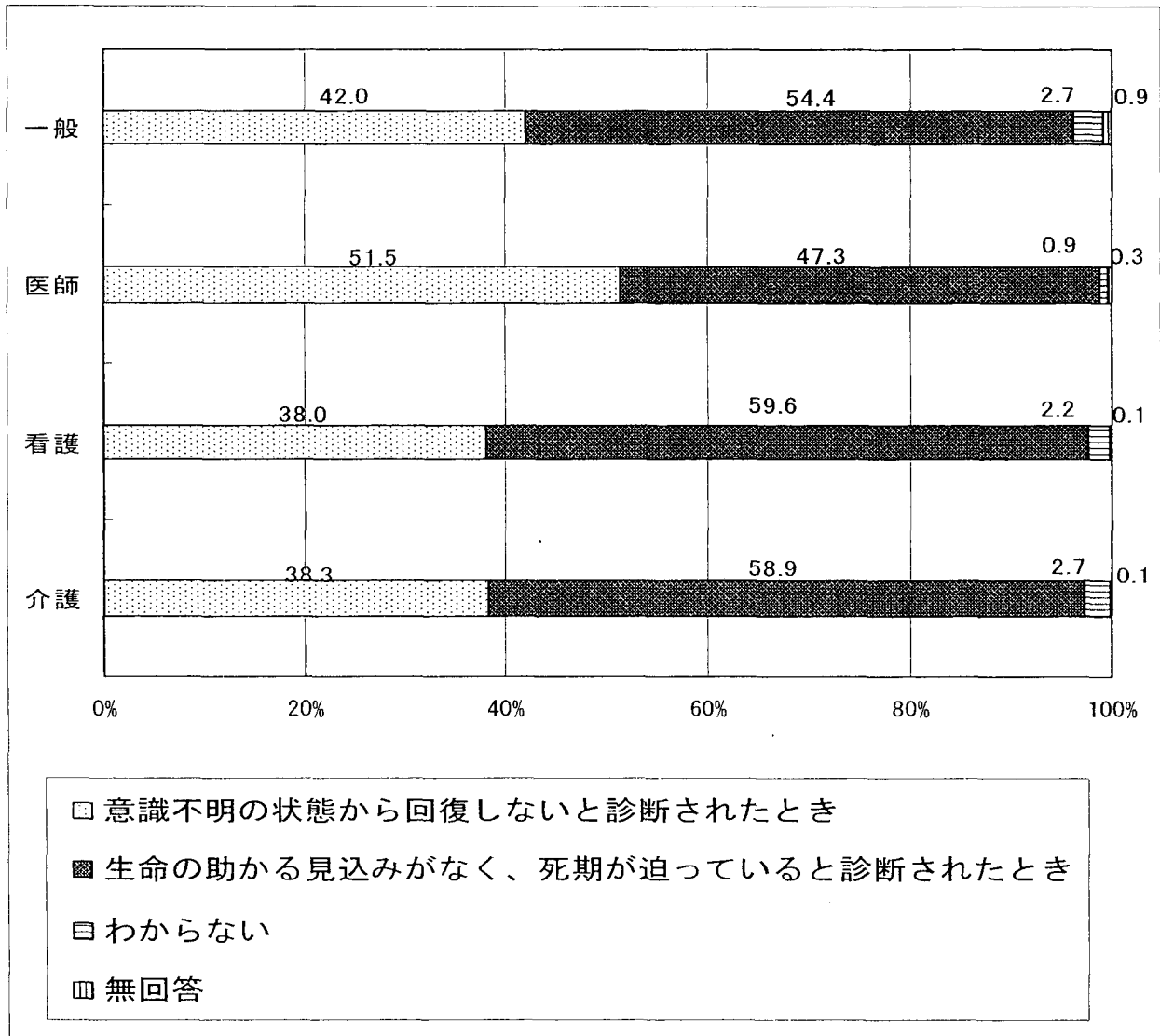
(問8、1 2で「2どちらか」というと延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)
 この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



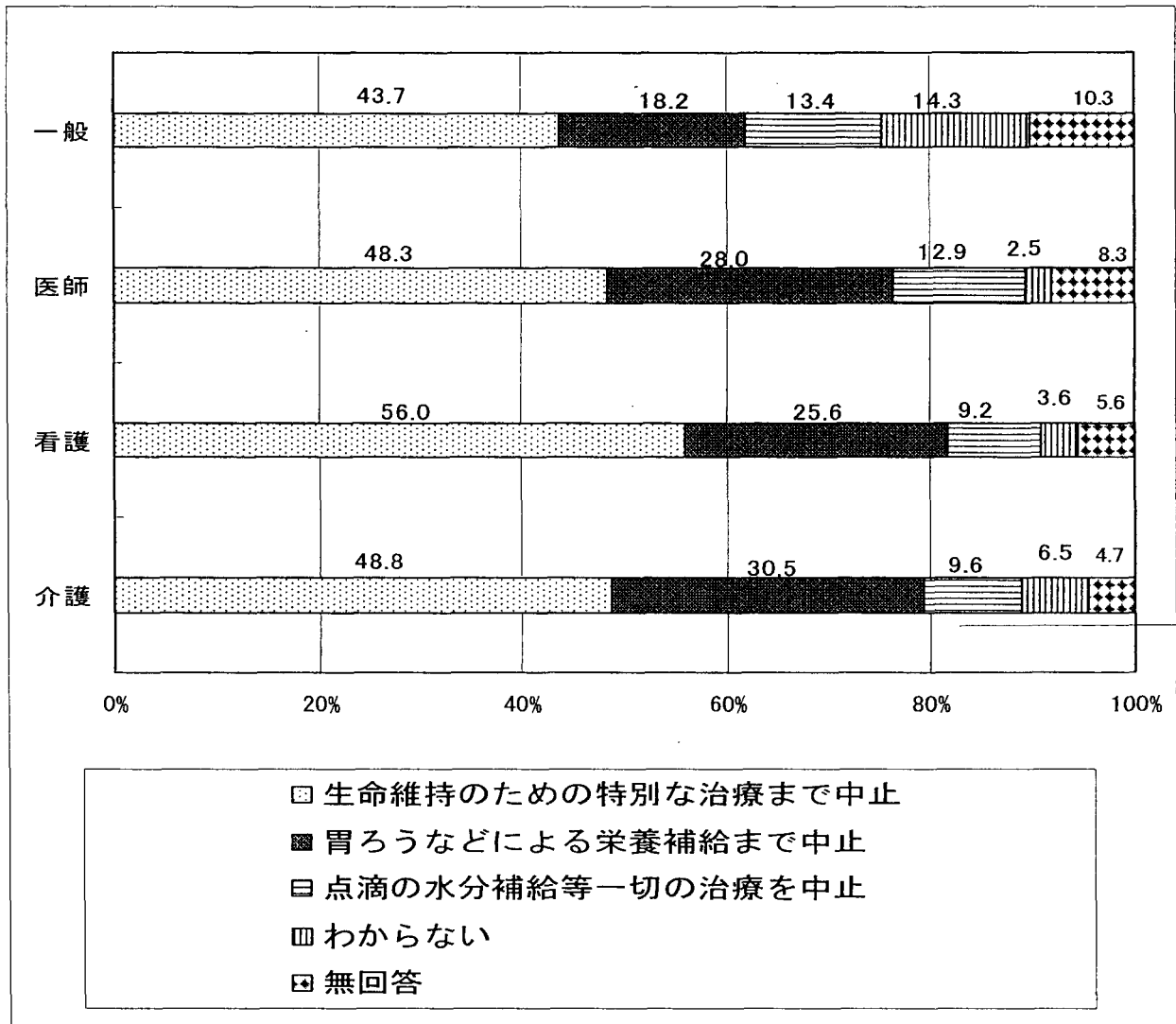
【(一般)問9 (医療関係者)問13】あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



【(一般)問9補問1 (医療関係者)問13補問1】 (問9、13で「2どちらか」というと延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

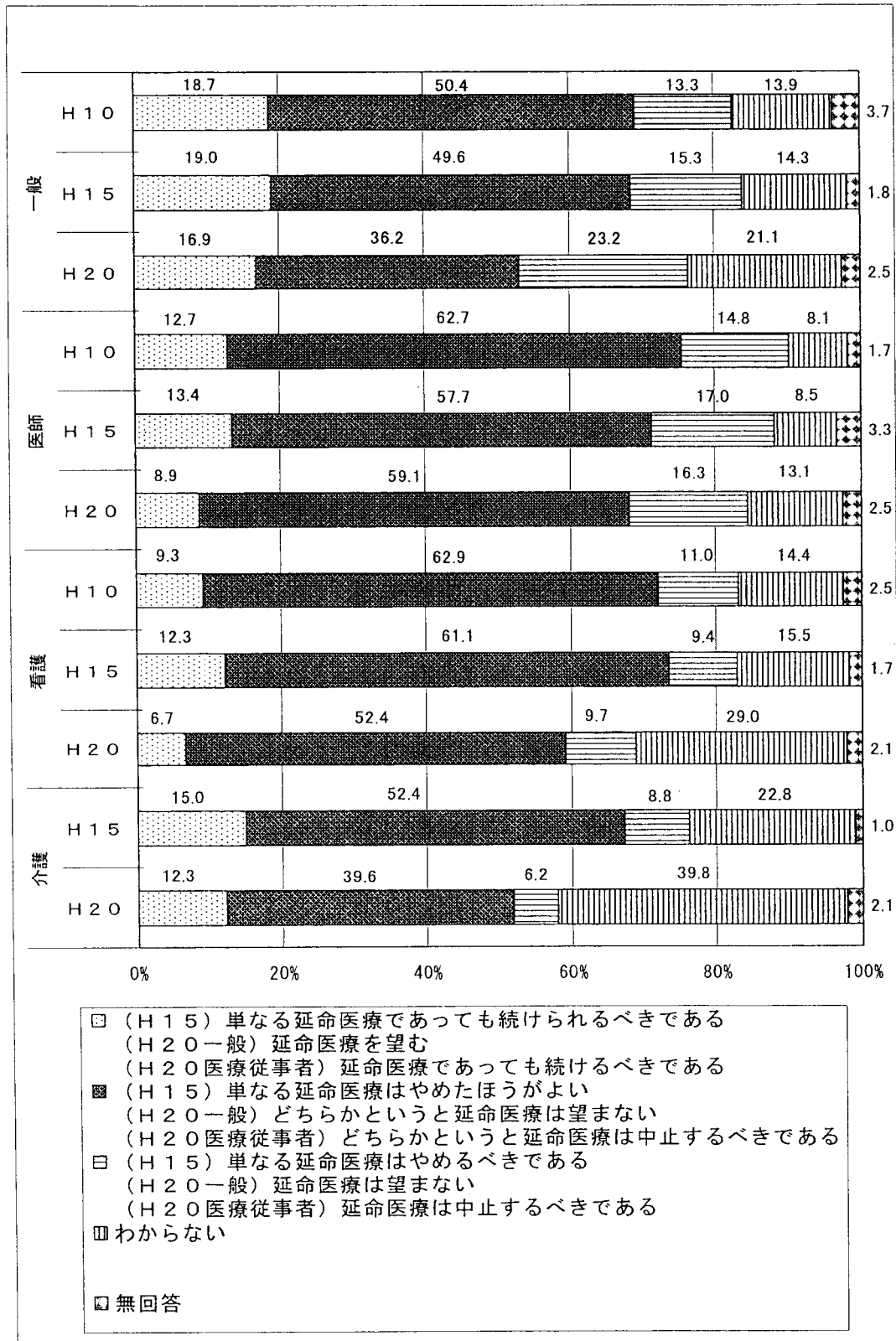


【(一般)問9補問2 (医療関係者)問13補問2】 (問9、13で「2延命医療をどちらかという
と望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的に
はどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

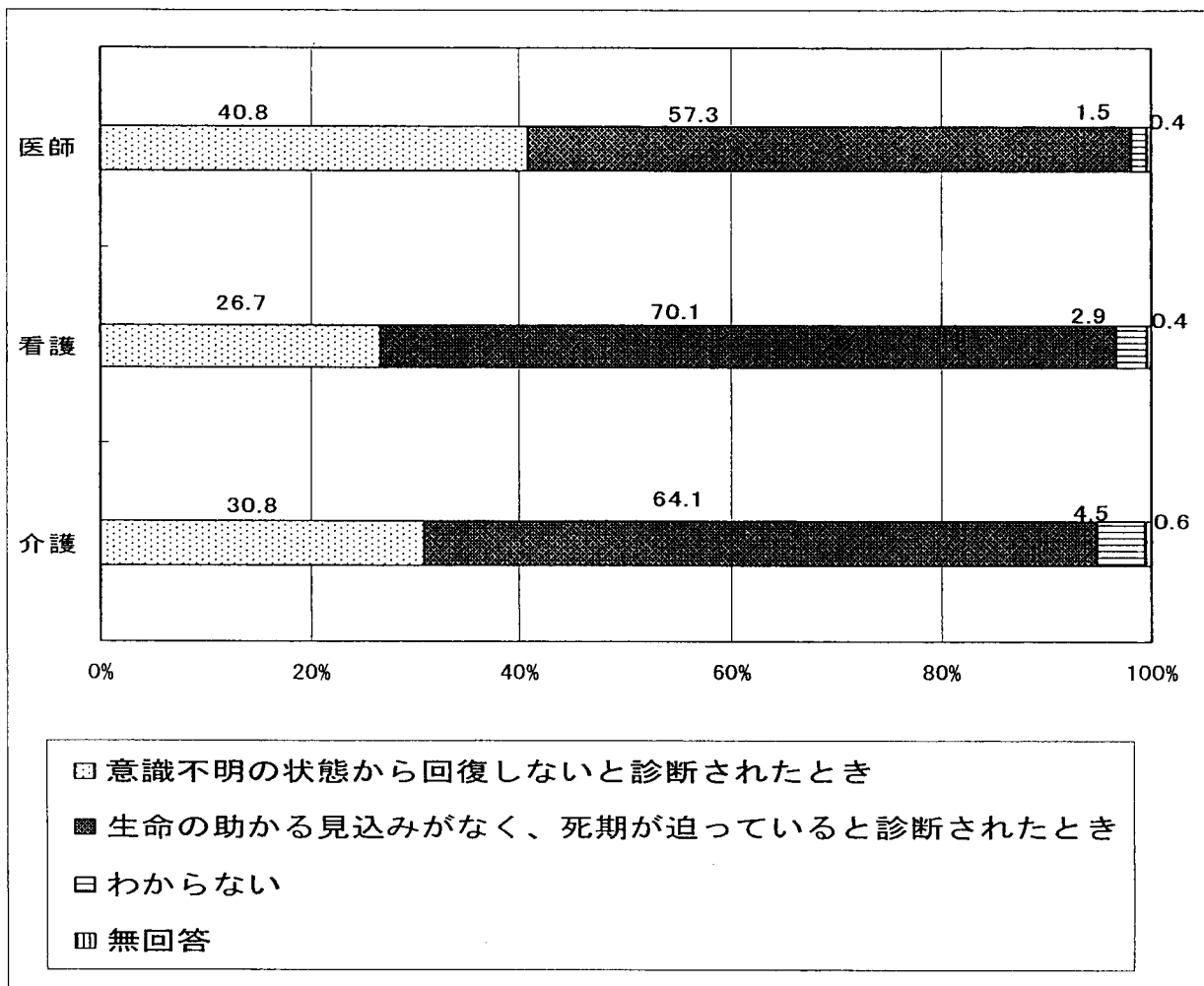


【(一般) 問9】あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)

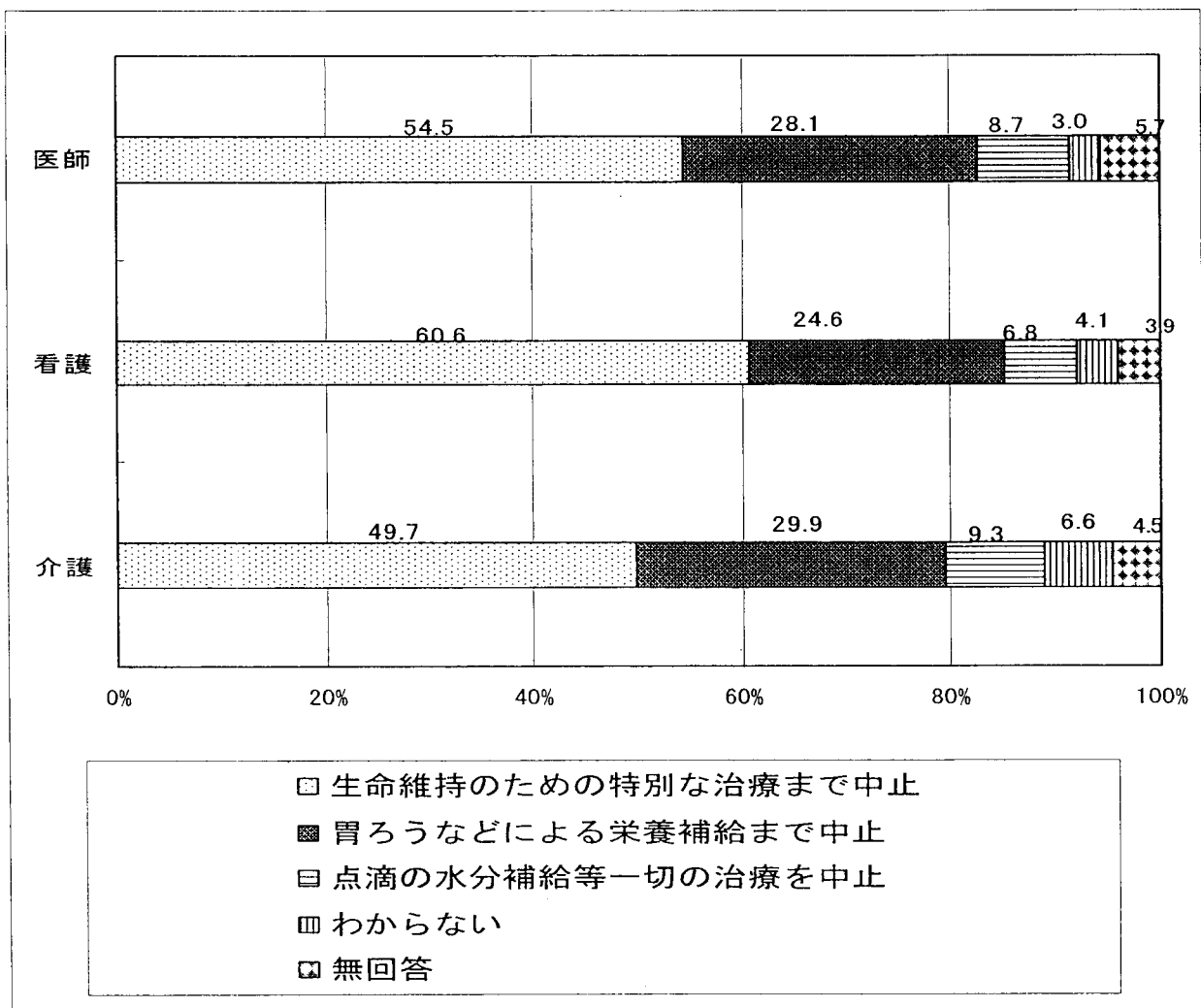
【(医療従事者) 問14】あなたの担当している患者が遷延性意識障害で治る見込みがない場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)



【(医療従事者) 問14補問1】 (問14で「2どちらかというとな延命医療は中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

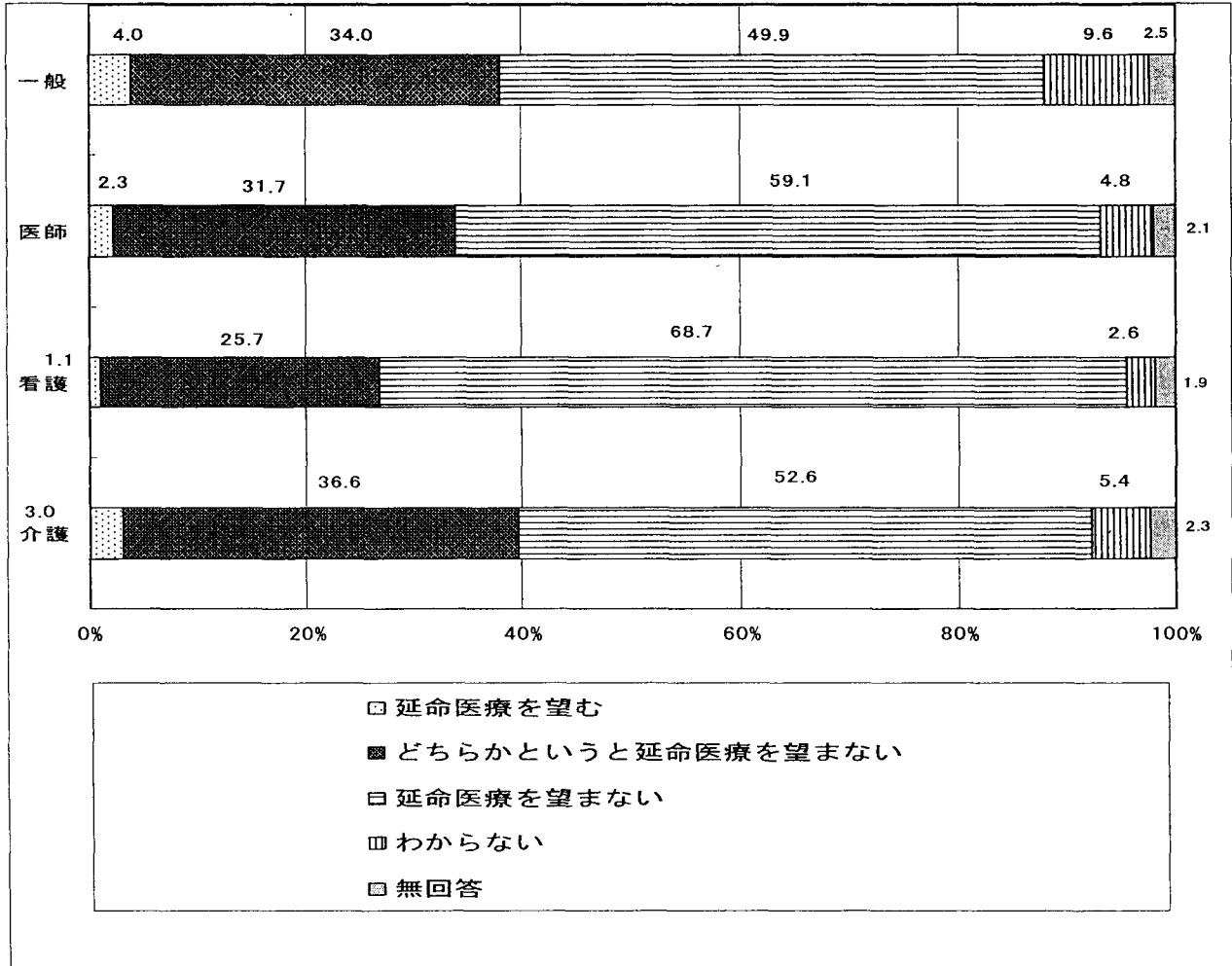


【(医療従事者) 問14補問2】 (問14で「2延命医療をどちらかというとな望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

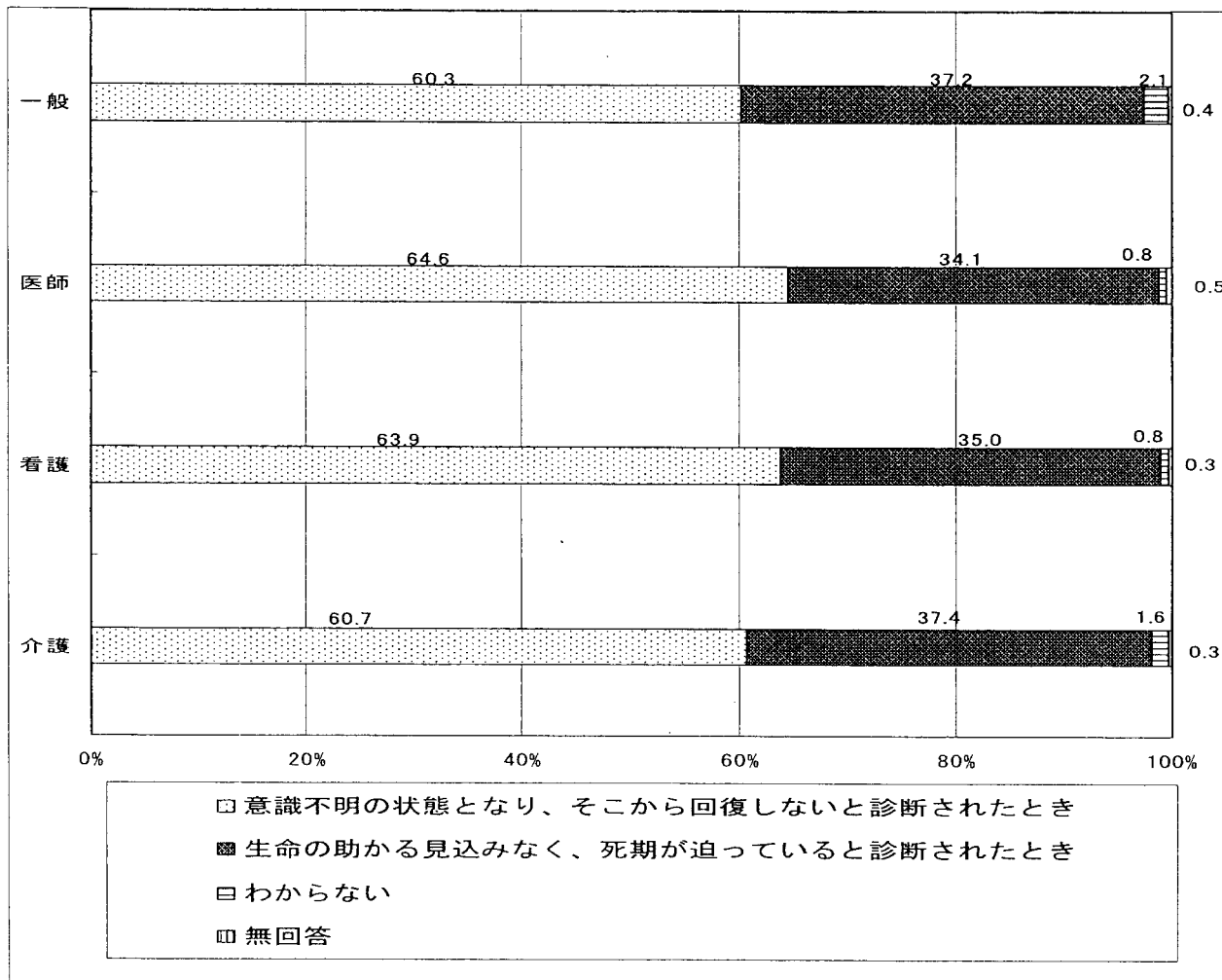


(6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に対する医療のあり方

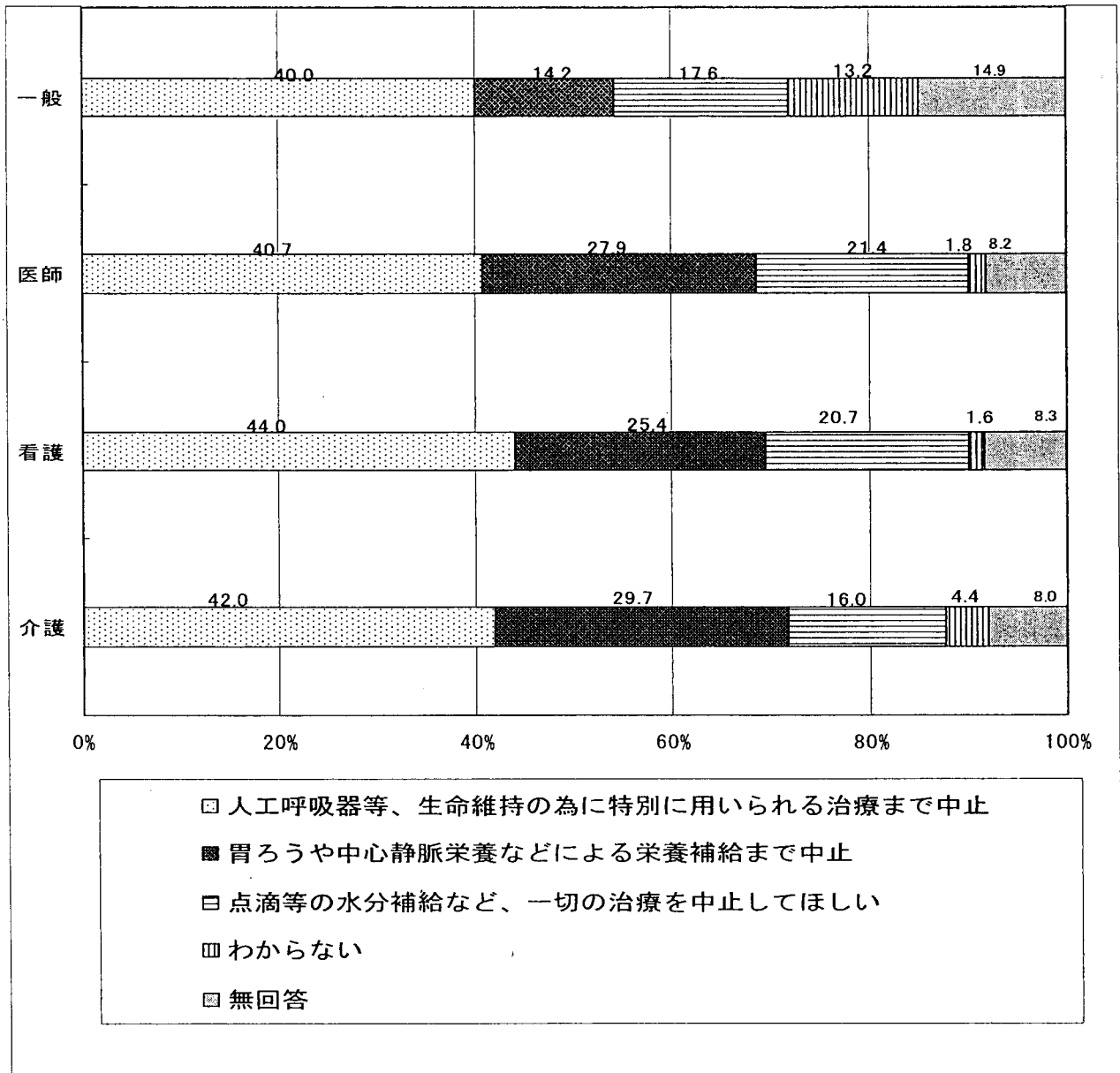
【(一般)問10 (医療関係者)問15】あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(〇は1つ)



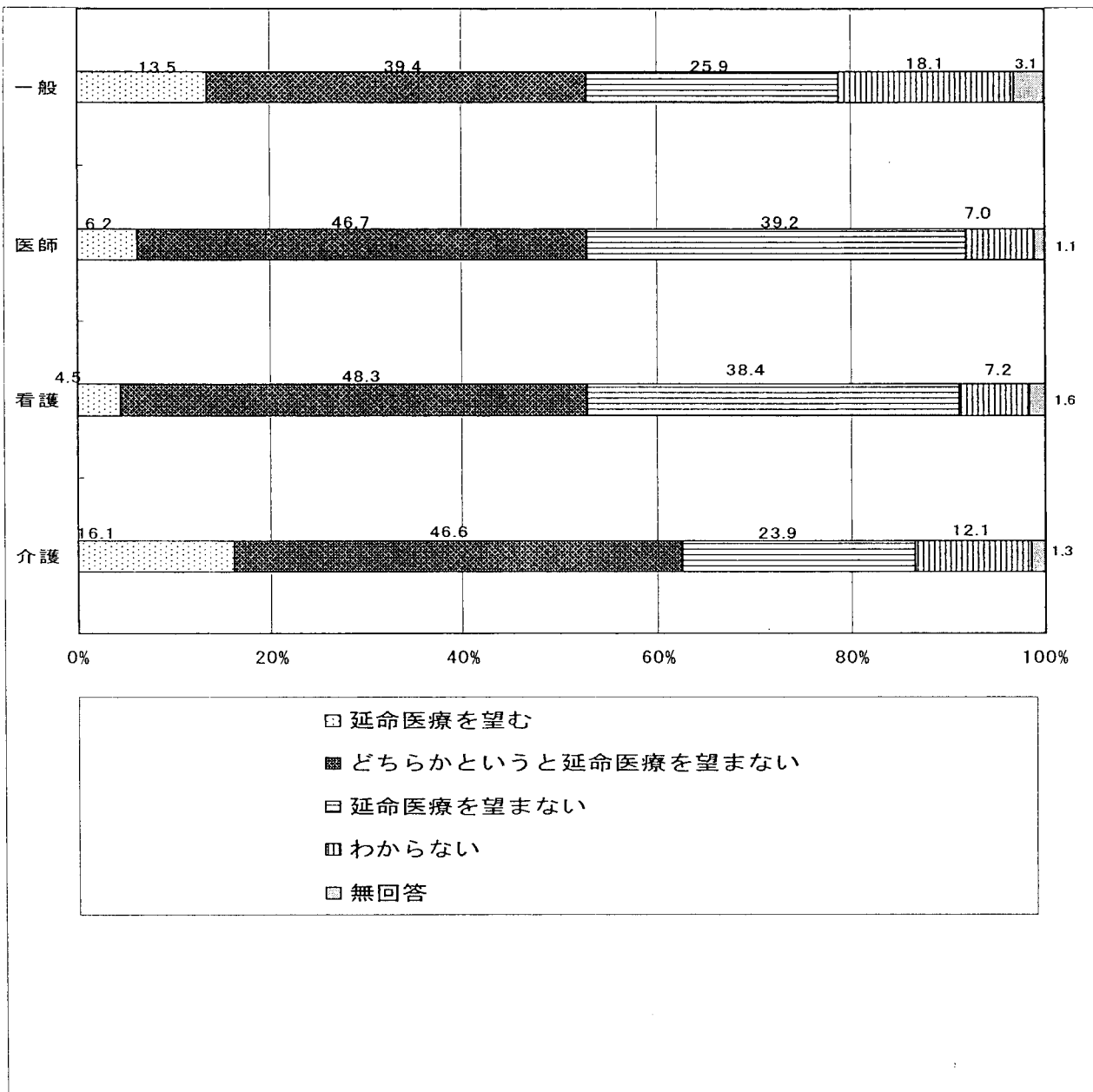
【(一般)問10補問1 (医療関係者)問15補問1】 (問10、15で「2延命医療をどちらかというとならない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



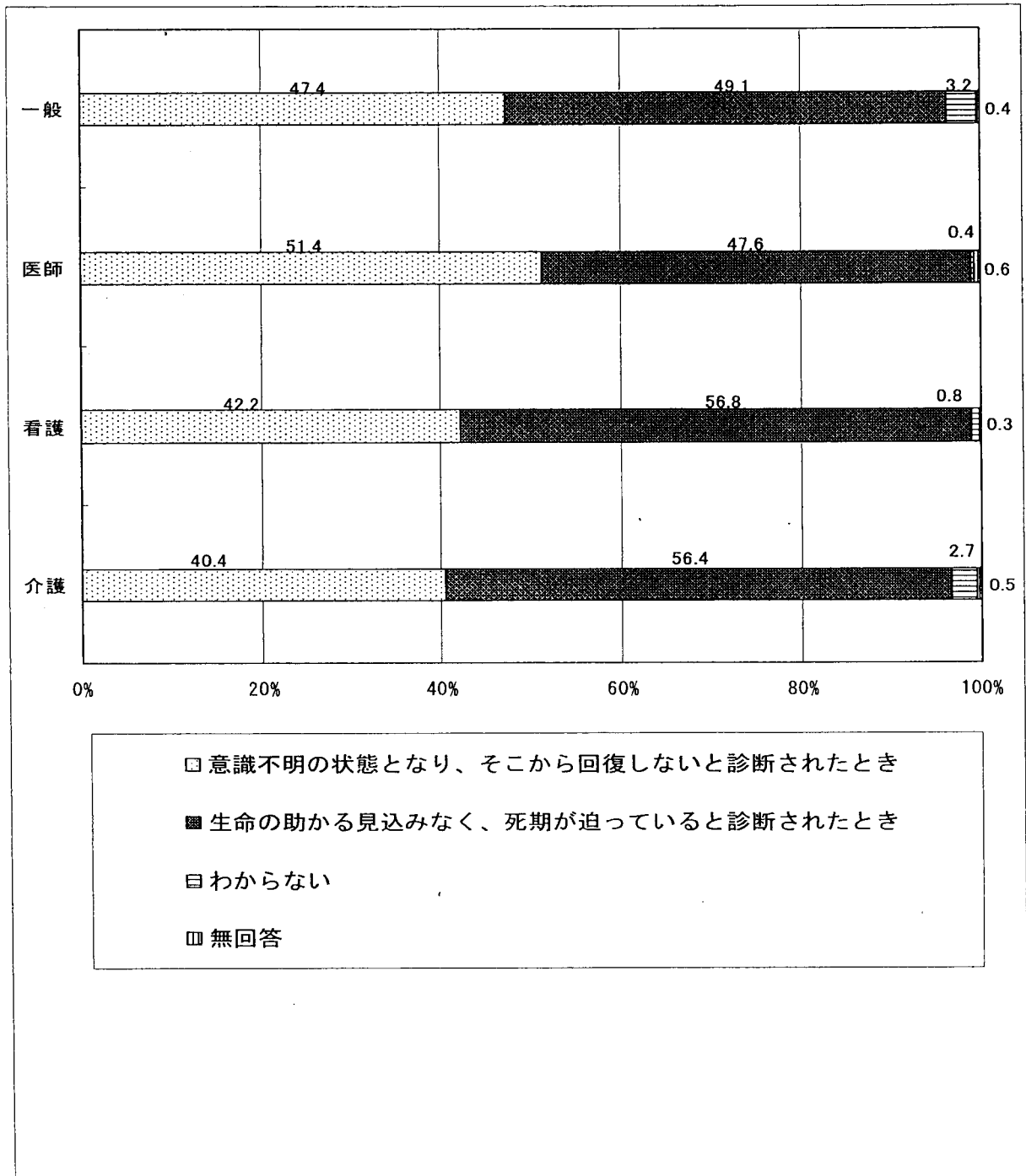
【(一般)問10補問2 (医療関係者)問15補問2】 (問10、15で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



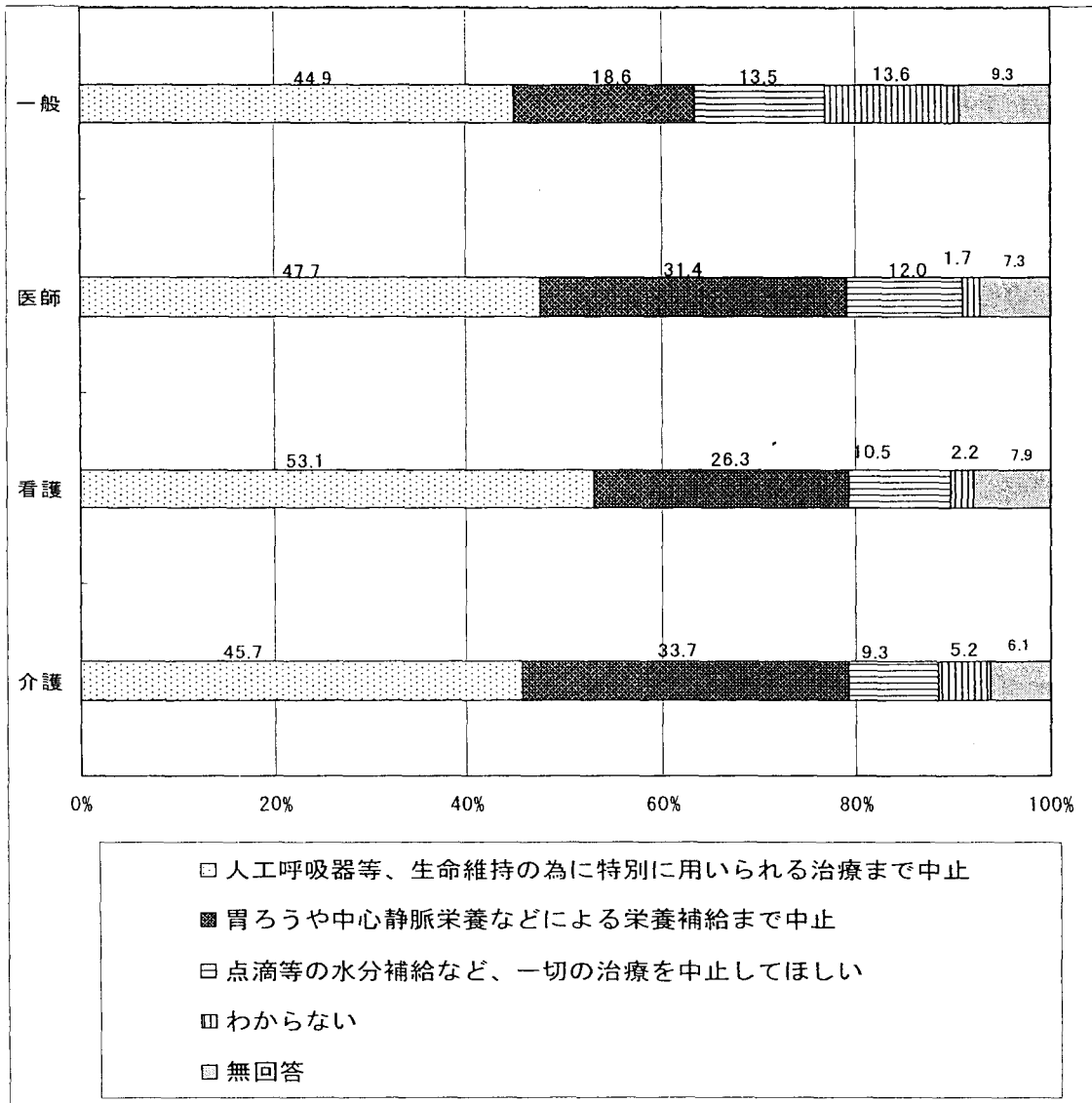
【(一般)問12 (医療関係者)問17】 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)



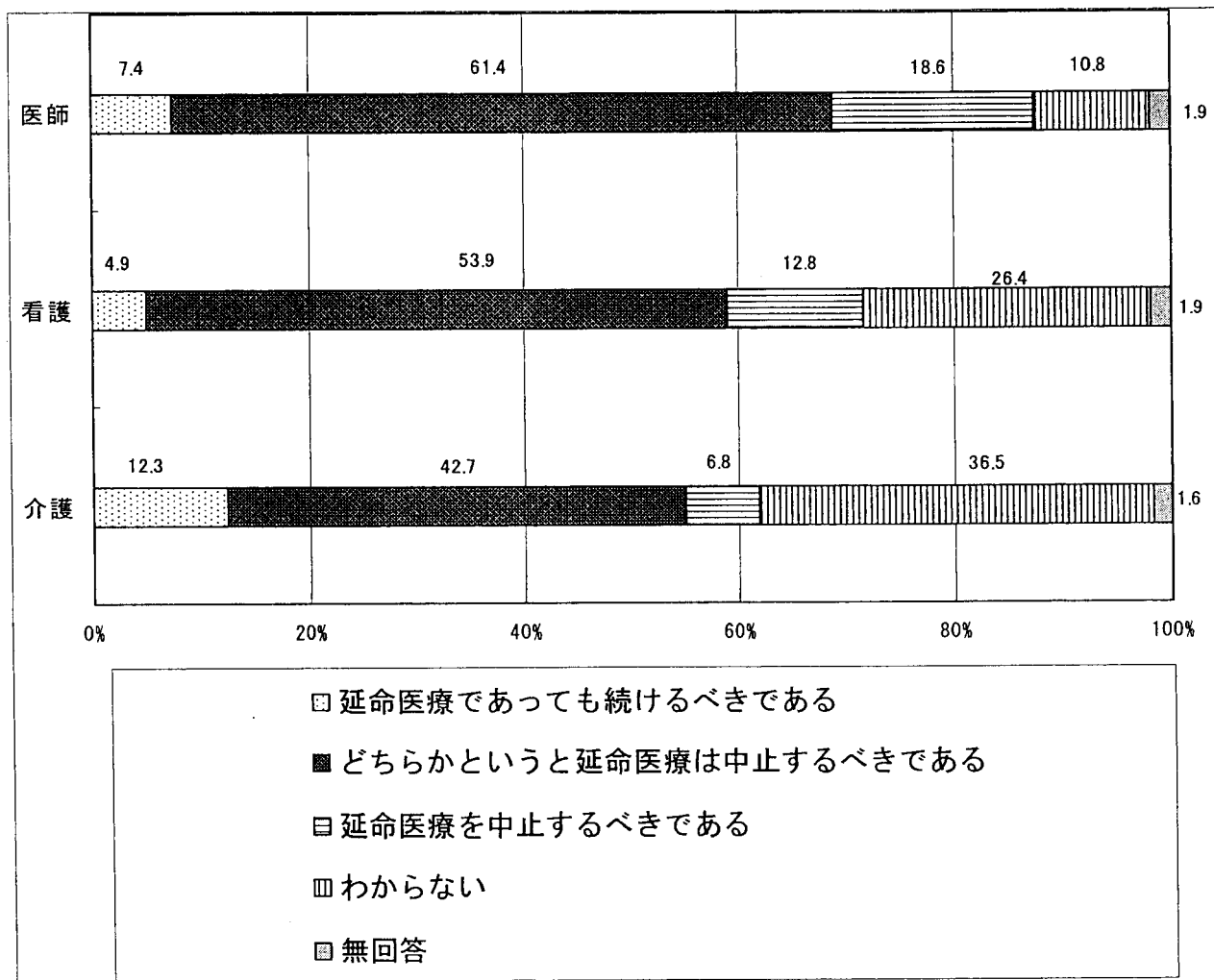
【(一般)問12補問1 (医療関係者)問17補問1】 (問12、17で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



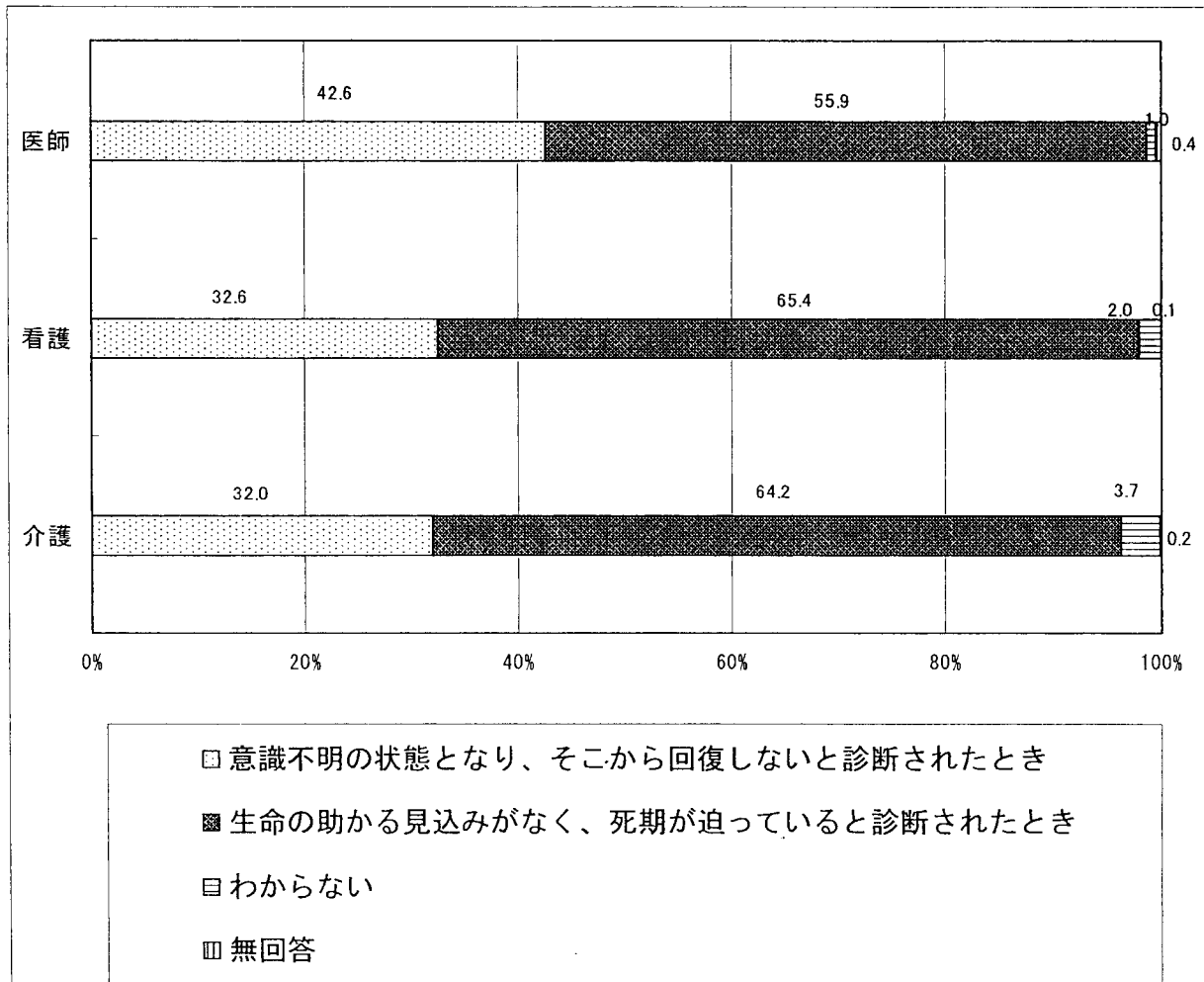
【(一般)問12補問2 (医療関係者)問17補問2】 (問12、17で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



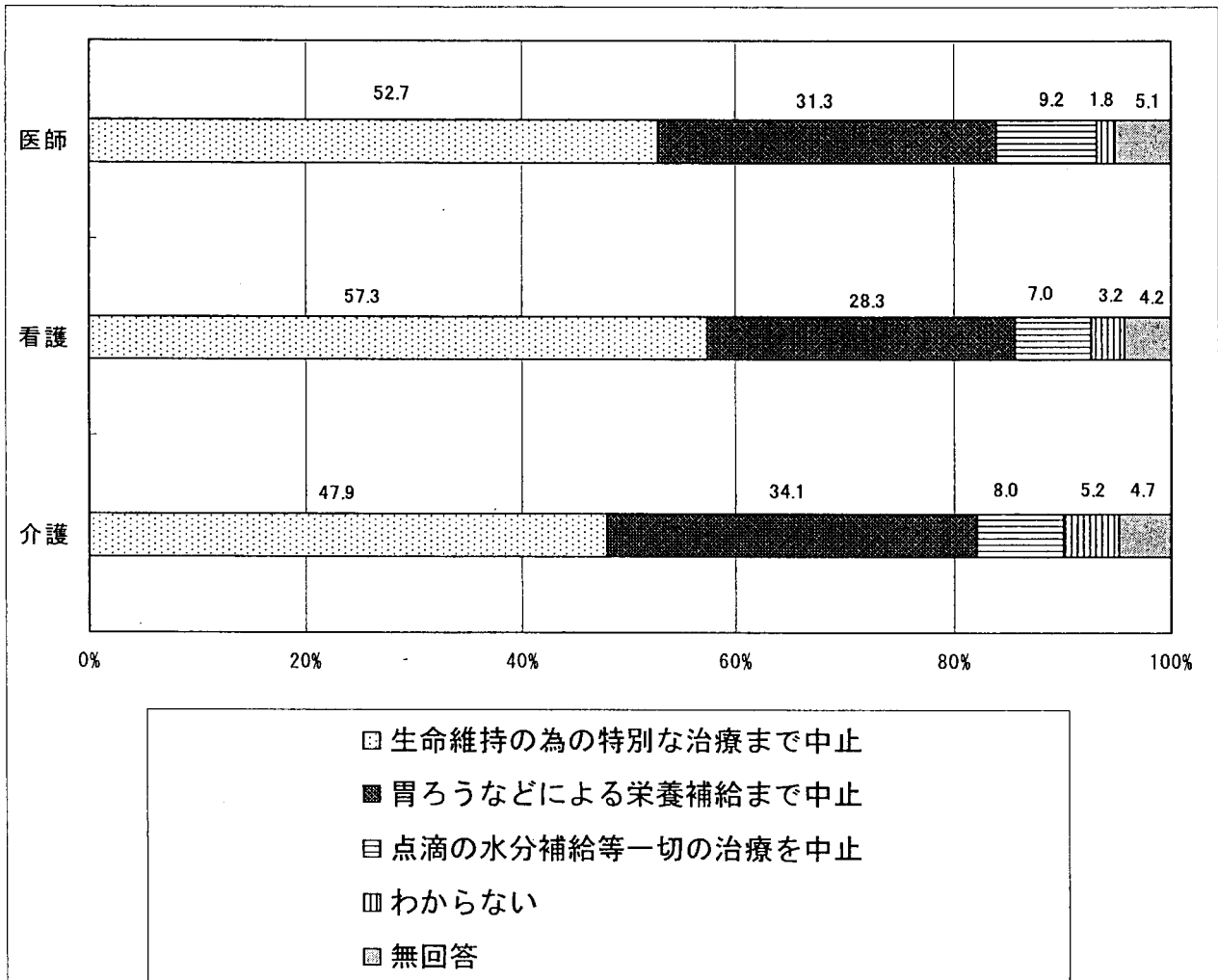
【(医療従事者) 問18】 あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)



【(医療従事者) 問18補問1】 (問18で「2延命医療をどちらかという中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)



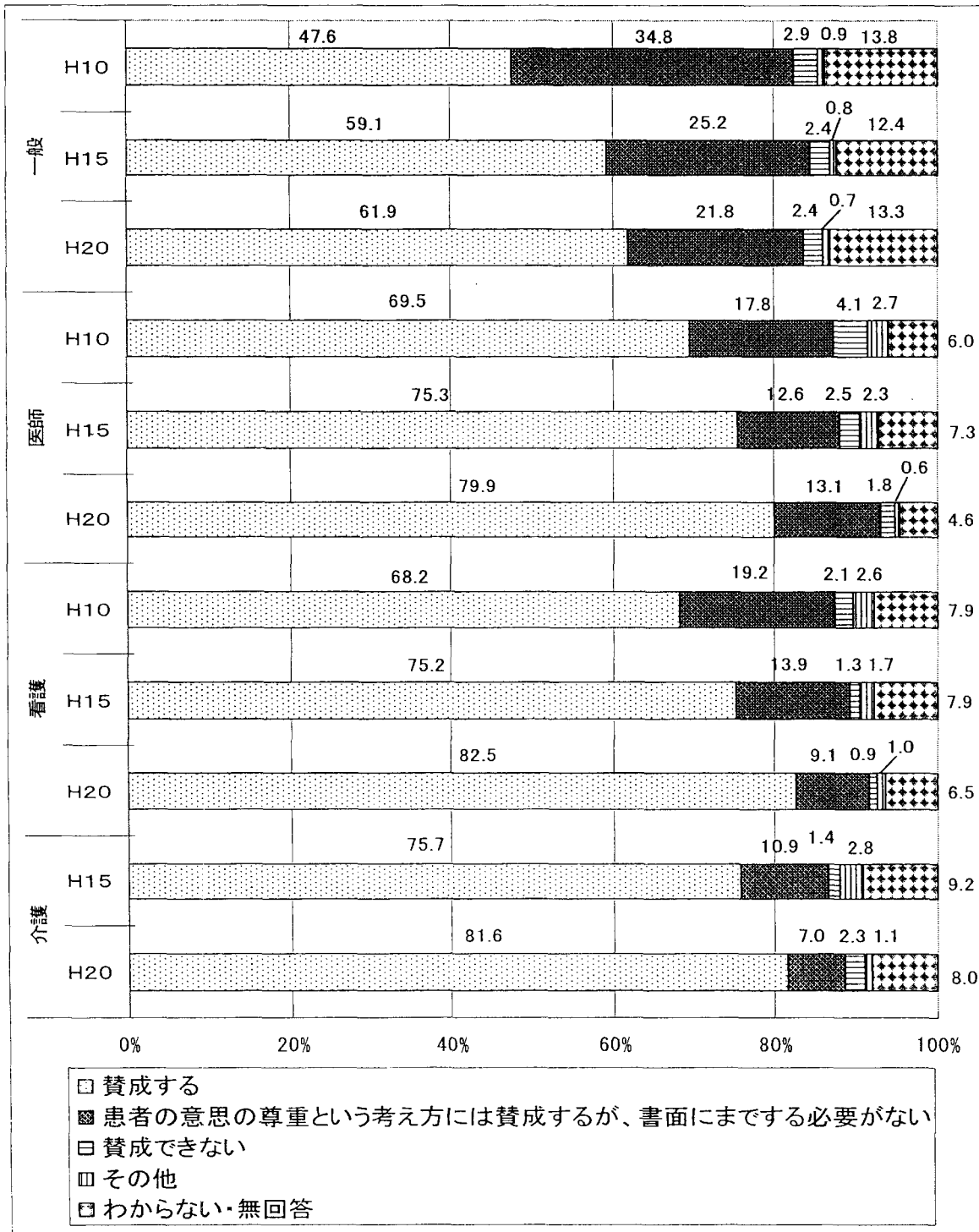
【(医療従事者) 問18補問2】 (問18で「2延命医療をどちらかという中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



(7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法

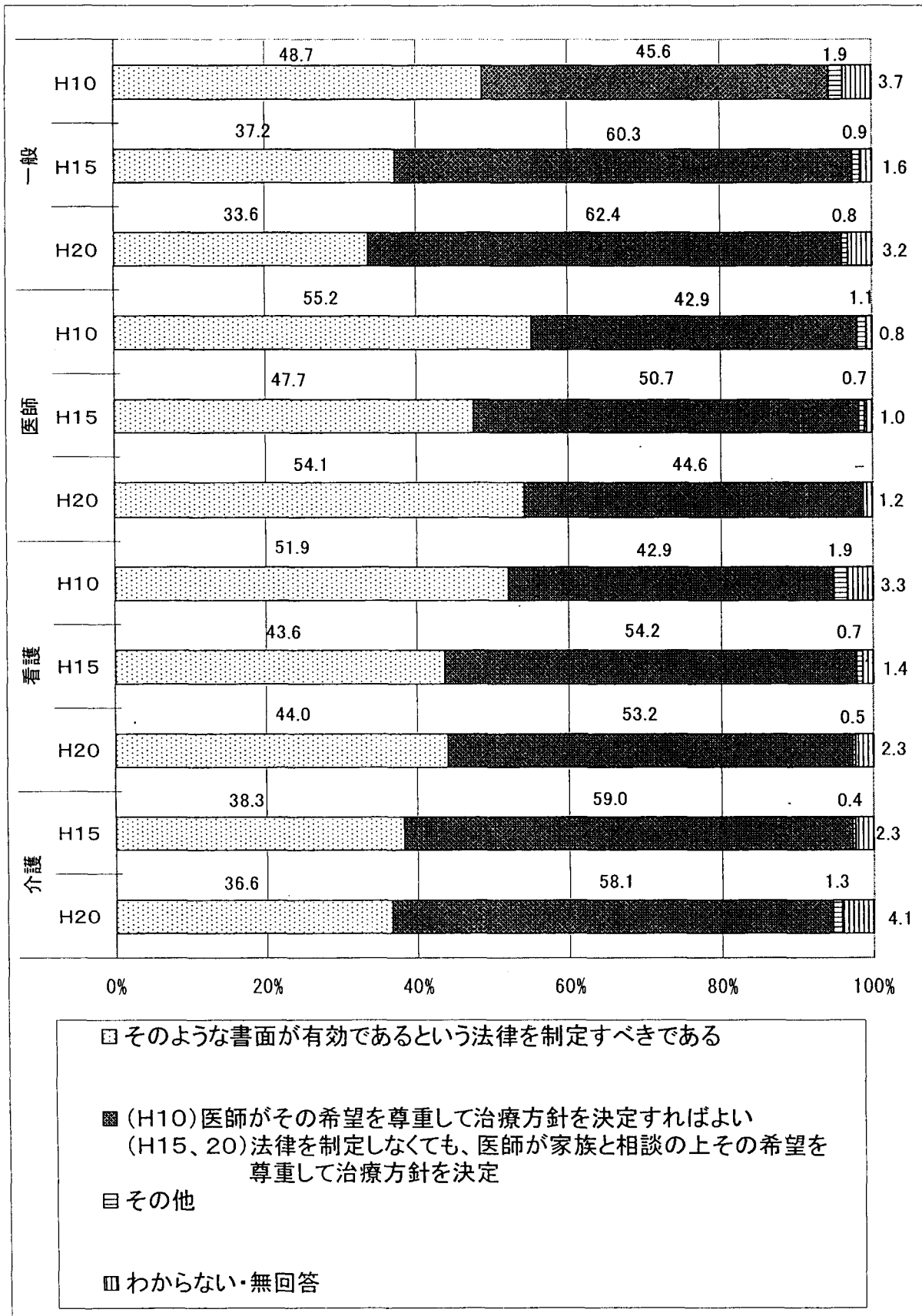
【(一般)問14-1, (医療従事者)問20-1】

「治る見込みがなく、死期が近いときには、延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル)という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)



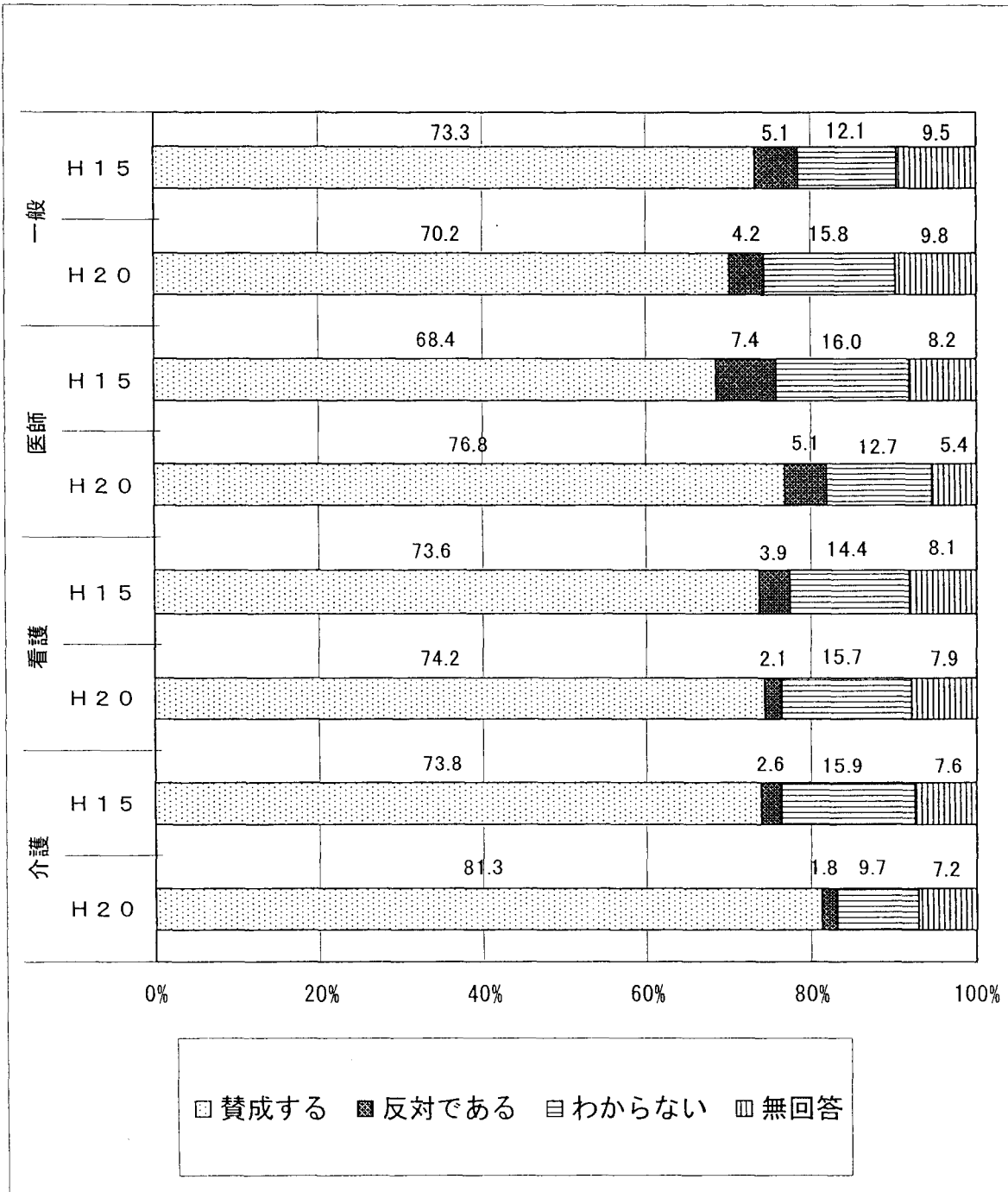
【(一般) 問14-1 補問1, (医療従事者) 問20-1 補問1】

(リビングウィルについて「賛成する」をお選びの方に) 書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えですか。(○は1つ)



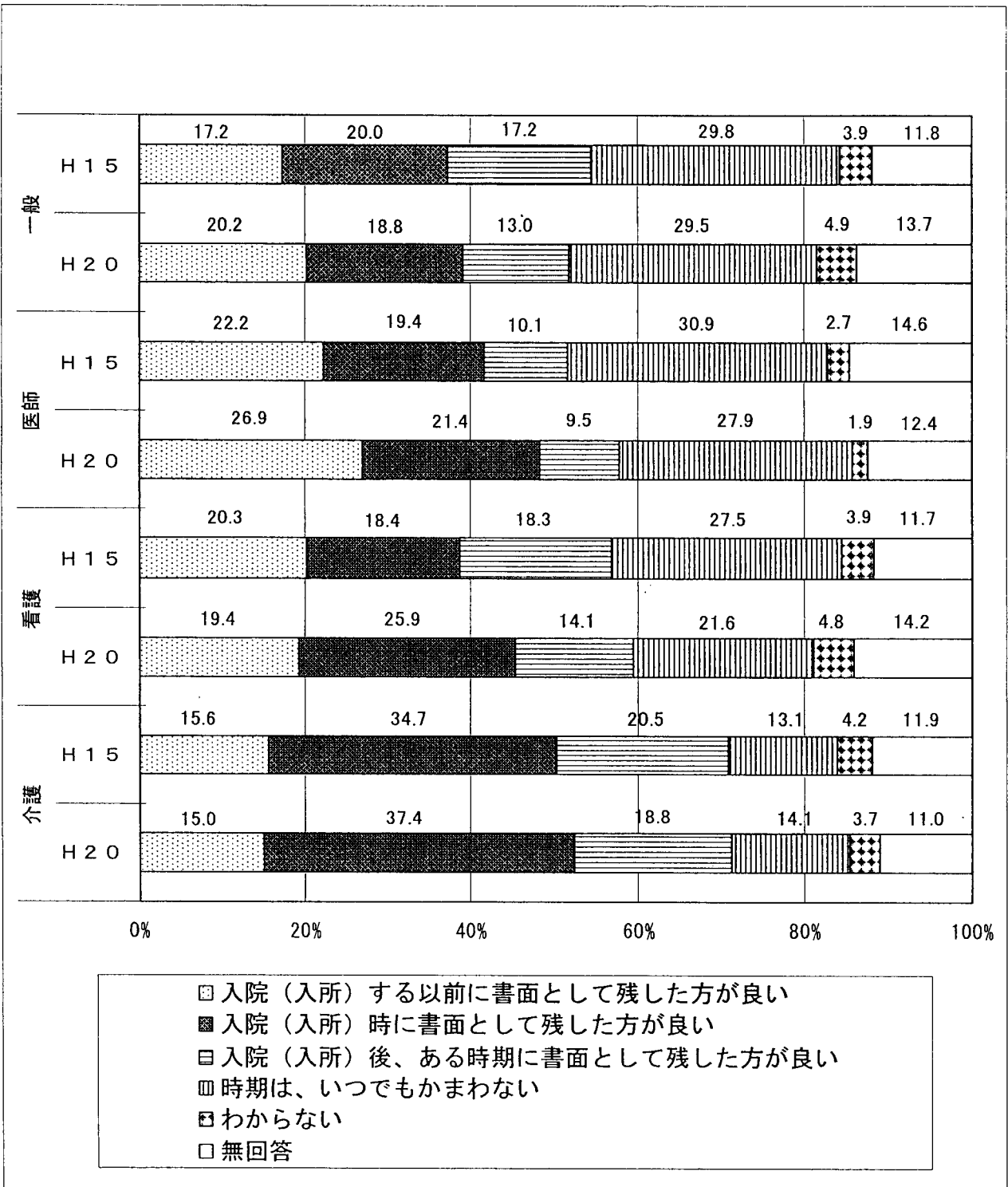
【(一般) 問14-1補問2, (医療従事者) 問20-1補問2】

(リビングウィルについて「賛成する」をお選びの方に) 死期が近い時の治療方針についての意思について入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホーム)から、書面により患者(入所者)の意思を尋ねるといふ考え方についてどのように思いますか。(〇は1つ)



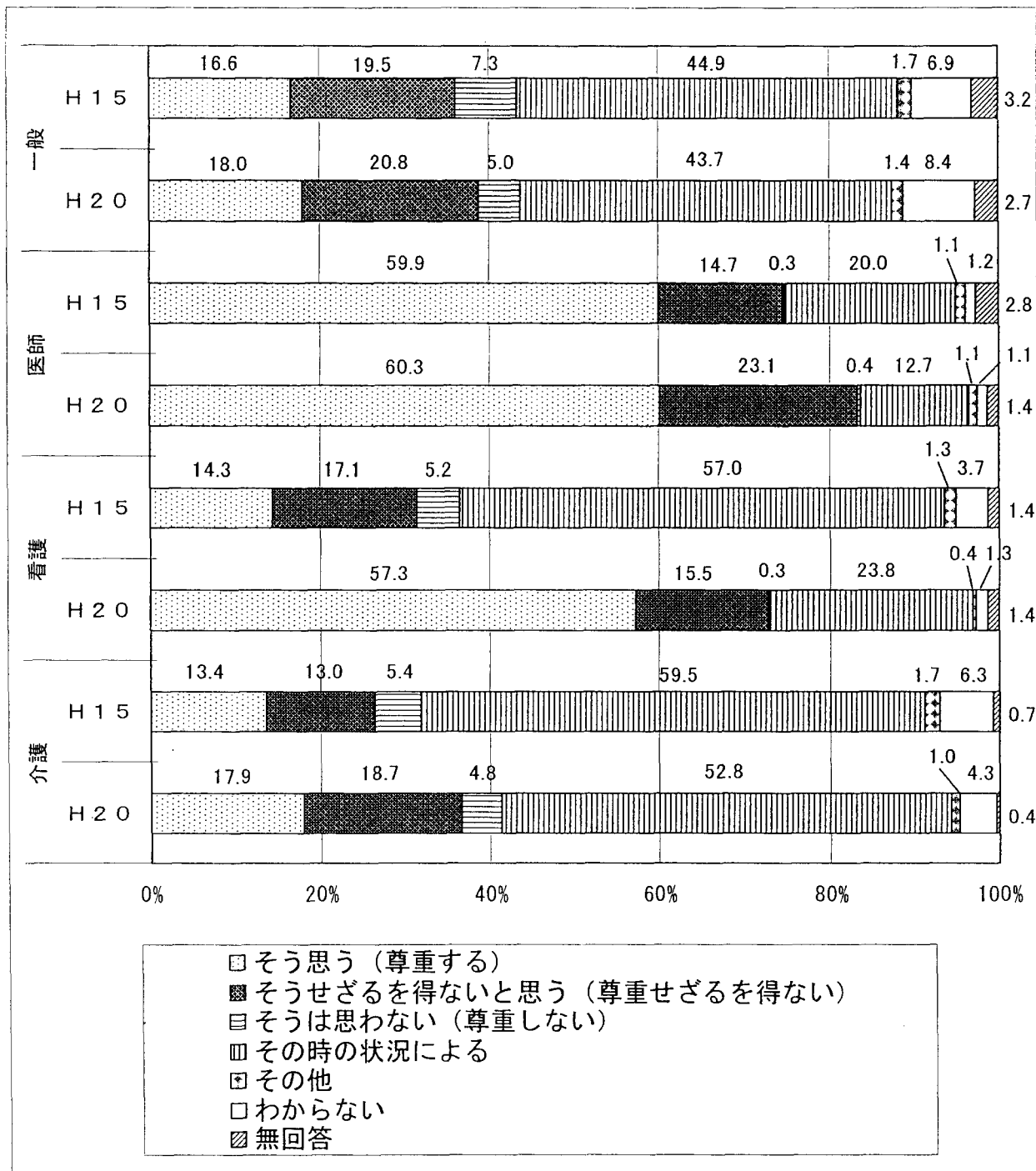
【(一般) 問14-1補問3, (医療従事者) 問20-1補問3】

(リビングウィルについて「賛成する」をお選びの方に) 書面に残すとしたらいつの時期が良いと思いますか。



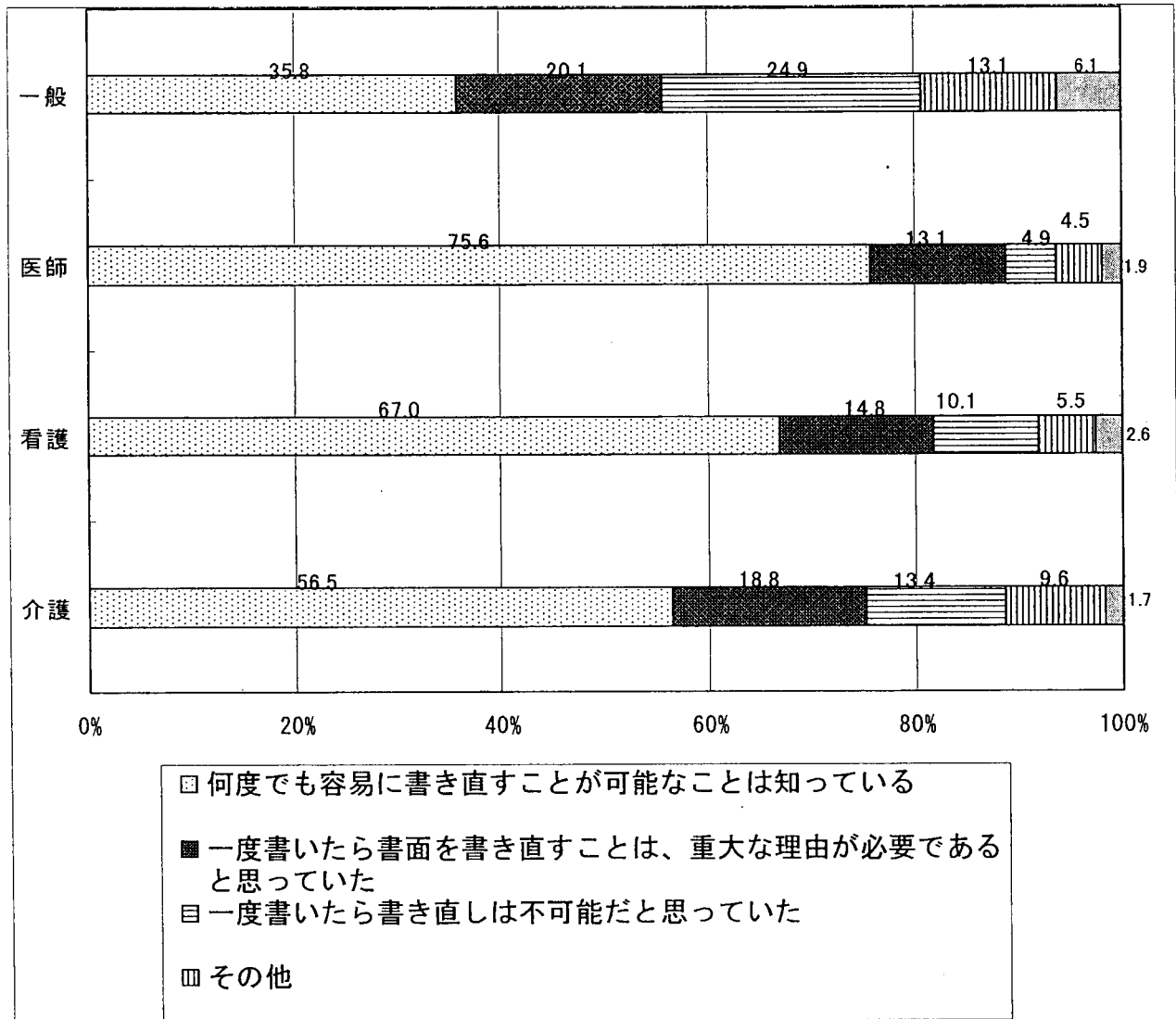
【(一般)問14-2】このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(○は1つ)

【(医療従事者)問20-2】このような書面について、あなた自身はその内容を尊重しますか。(○は1つ)



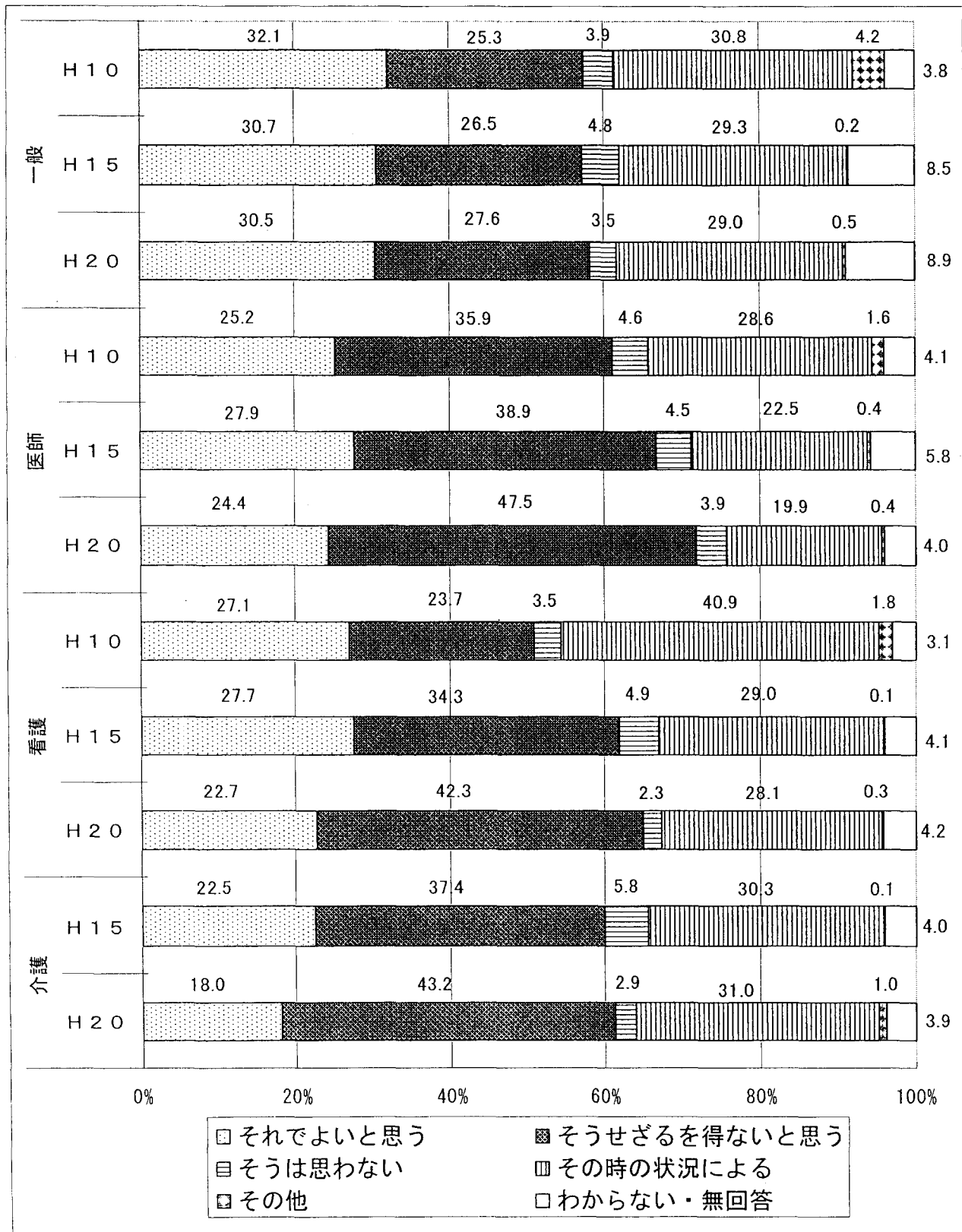
【(一般)問14-3, (医療従事者)問20-3】

あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(○は1つ)



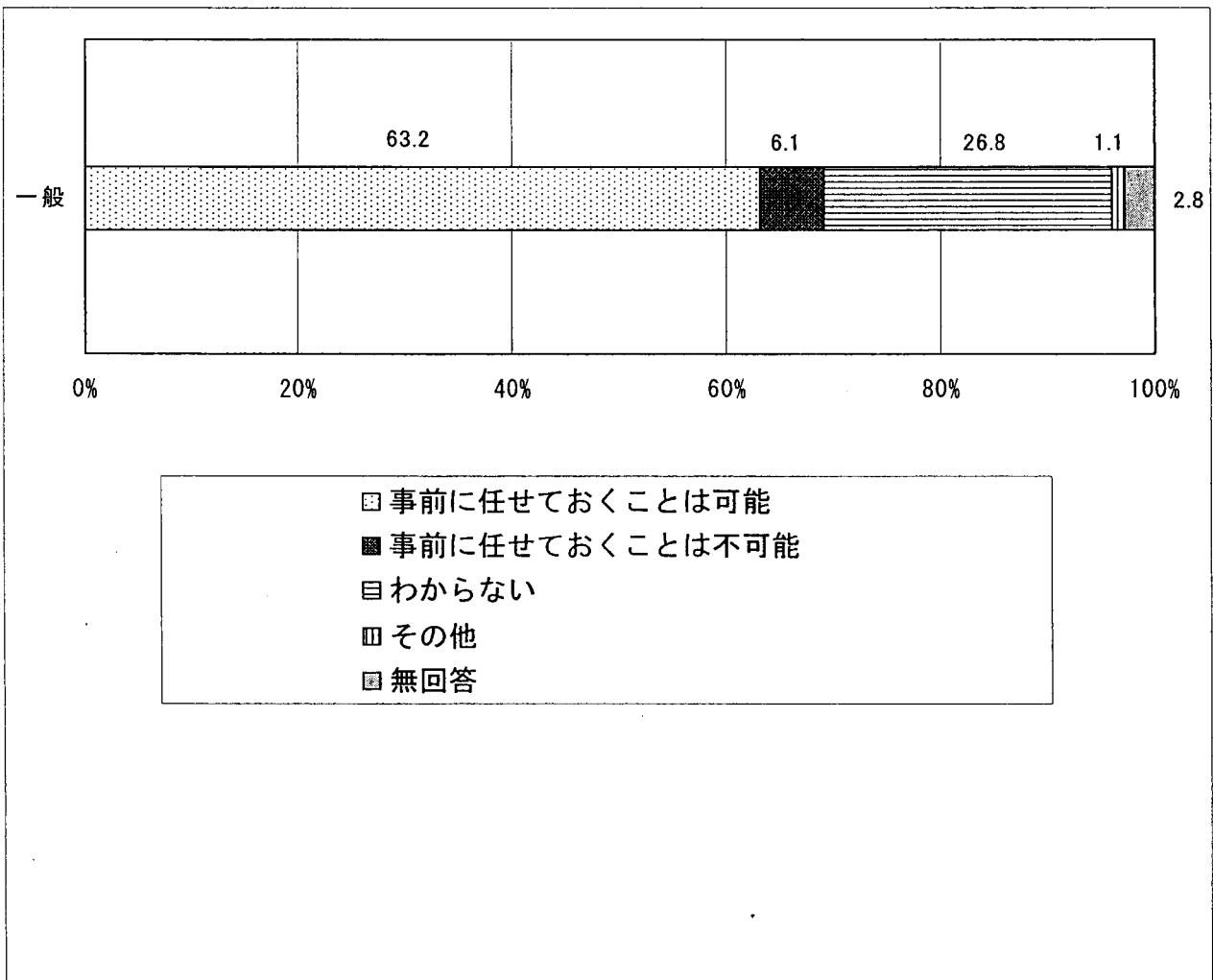
【(一般) 問14-4, (医療従事者) 問20-4】

事前に本人の意思の確認ができなかった患者(入所者)の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(書面ではなく代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)



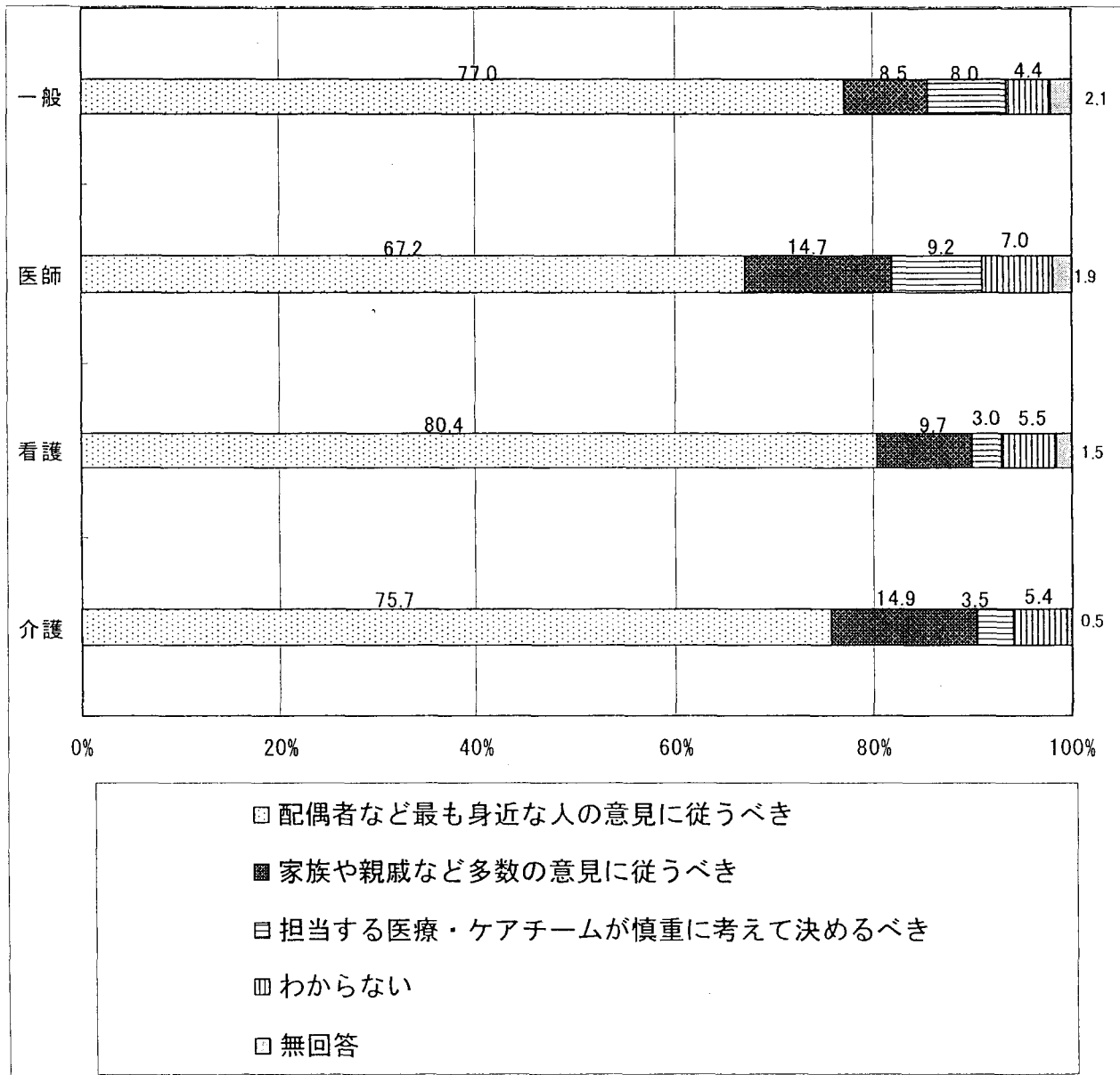
【(一般) 問14-5】

では、あなたは、自分が終末期に明確な意思表示を行うことが困難と思われる場合、事前に治療方針に関する判断をあなた以外の方に任せておくことは可能ですか。



【(一般) 問14-6】 あなたは、自分が終末期に明確な意思表示が示せない場合、治療方針の決定についてどのようにしてほしいですか。(〇は1つ)

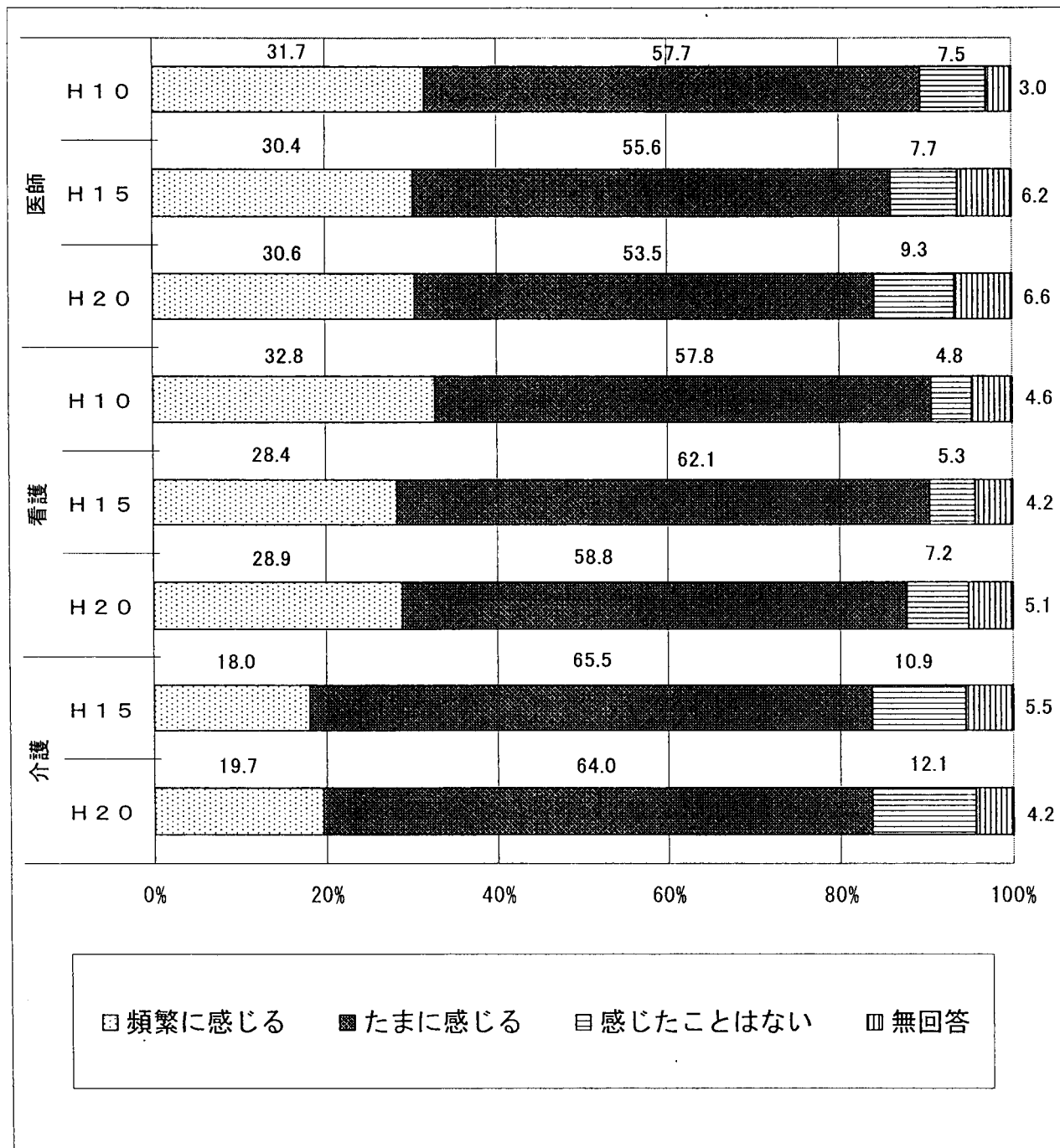
【(医療従事者) 問20-5】 本人の明確な意思表示が全くわからない場合の終末期における治療方針の決定についてどう思いますか。(〇は1つ)



(8) 終末期医療に対する悩み、疑問

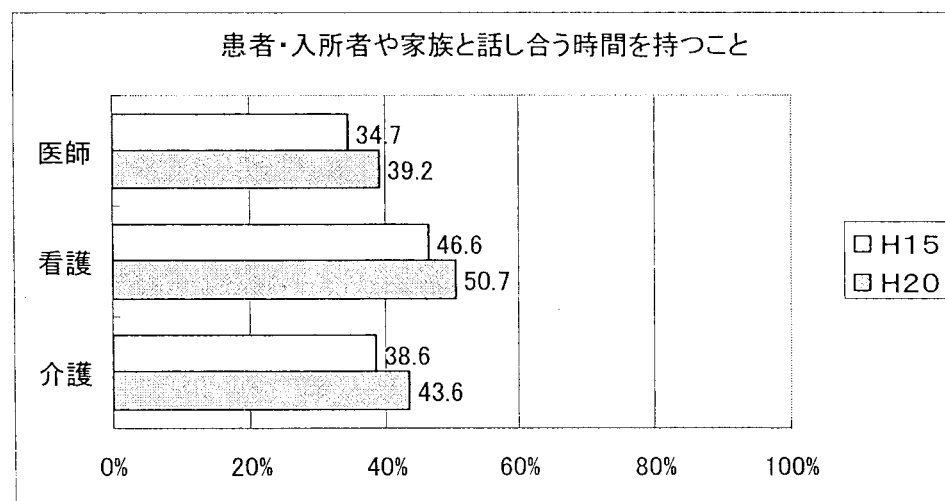
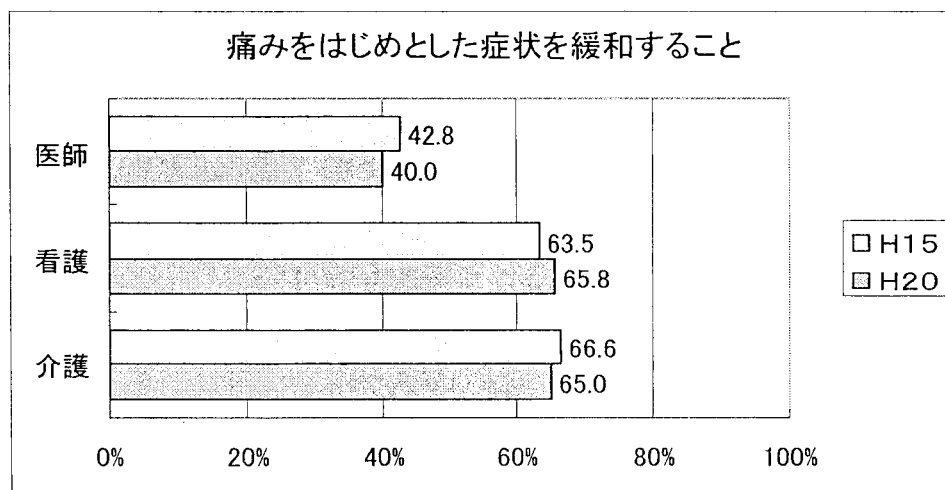
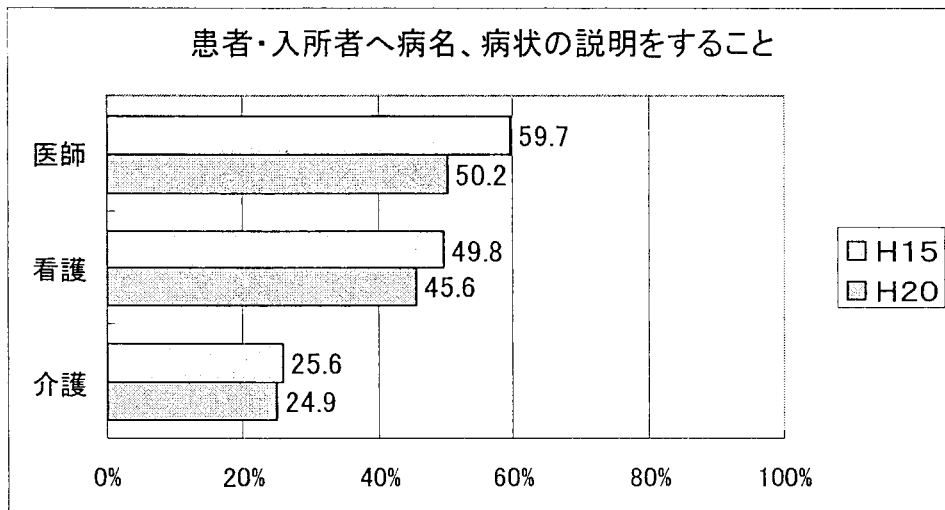
【(医療従事者) 問28】

あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

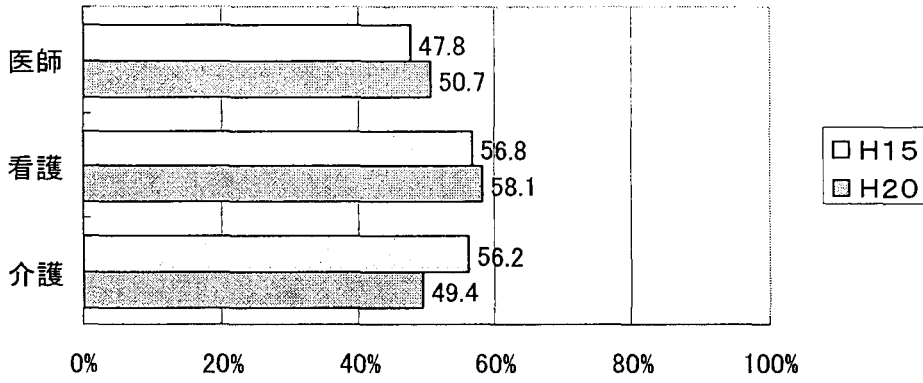


【(医療従事者) 問28補問】

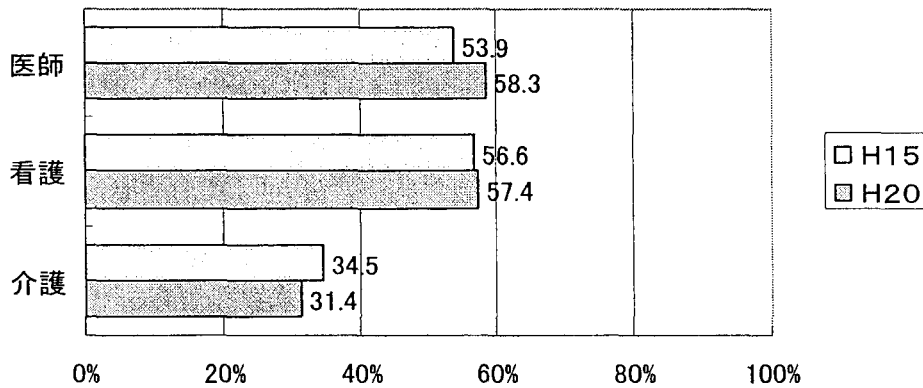
(1「頻繁に感じる」か「2たまに感じる」をお選びの方へ) 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者(入所者)の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)



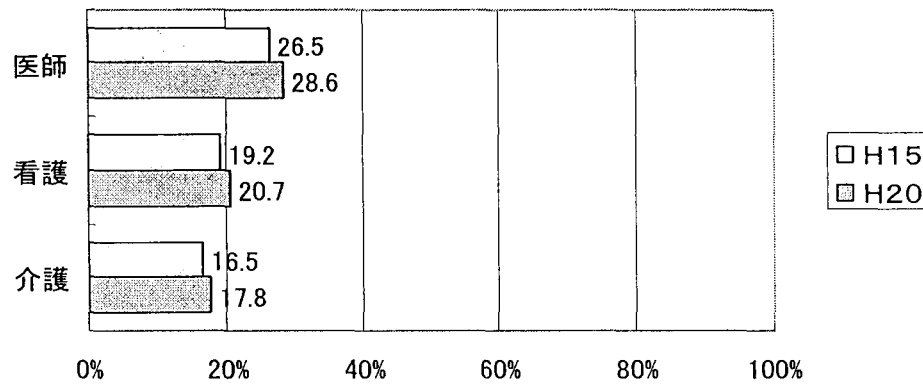
病院内の設備や終末期医療の施設が乏しいこと



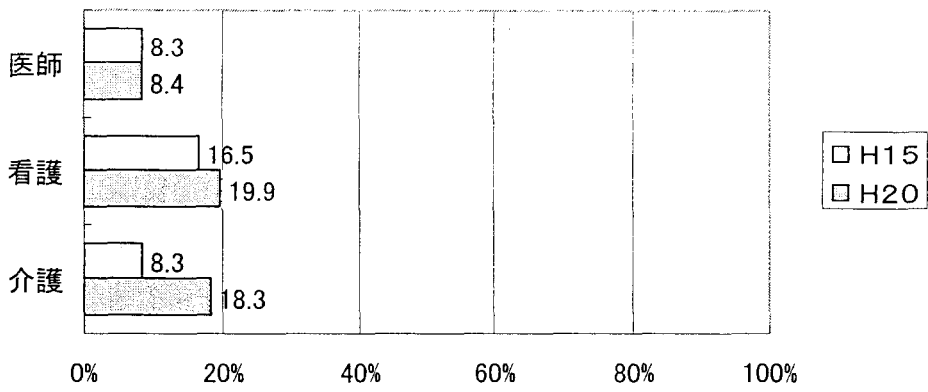
在宅医療の体制が十分でないこと



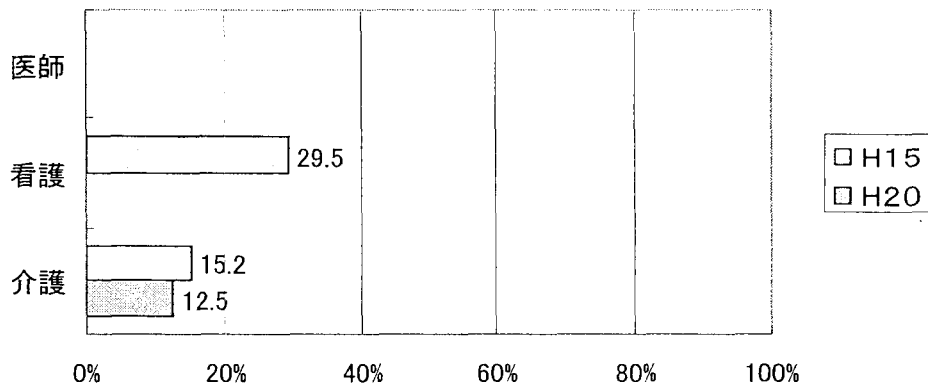
延命のための医療を中止すること



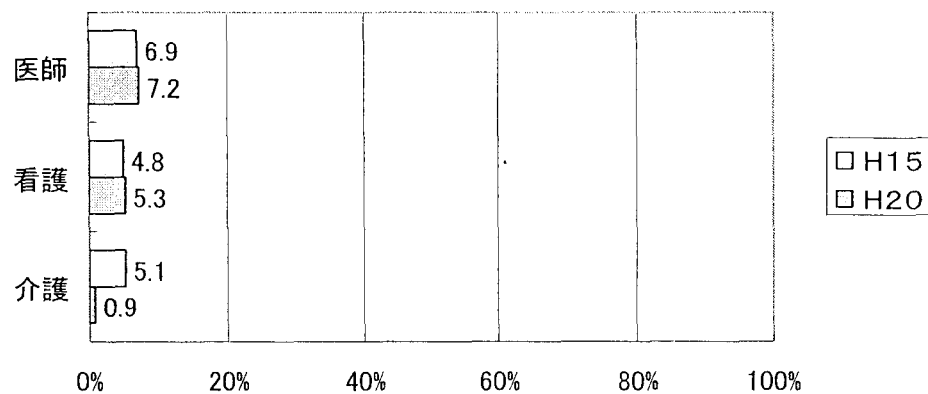
医療チームで意見がわかること



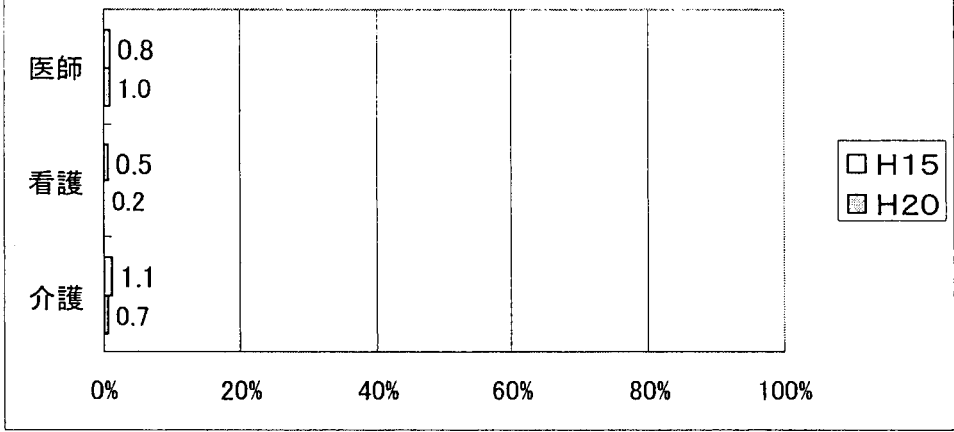
医師と患者・入所者との板挟みになること



その他



特になし

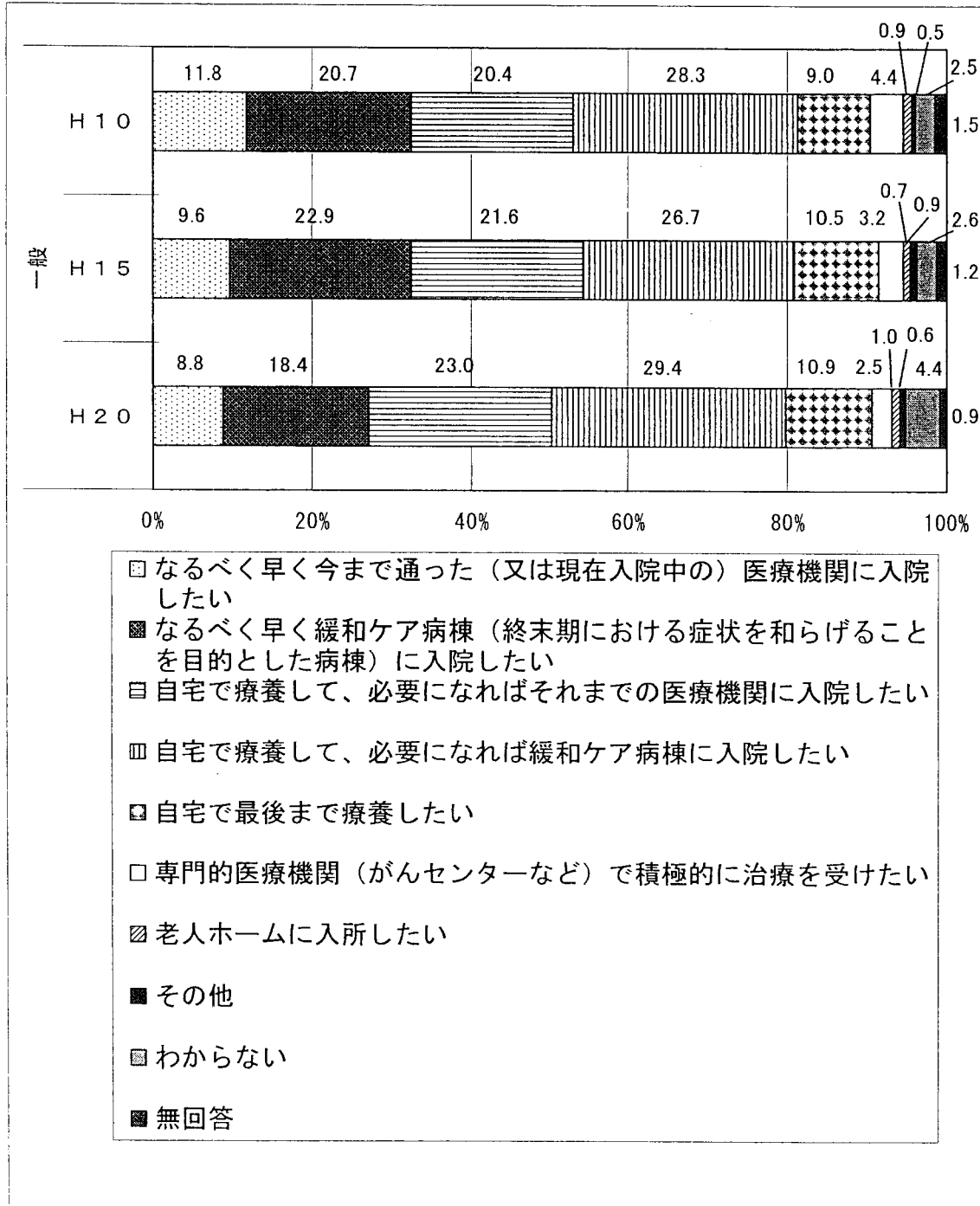


(9) 終末期における療養の場所

1) 死期が迫っている患者

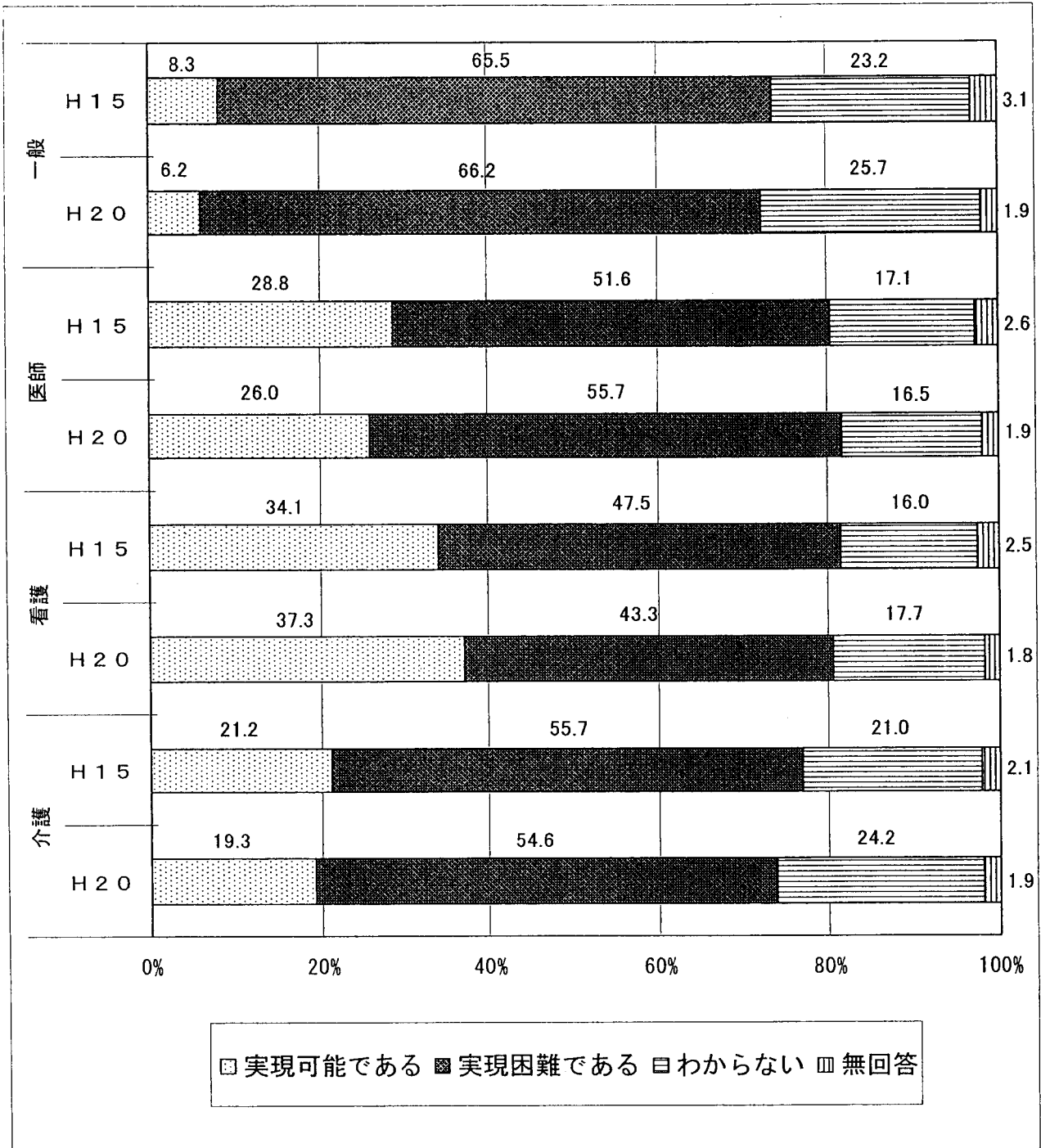
【(一般) 問5-1】

あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。(○は1つ)



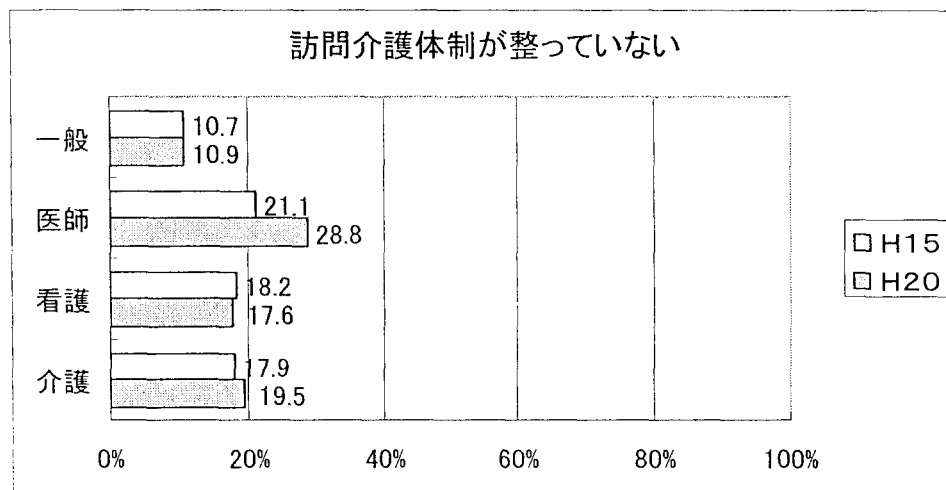
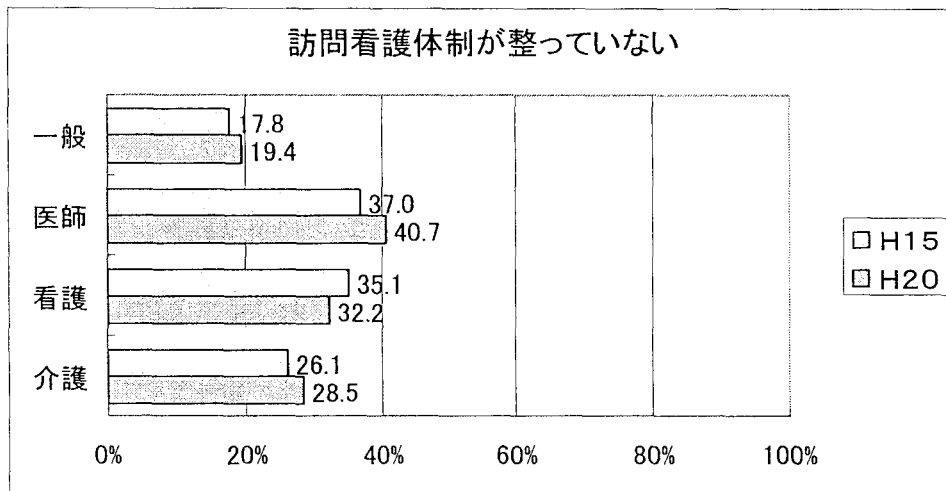
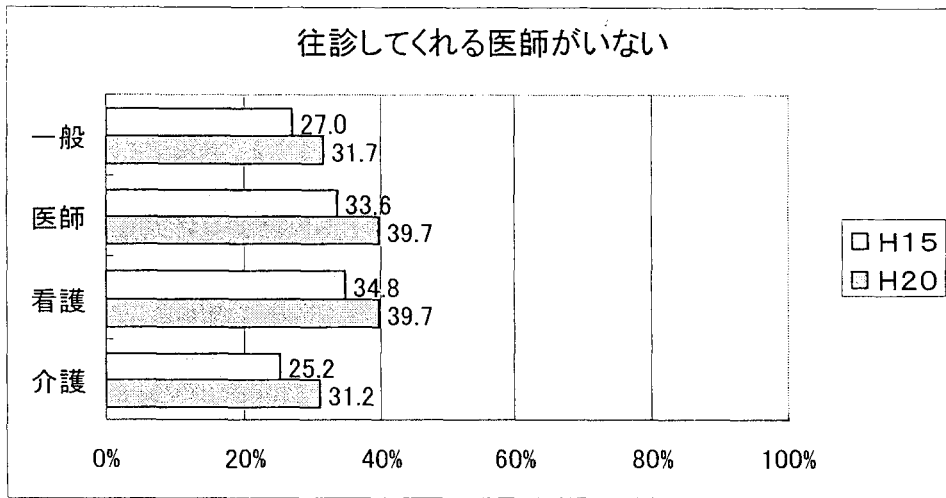
【(一般) 問5-2, (医療従事者) 問10-2】

自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

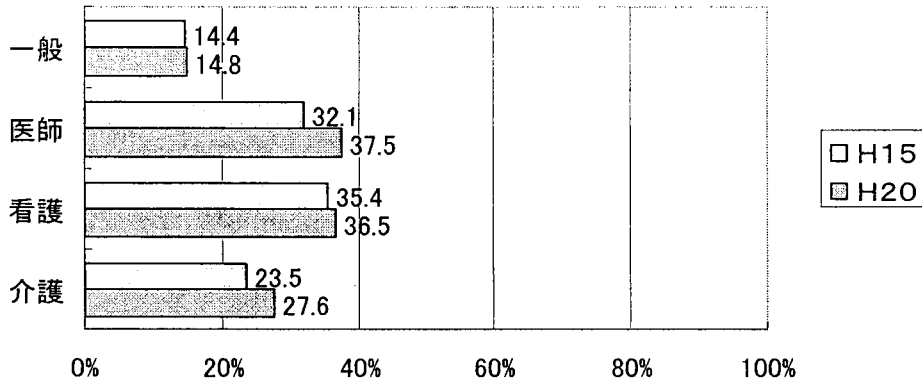


【(一般) 問5-2補問, (医療従事者) 問10-2補問】

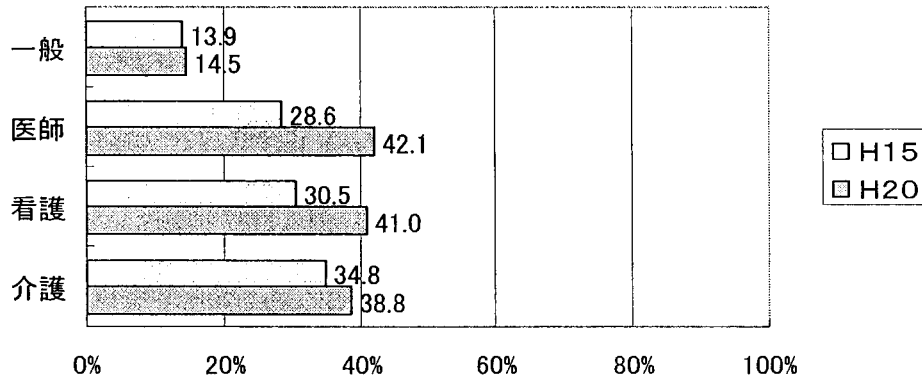
(「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)



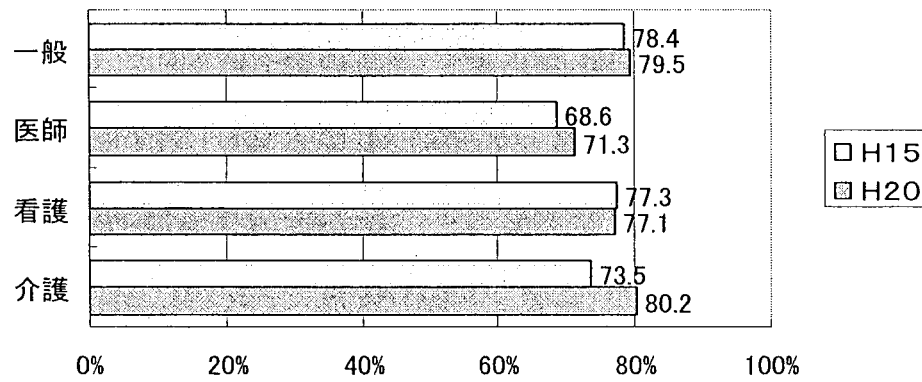
24時間相談にのってくれるところがない



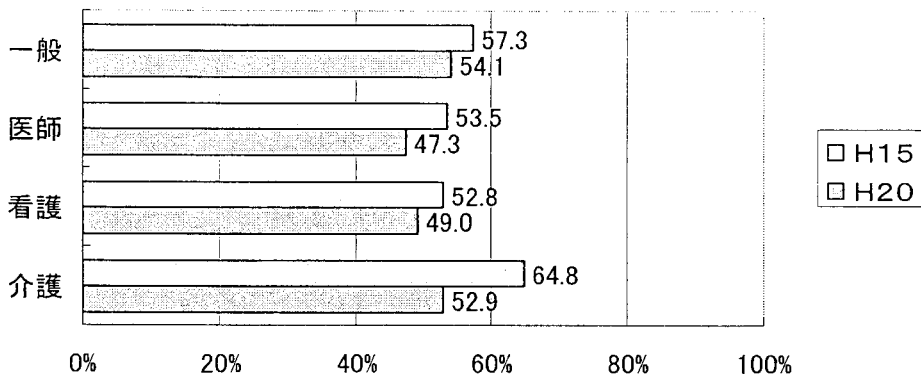
介護してくれる家族がない



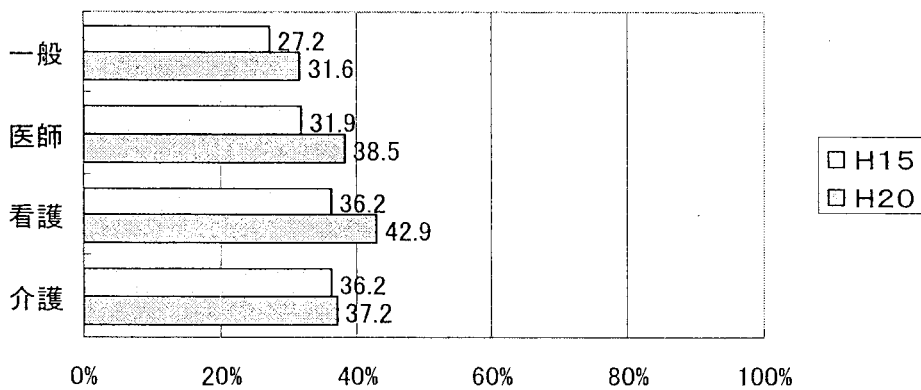
介護してくれる家族に負担がかかる



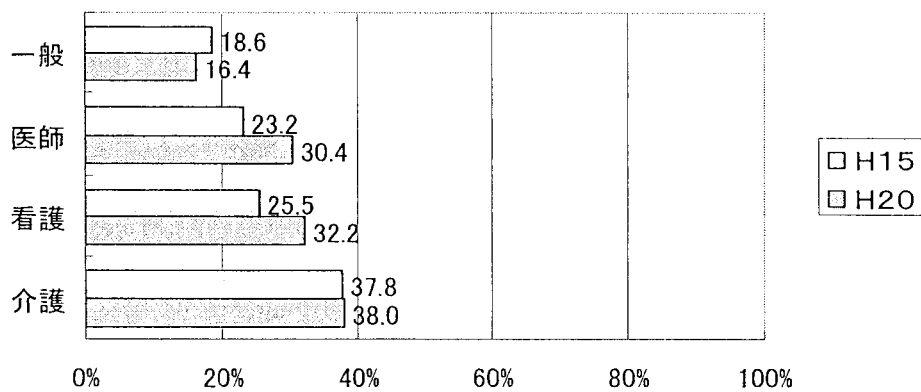
症状が急変したときの対応に不安である



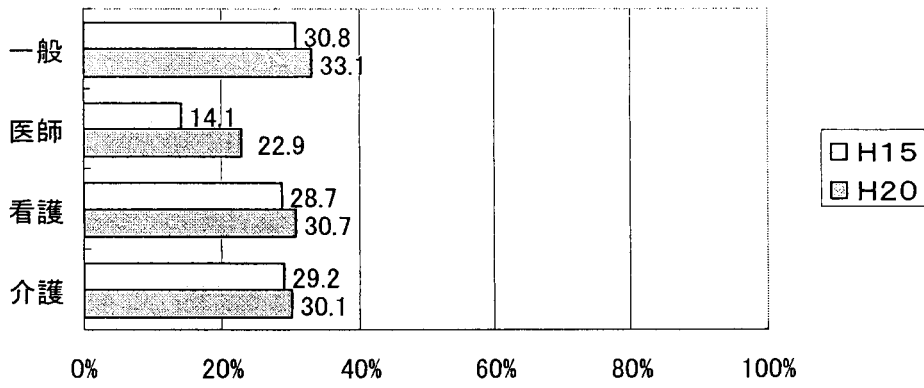
症状急変時すぐに入院できるか不安である



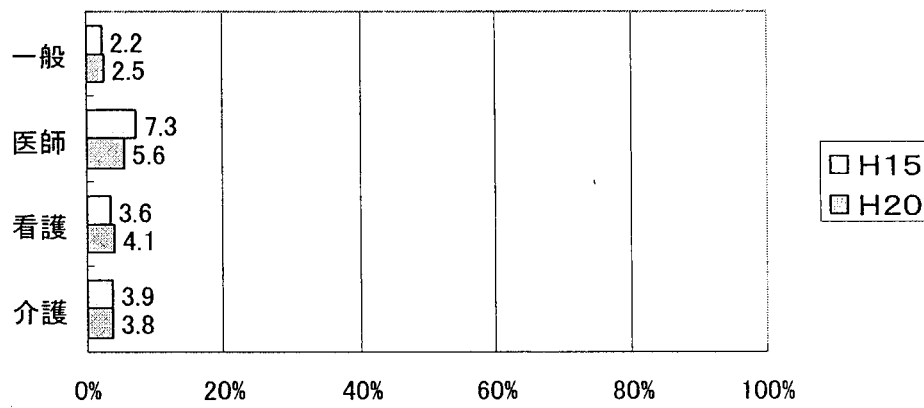
居住環境が整っていない



経済的に負担が大きい



その他

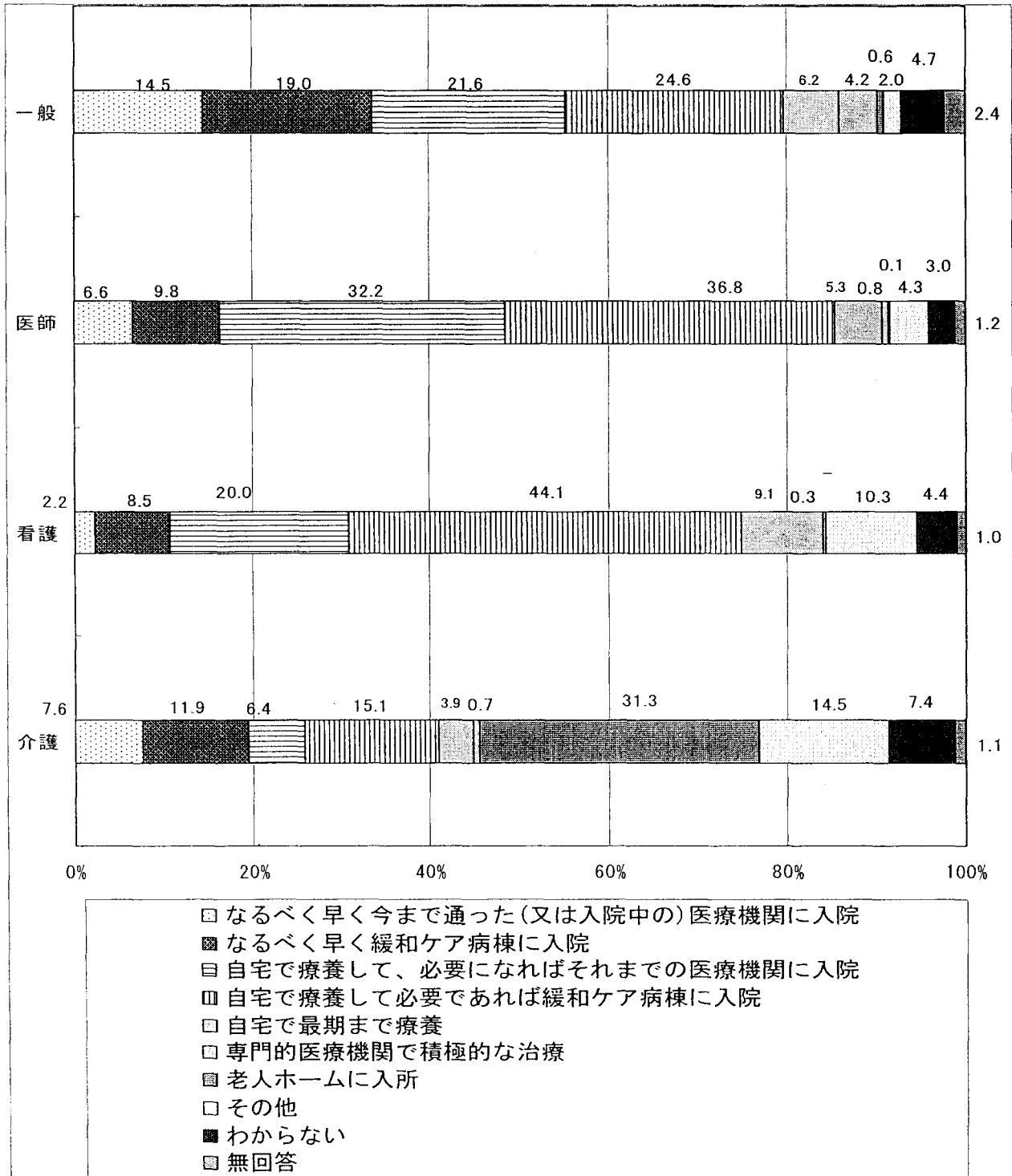


【(一般) 問7-1】

あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。(○は1つ)

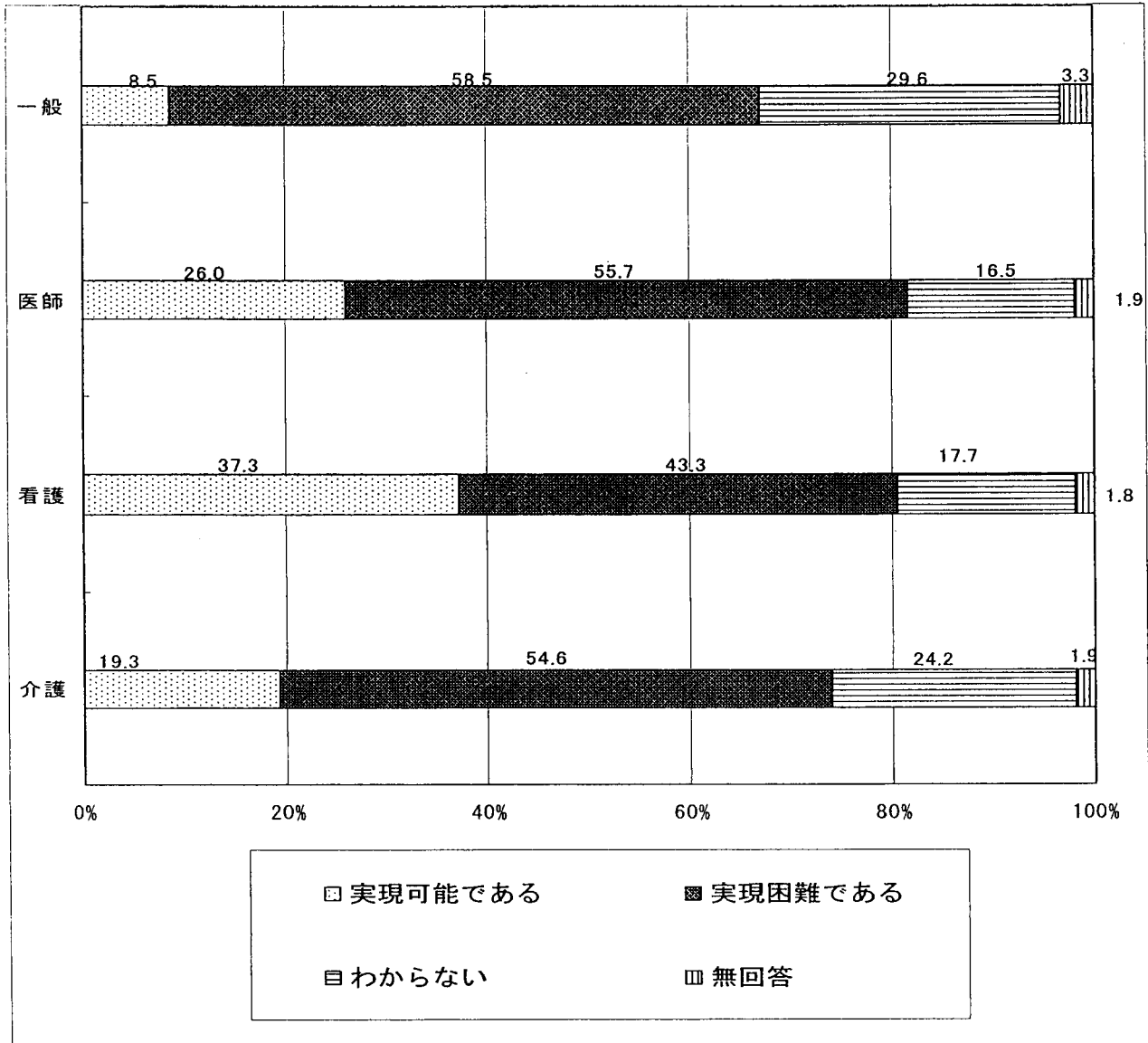
【(医療従事者) 問10-1】

あなたが担当している患者(入所者)が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、療養生活はどこを薦めますか。(○は1つ)



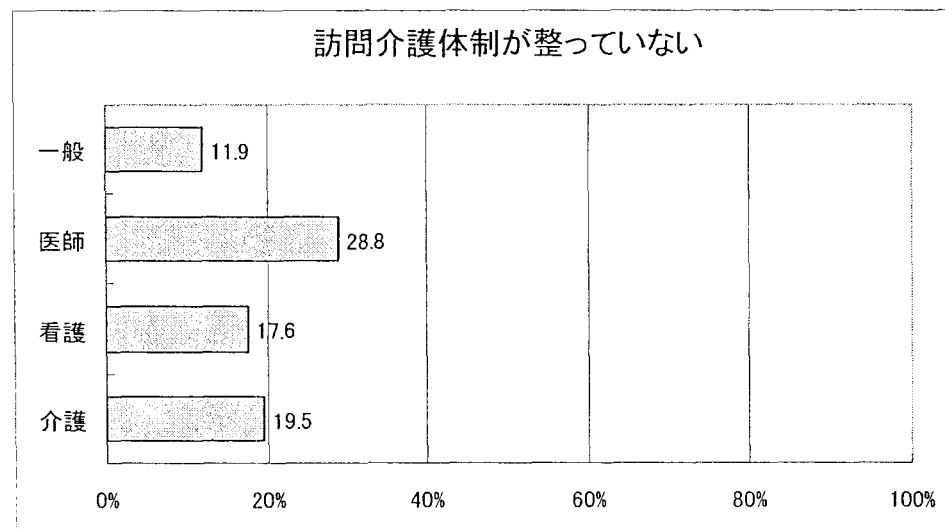
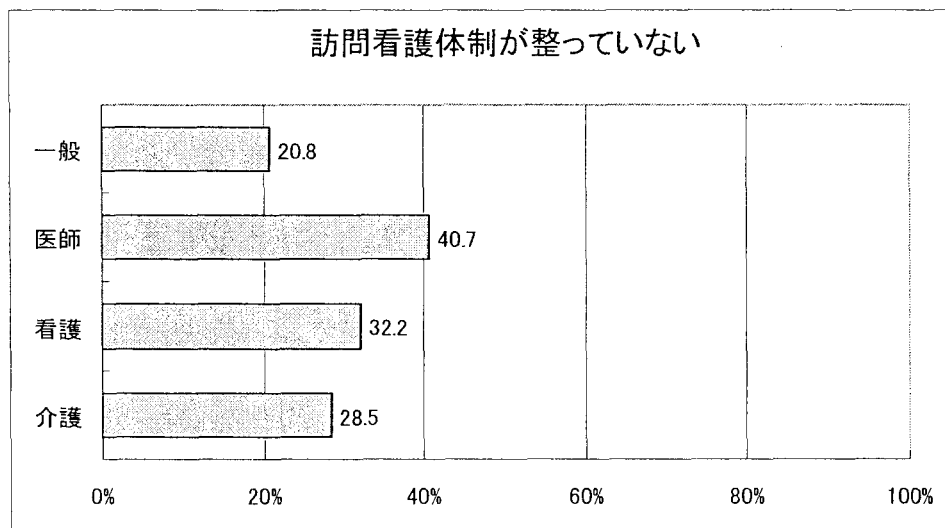
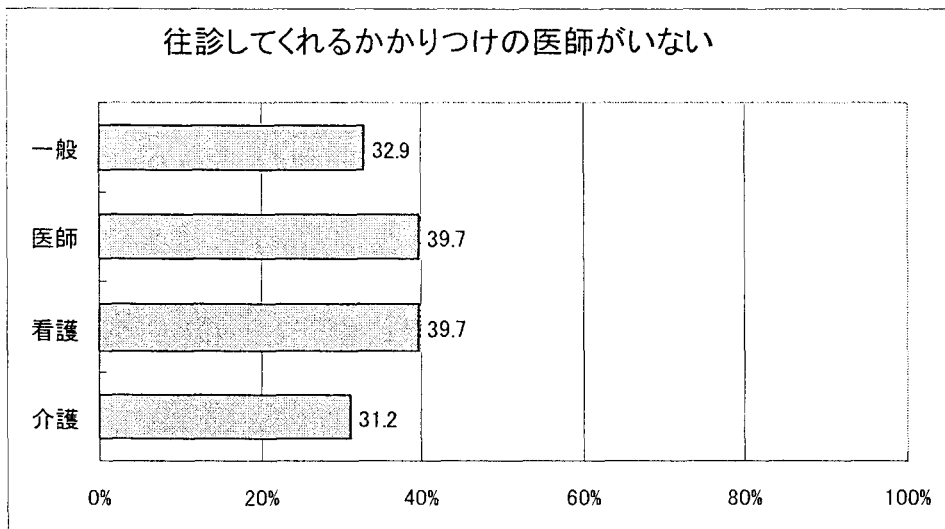
【(一般) 問7-2 (医療従事者) 問10-2】

あなたの家族(担当者)は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

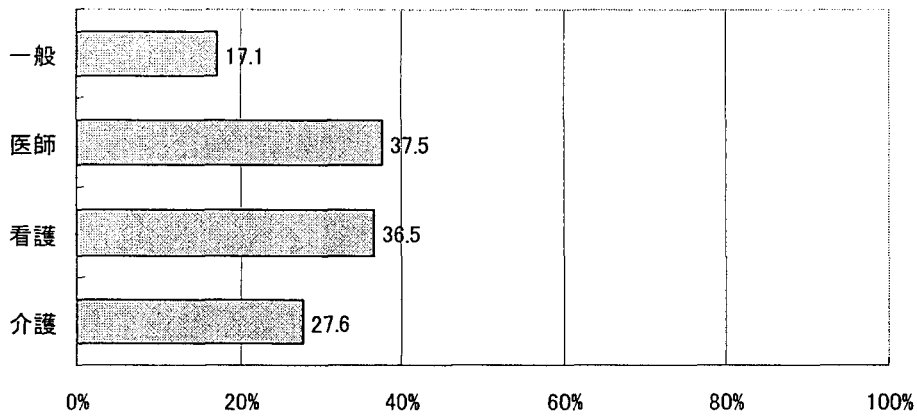


【(一般) 問7-2補問 (医療従事者) 問10-2補問】

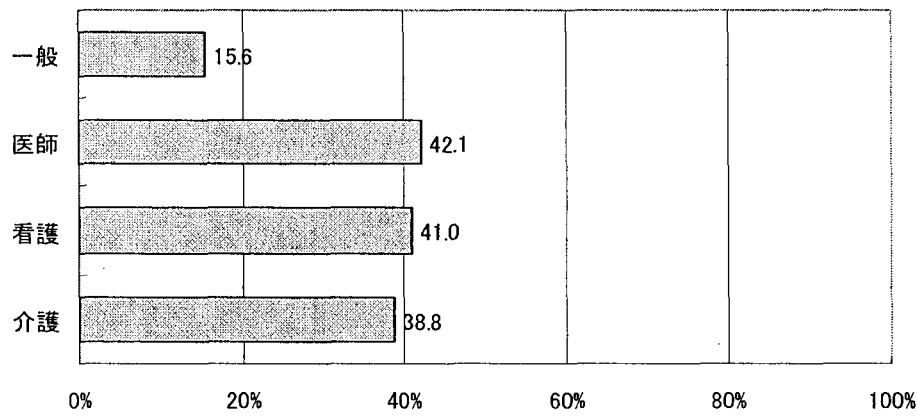
(問7-2、10-2で「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)



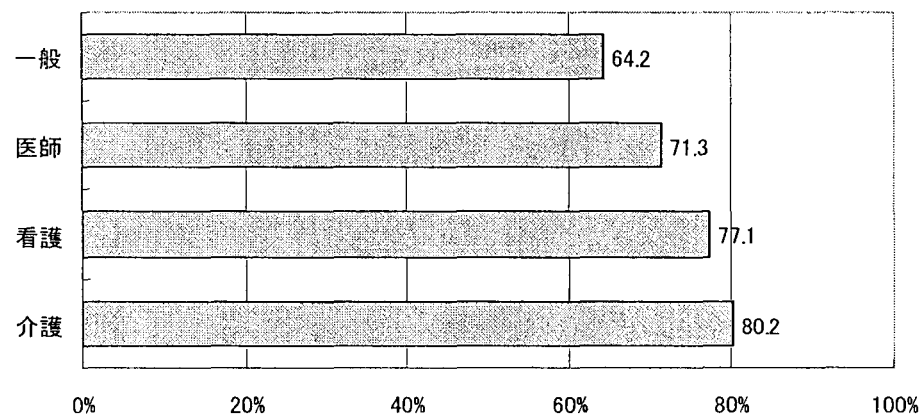
24時間相談にのってくれるところがない



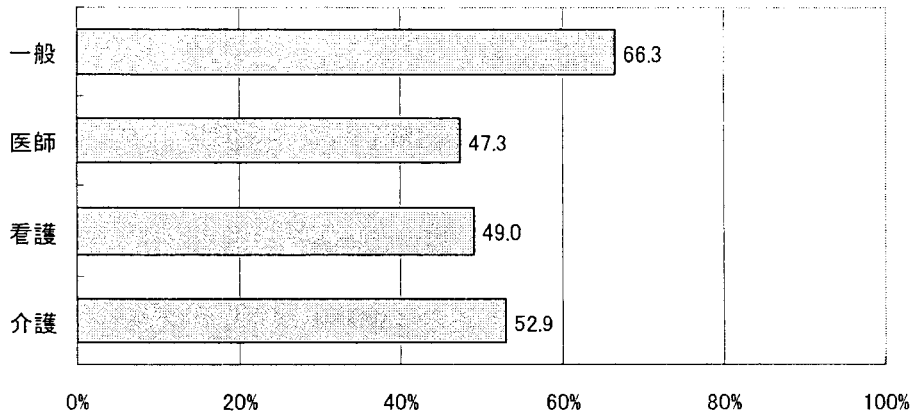
介護してくれる家族がない



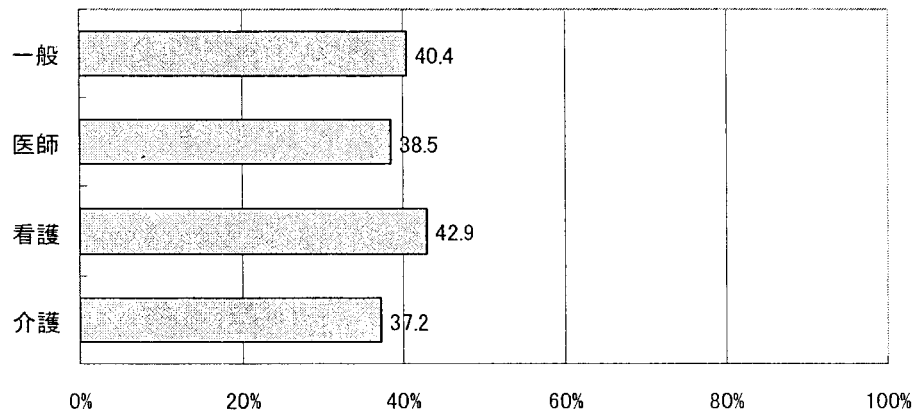
介護してくれる家族に負担がかかる



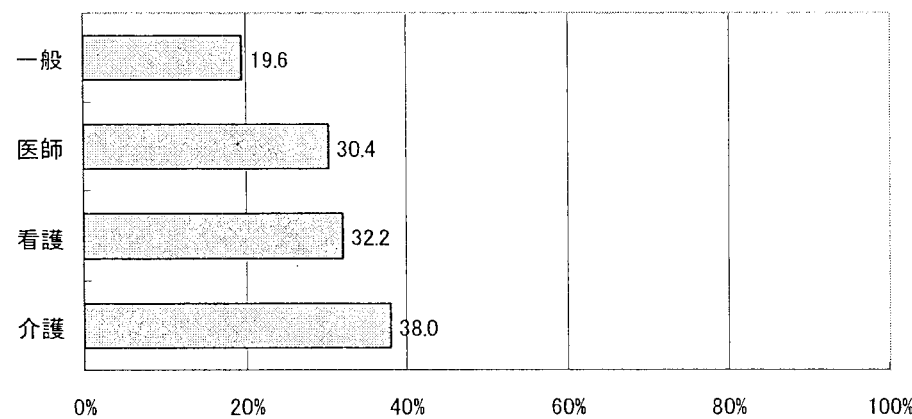
症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安



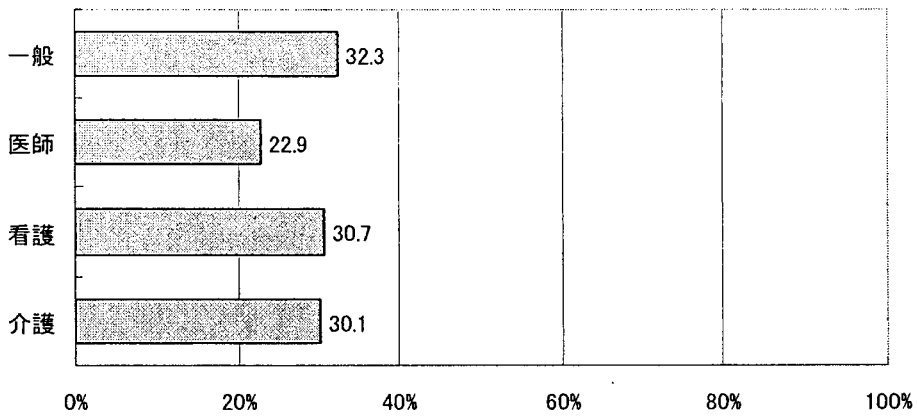
症状が急に悪くなったときにすぐ病院に入院できるか不安



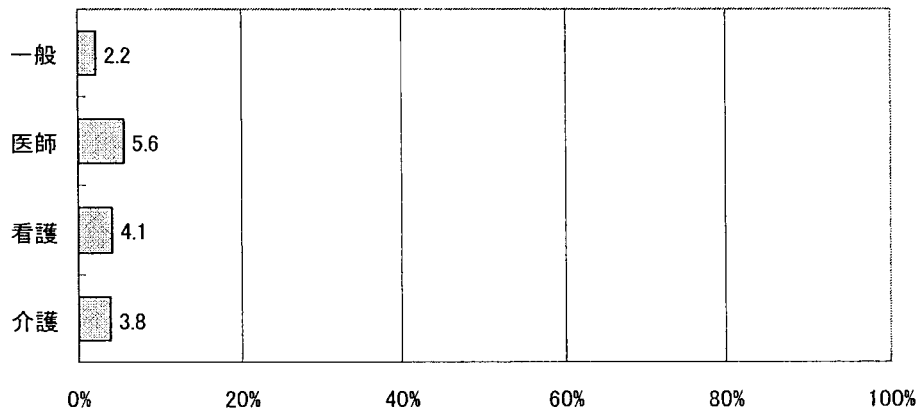
居住環境が整っていない



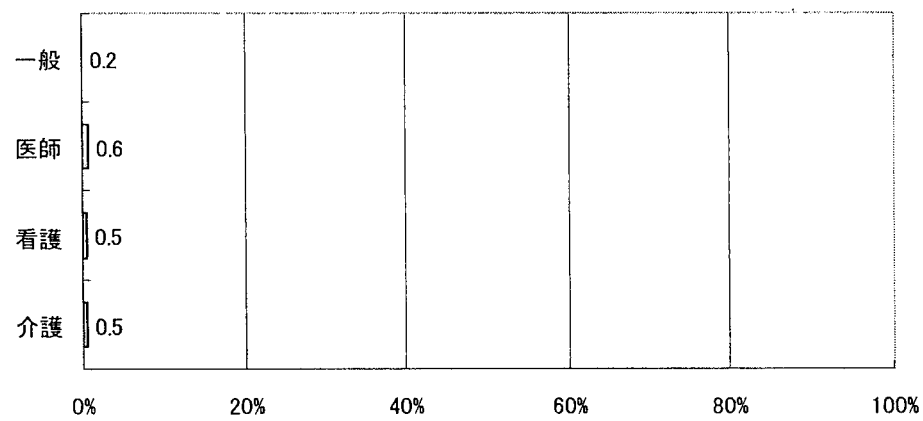
経済的に負担が大きい



その他



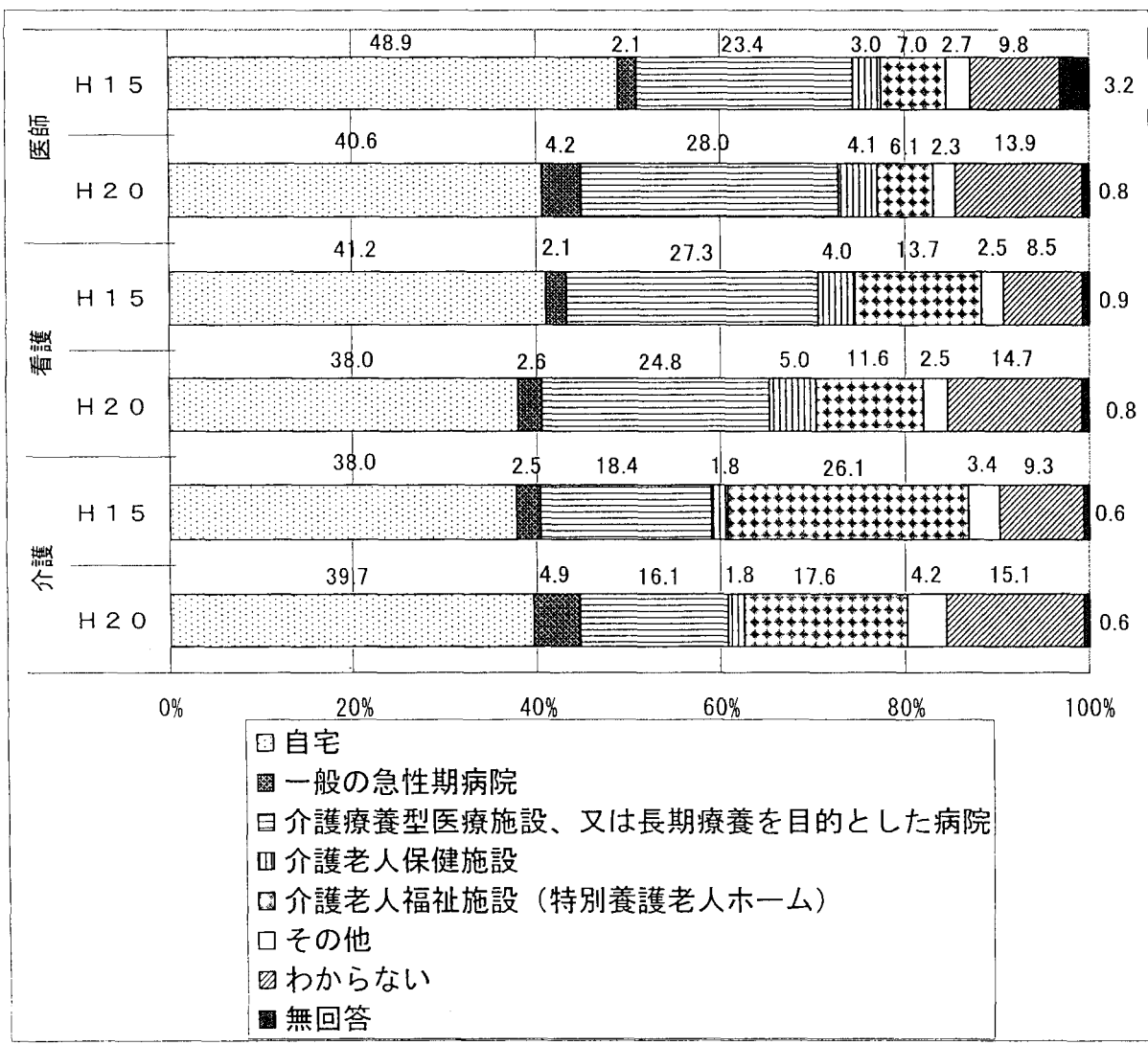
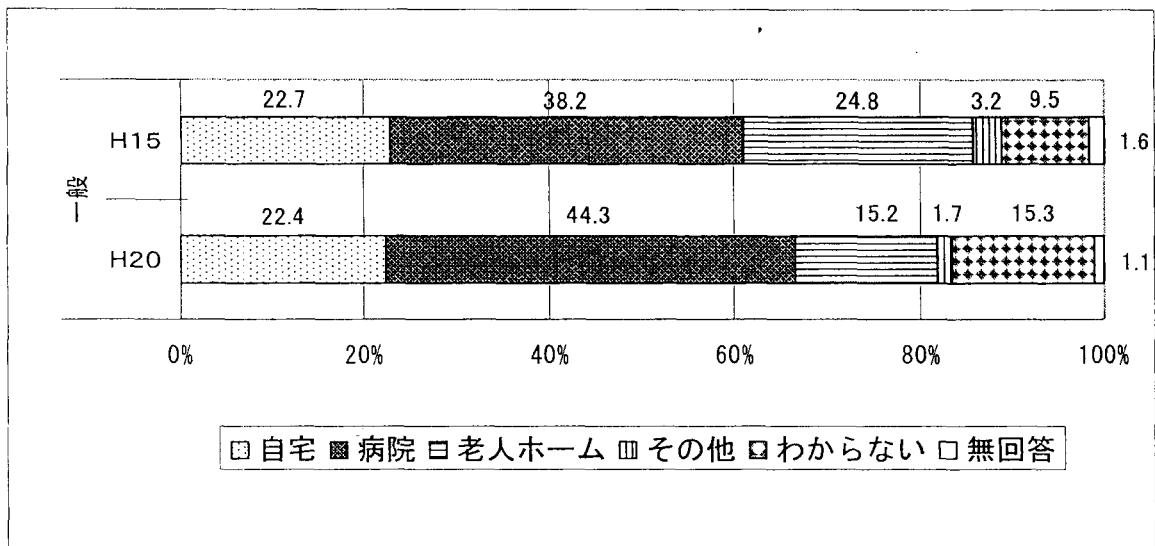
無回答



2) 脳血管障害や認知症によって全身状態が悪化した患者

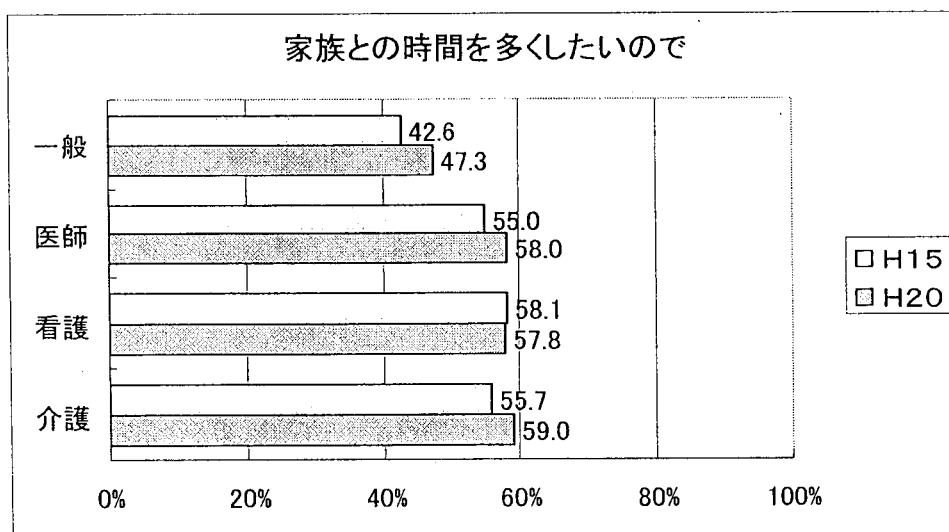
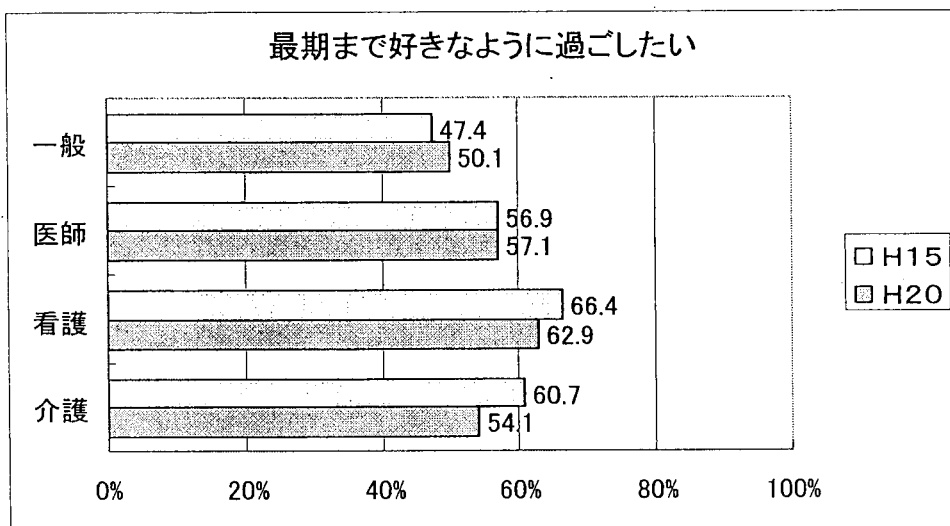
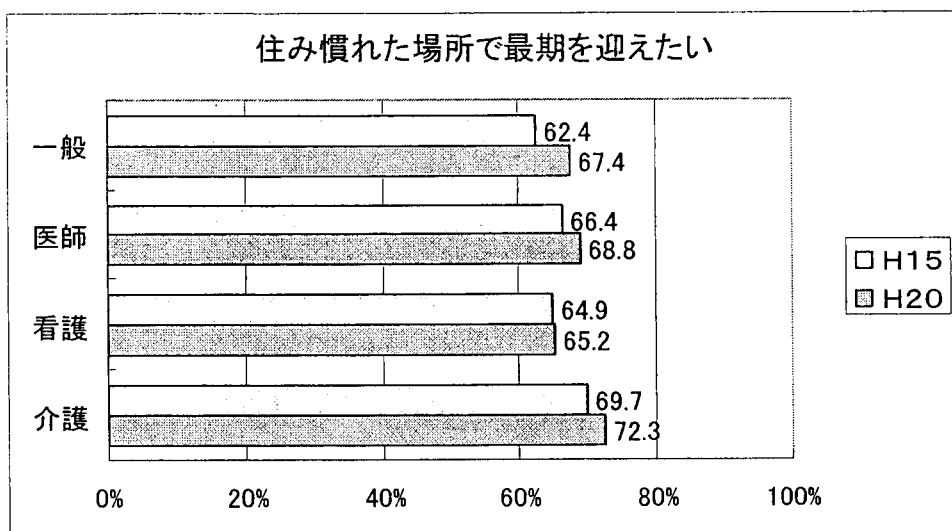
【(一般)問11, (医療従事者)問16】

あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。(○は1つ)

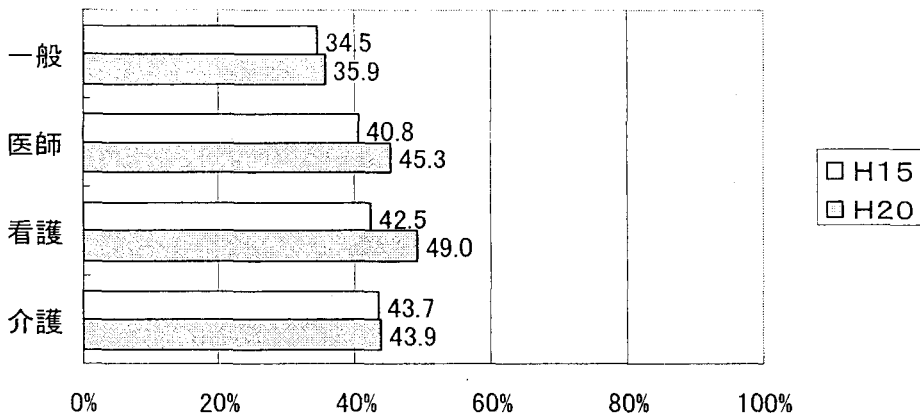


【(一般) 問11 補問1, (医療従事者) 問16 補問1】

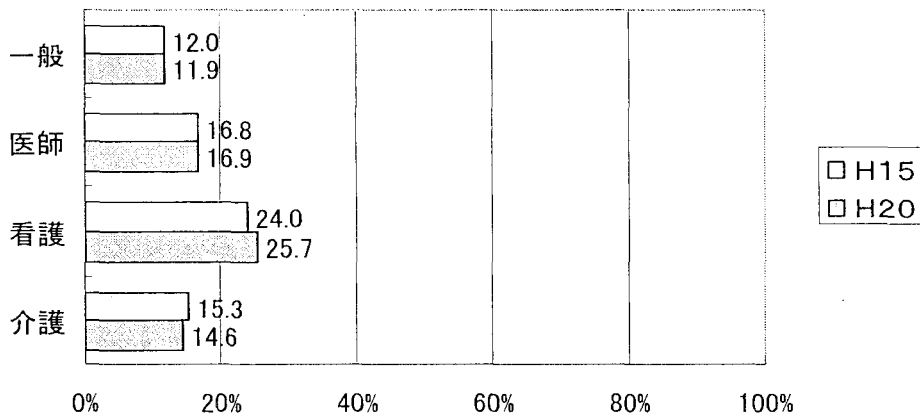
(問11で「1自宅」をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いませんか。



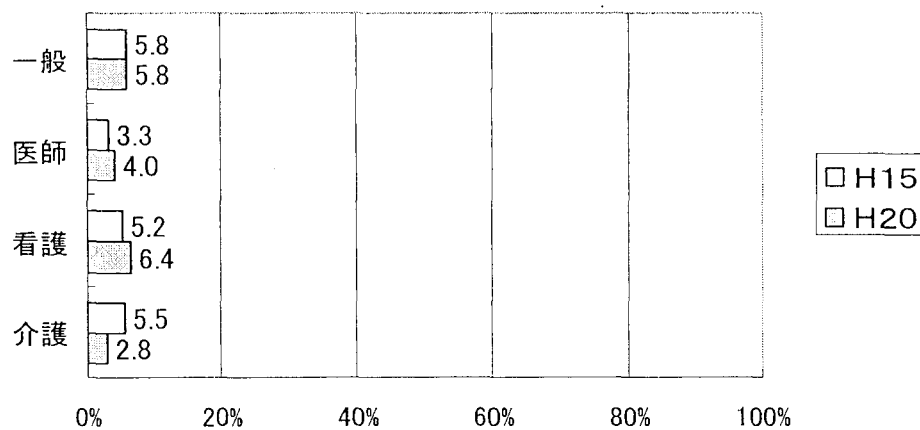
家族に看取られて最期を迎えたい

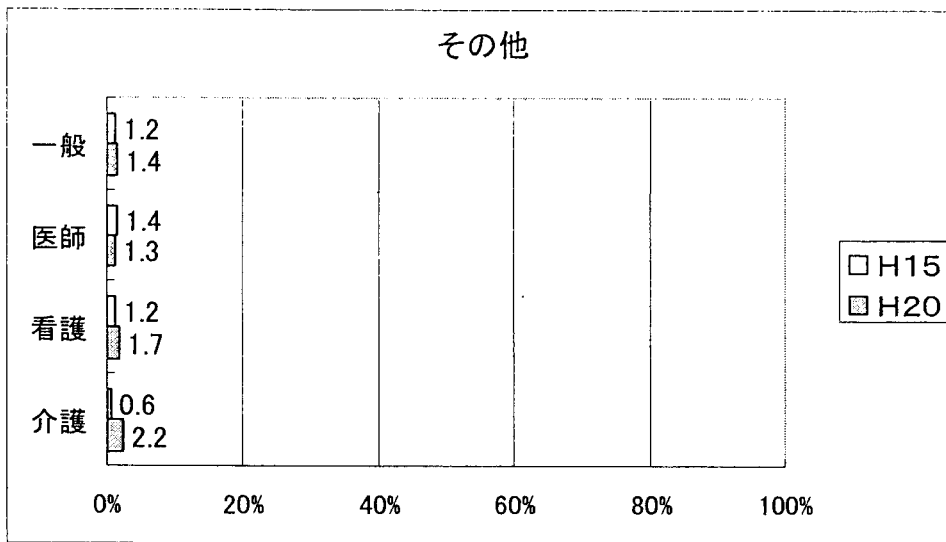


病院では望むような状態で死ねない

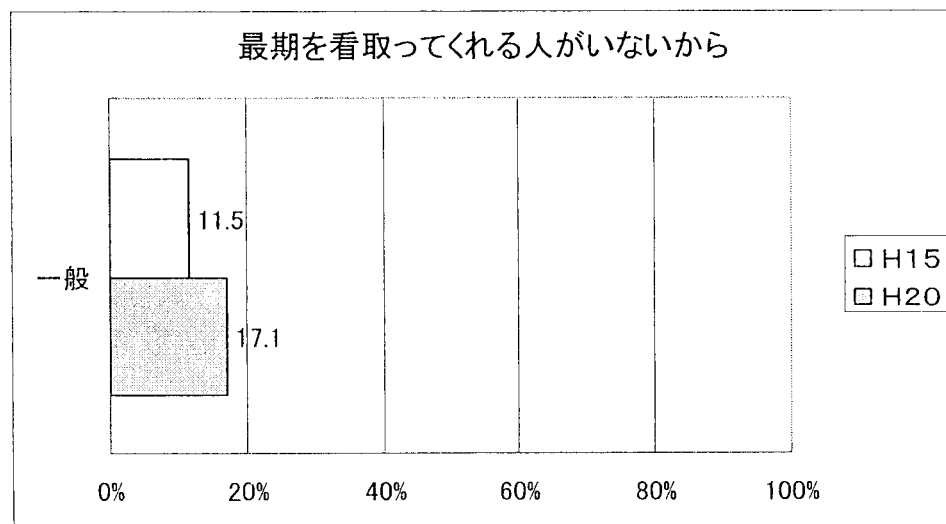
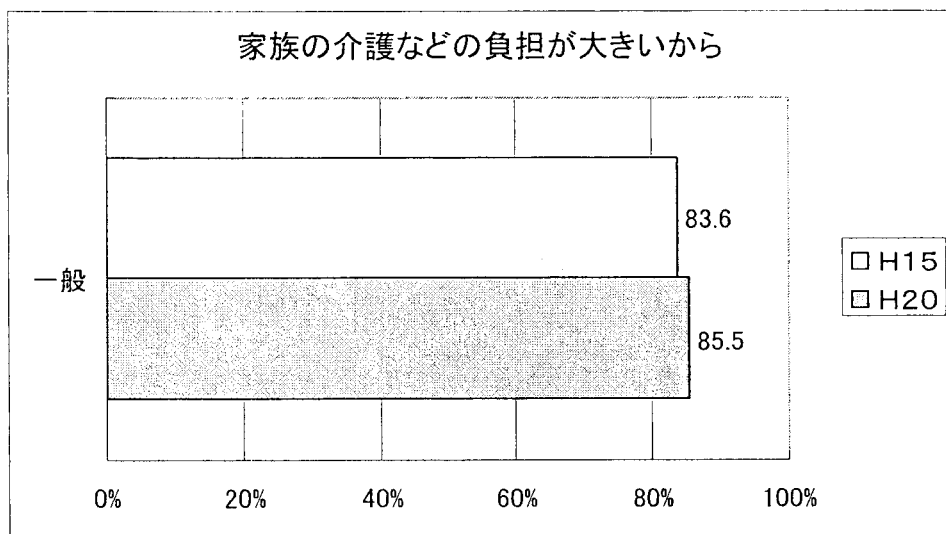


家族や知人が自宅で最期を迎えた

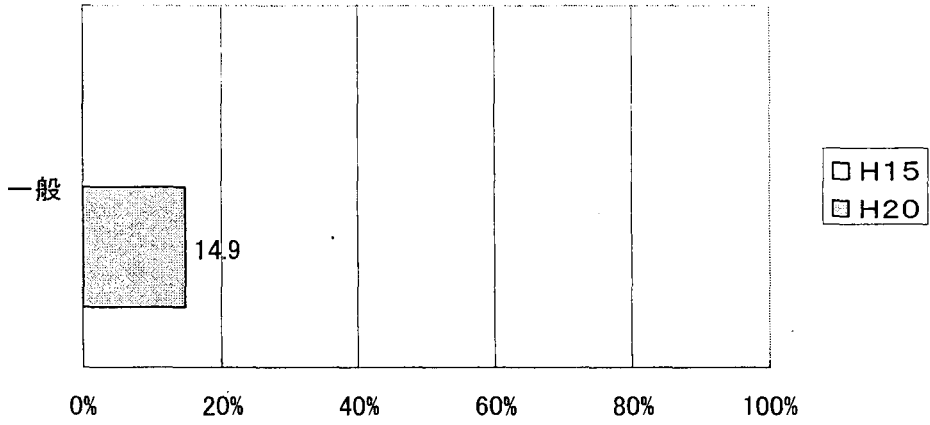




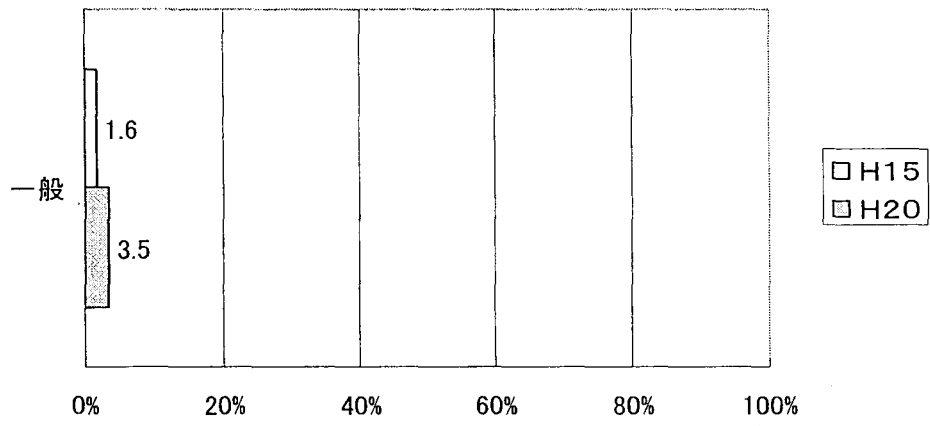
【(一般) 問 1 1 補問 2】(「2 病院」「3 老人ホーム」「4 その他」をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)



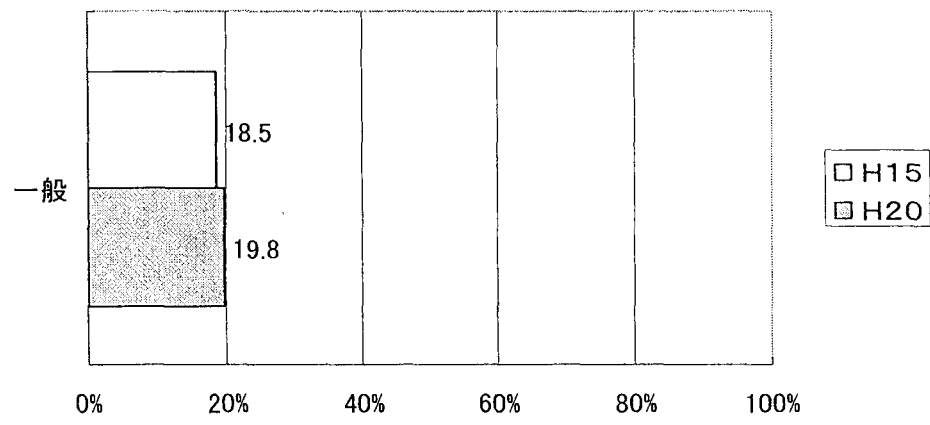
自宅では訪問看護体制が整っていない



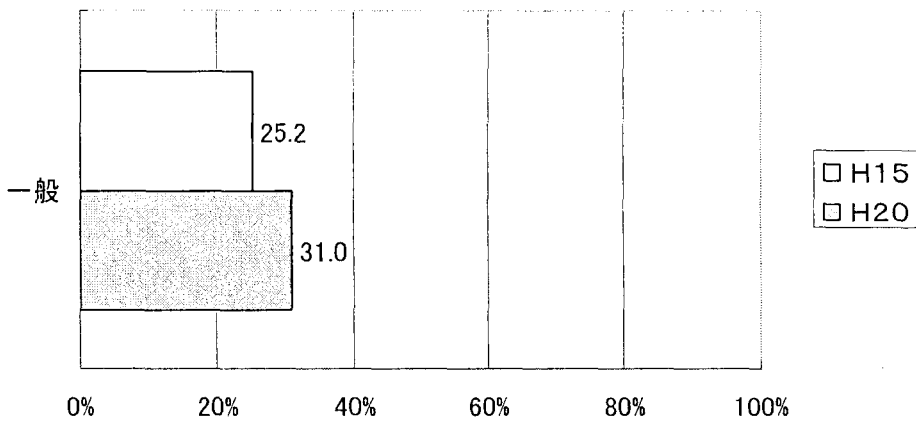
自宅で最期を迎えるのは一般的ではないから



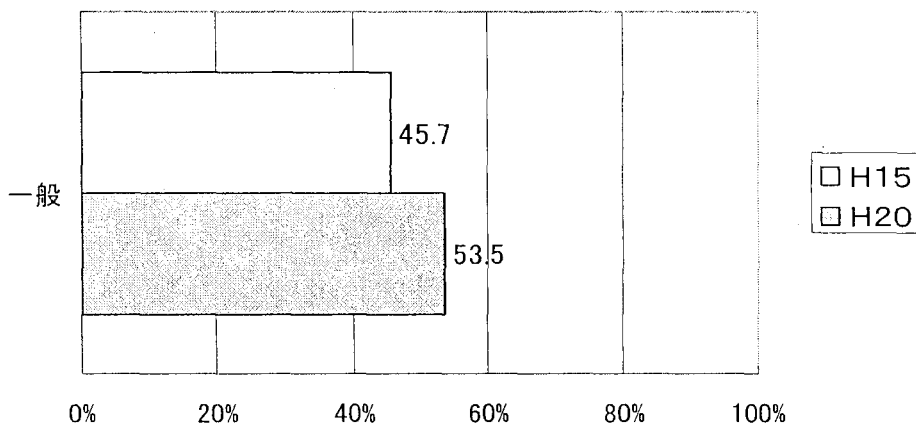
自宅で最期を迎えるのは経済負担が大きいから



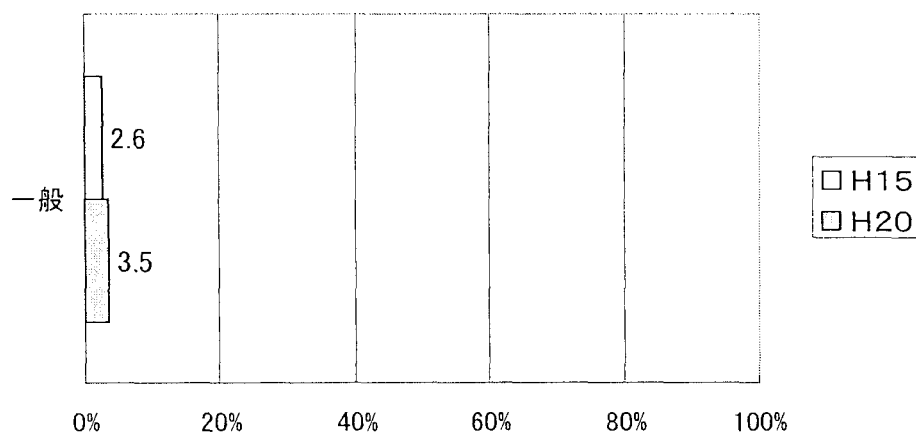
最期に痛み等に苦しむかもしれないから



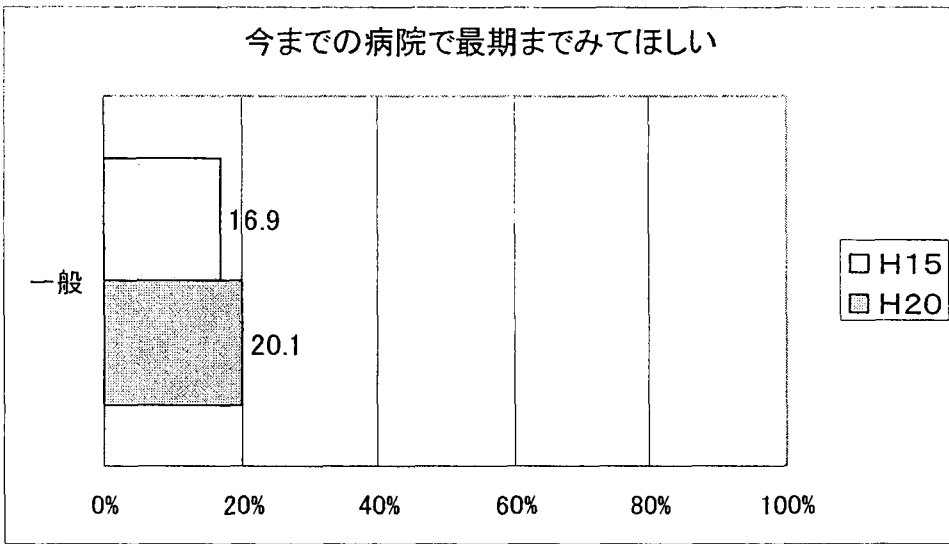
緊急時に迷惑をかけるかもしれないから



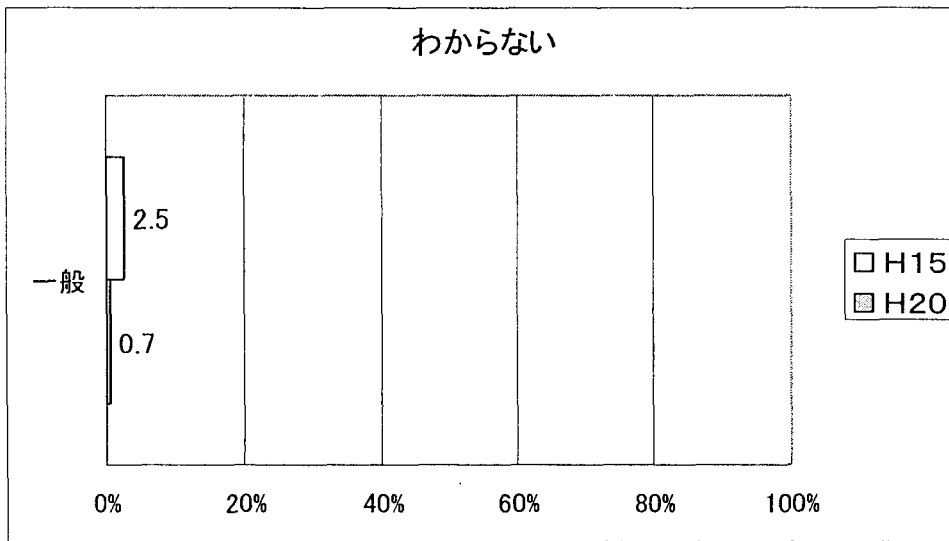
自宅療養について家族が希望しないから



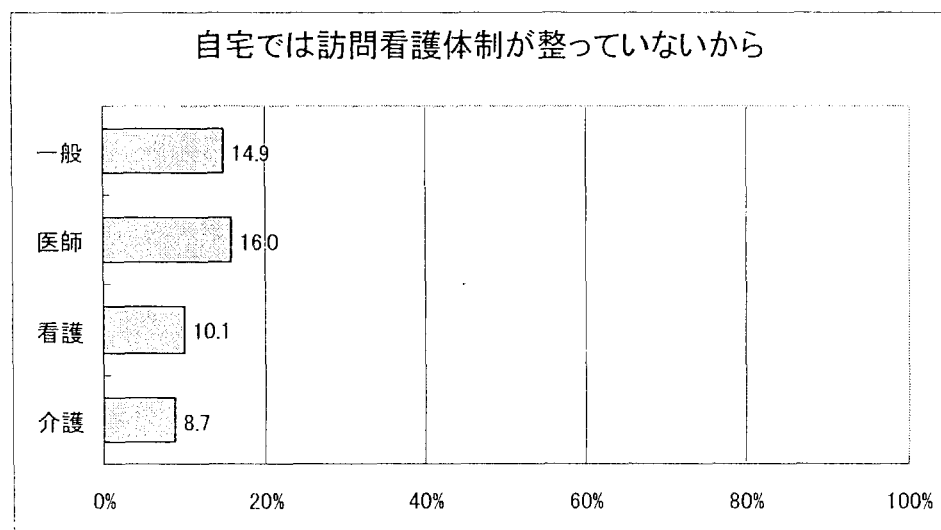
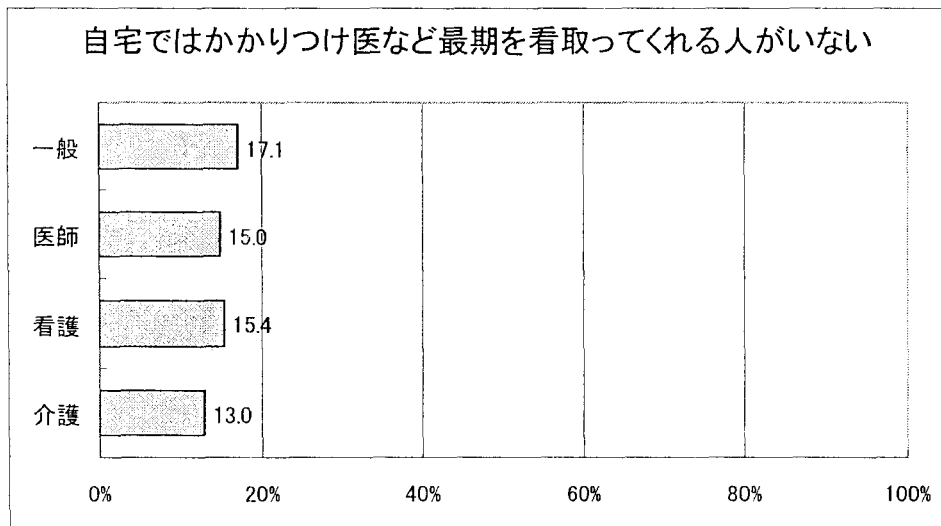
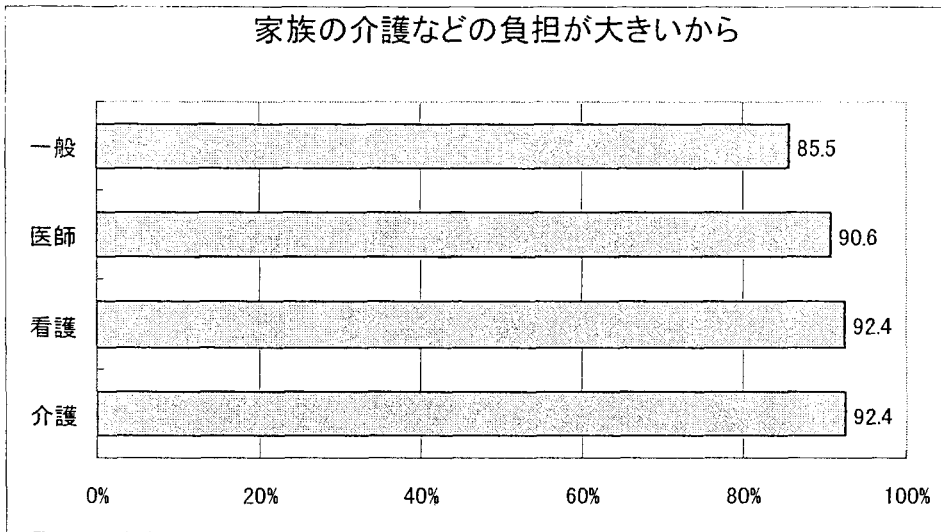
今までの病院で最期までみてほしい



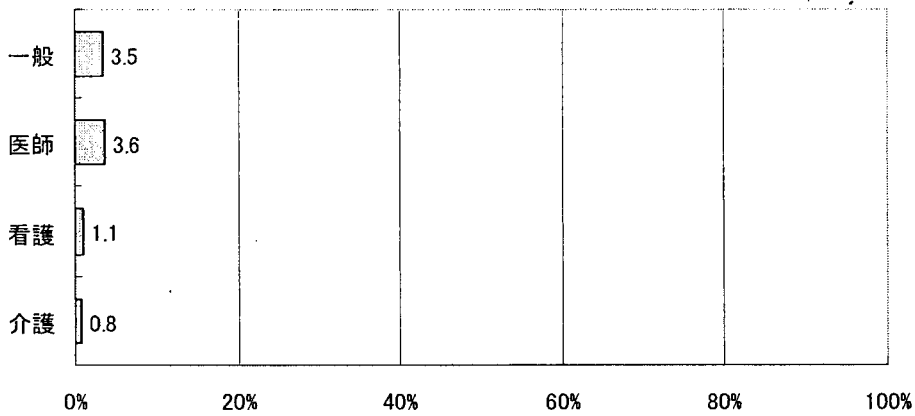
わからない



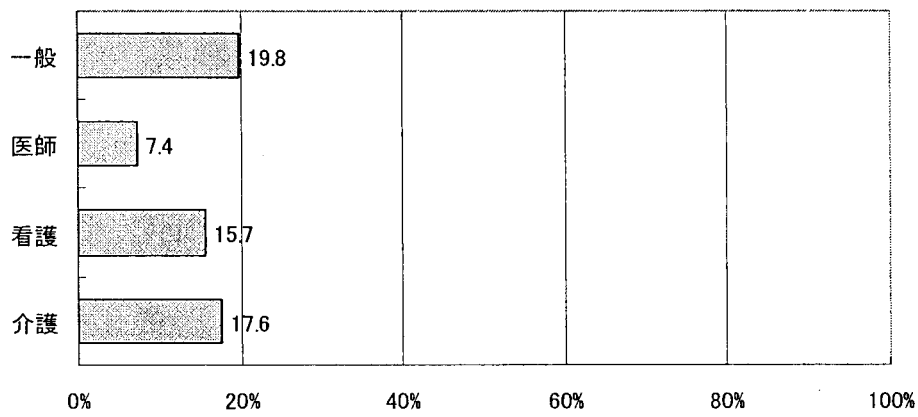
【(一般) 問 1 1 補問 2 (医療従事者) 問 1 6 補問 2】(「1 自宅」以外をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつでも)



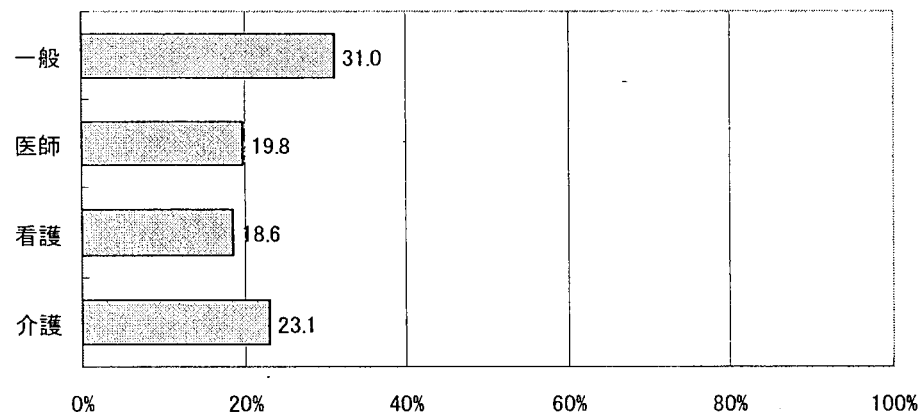
自宅で最後を迎えるのは一般的でないから



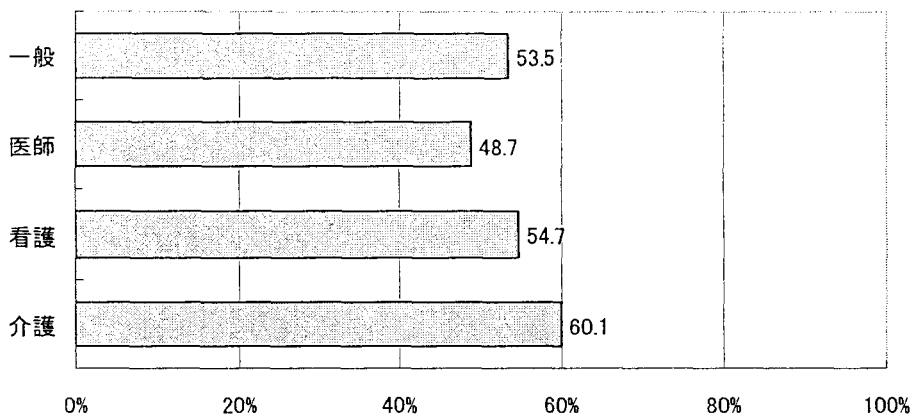
自宅で最後を迎えるのは経済的に負担が大きいから



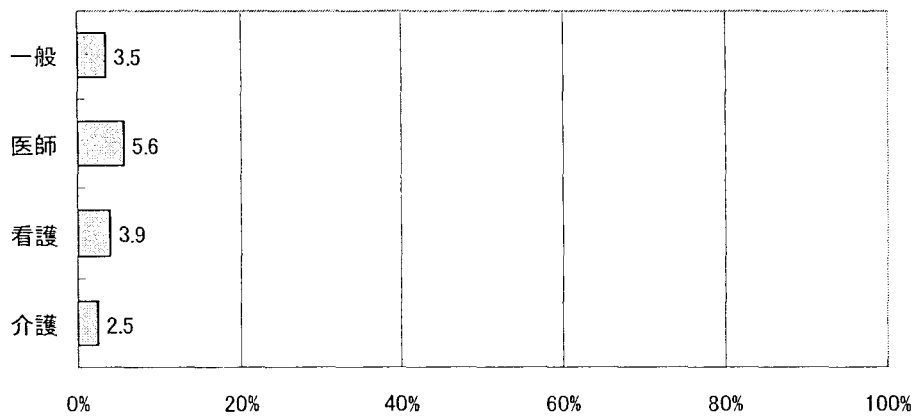
自宅では最期に痛み等に苦しむかもしれないから



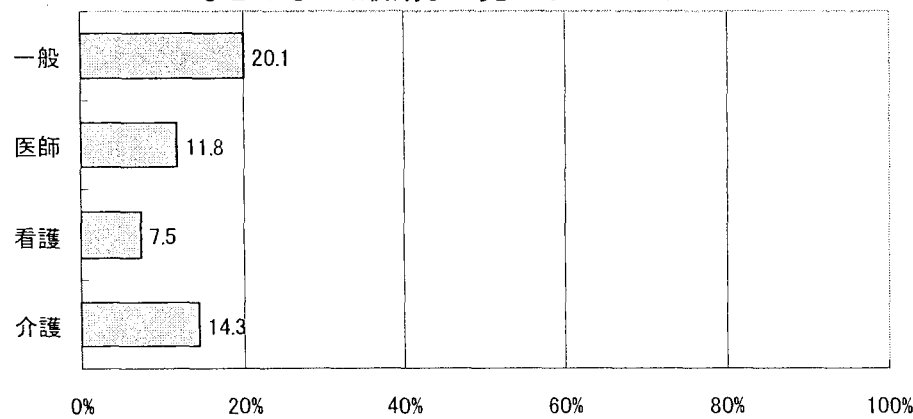
自宅では緊急時に家族に迷惑をかけるかもしれないから



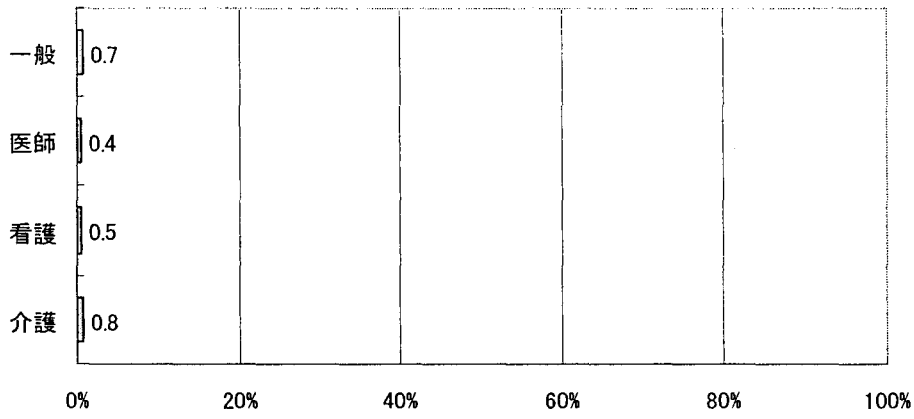
自宅での療養について、家族が希望しないから



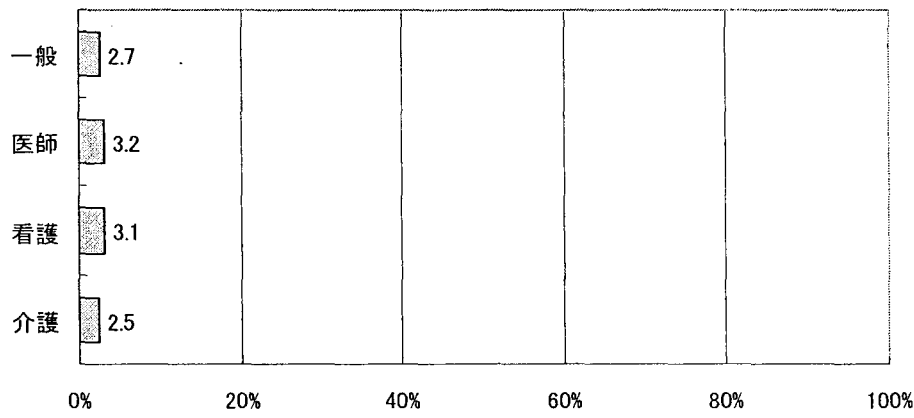
それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員
などのもとで最期まで見てほしいから



わからない

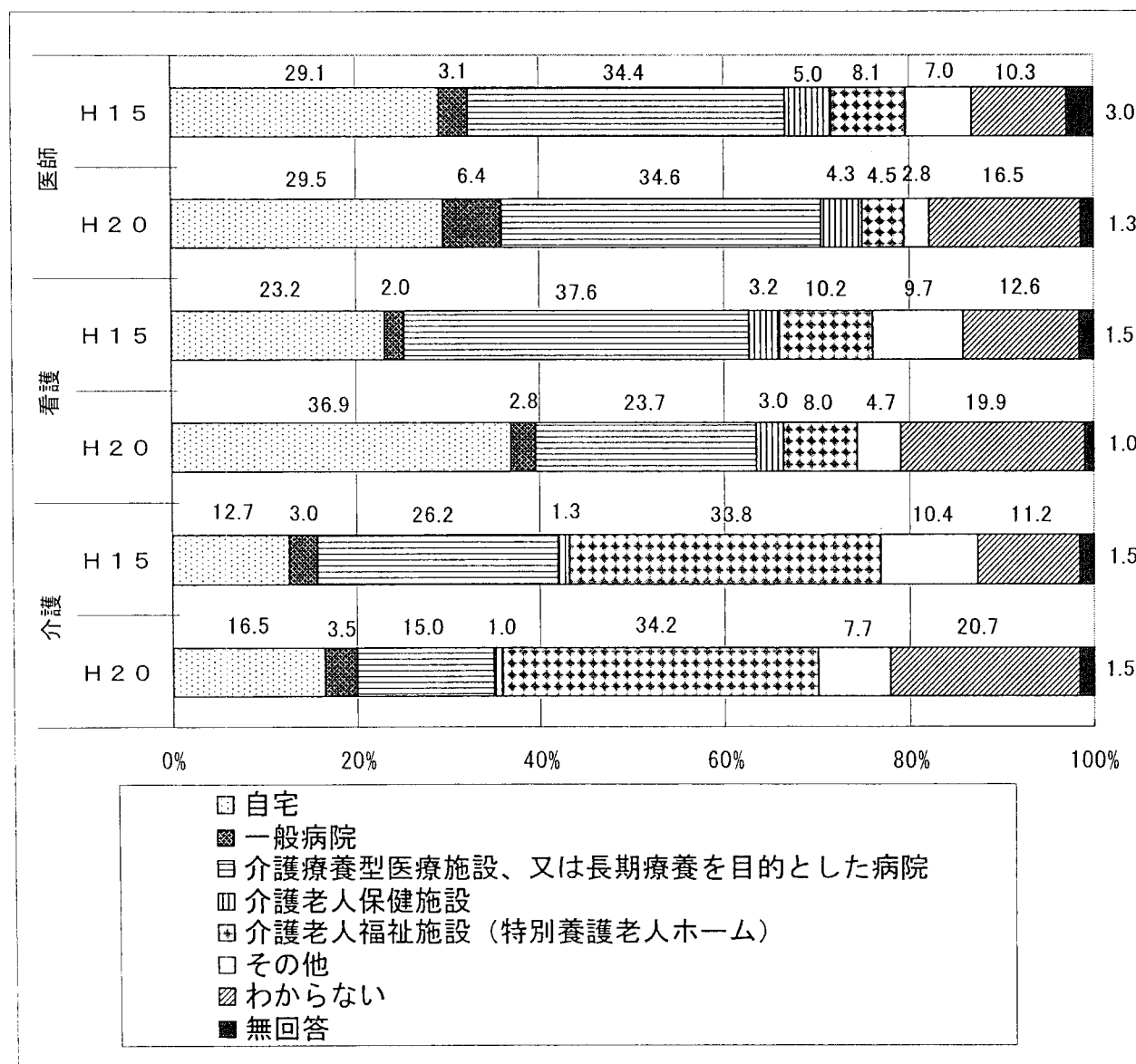
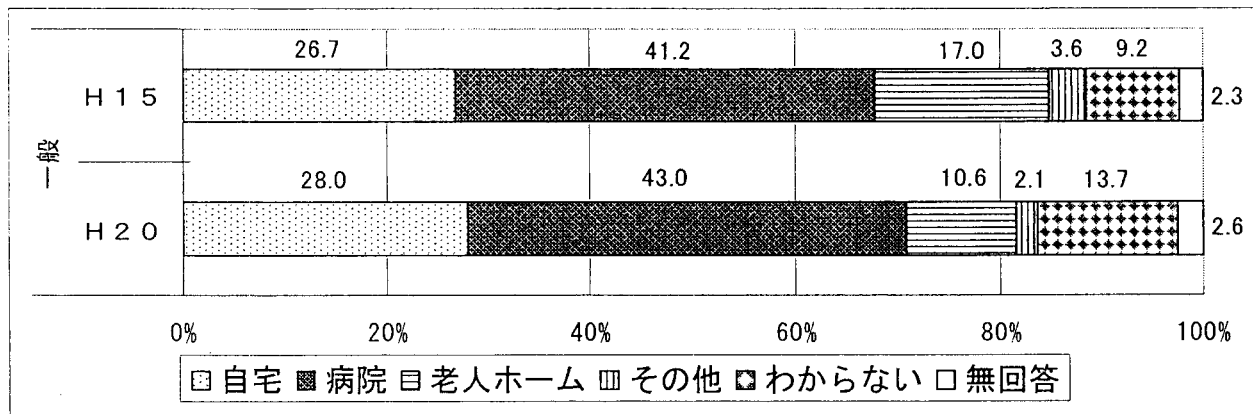


無回答

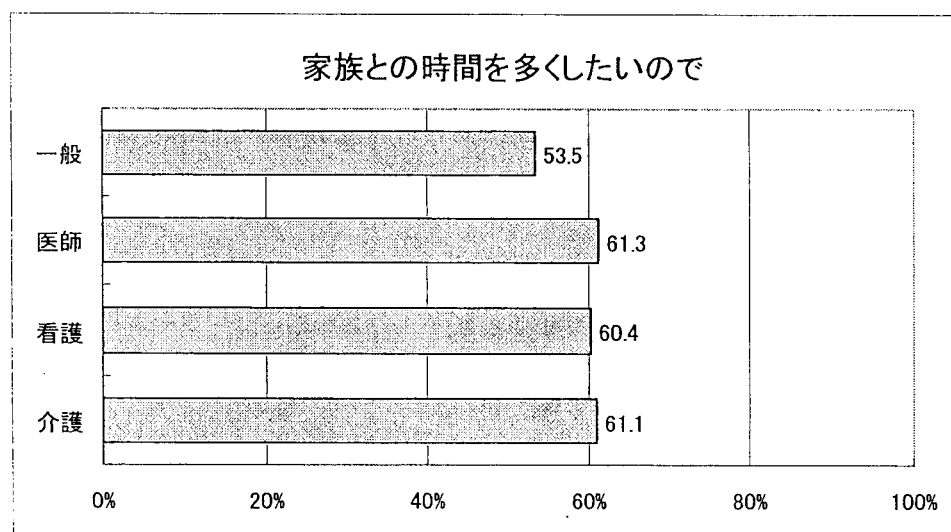
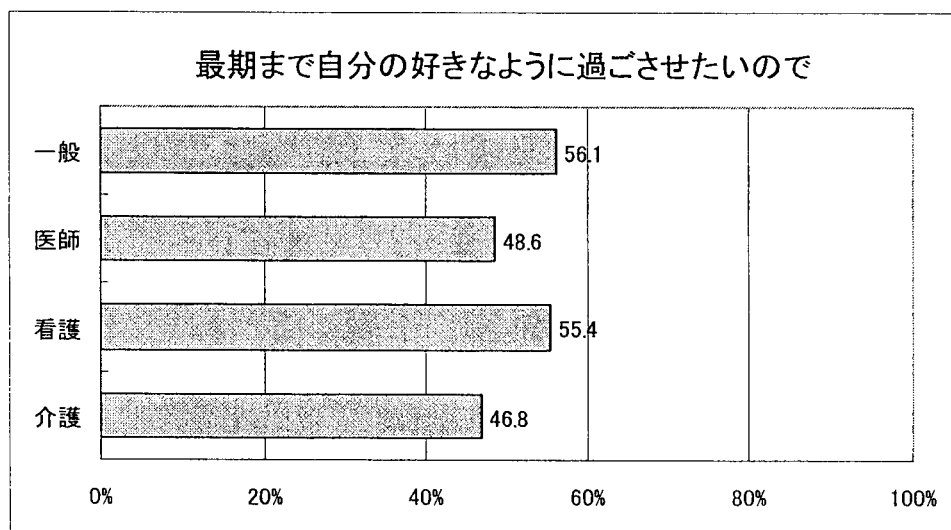
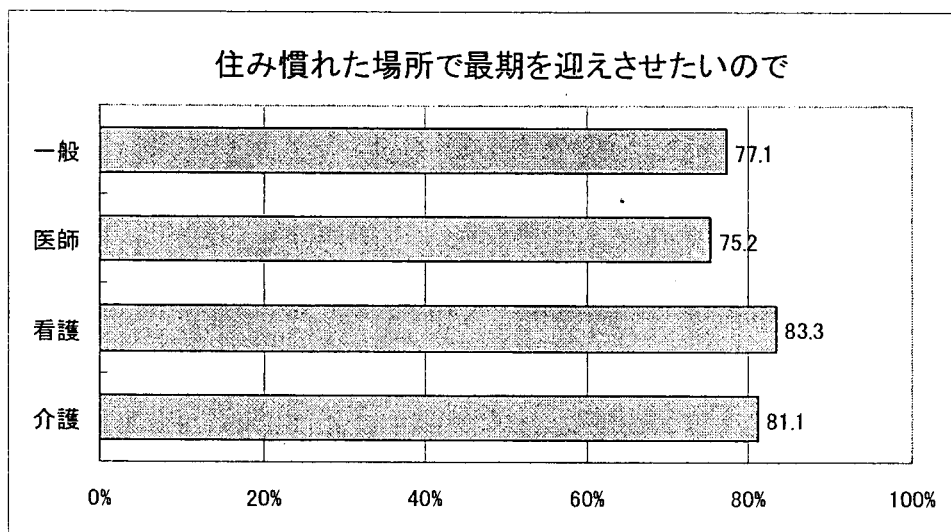


【(一般) 問13】あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(○は1つ)

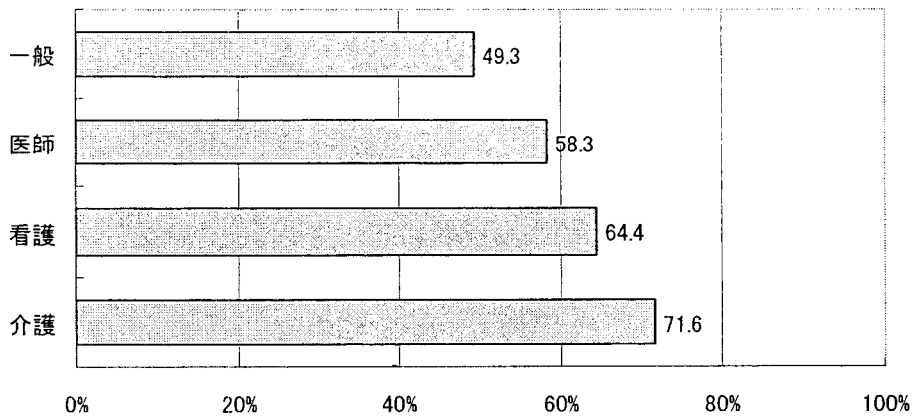
【(医療従事者) 問19】あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養させたいですか。(○は1つ)



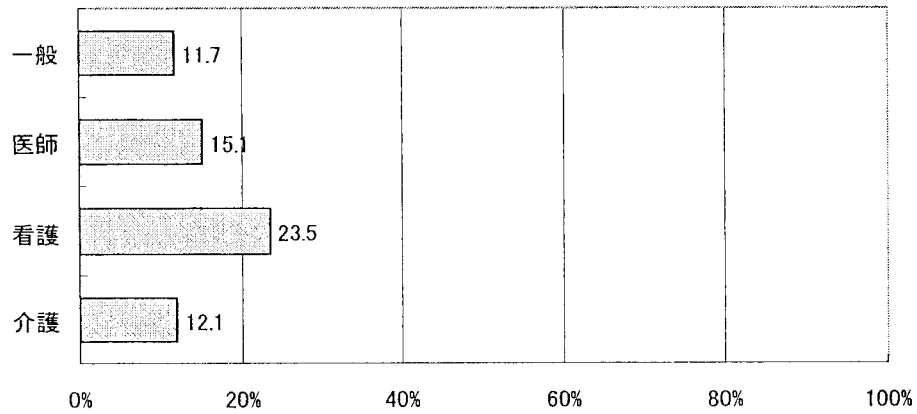
【(一般) 問13補問1 (医療従事者) 問19補問1】 (問13、19で「1自宅」をお選びの方へ)
 なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。(〇はいくつでも)



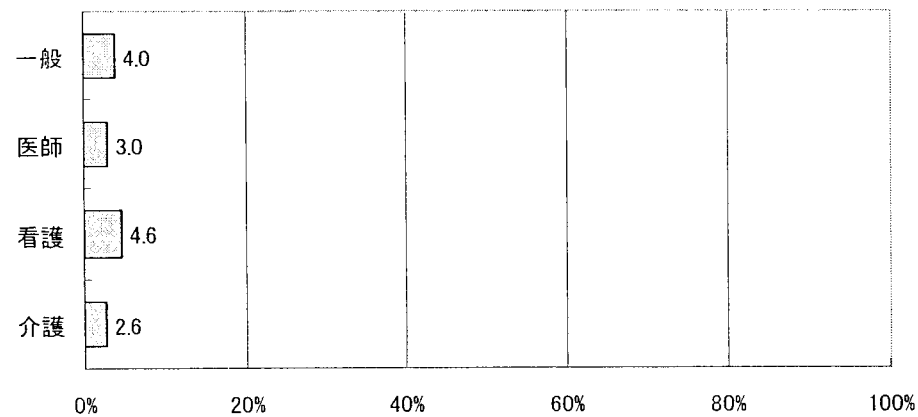
家族に看取られて最期を迎えさせたいので



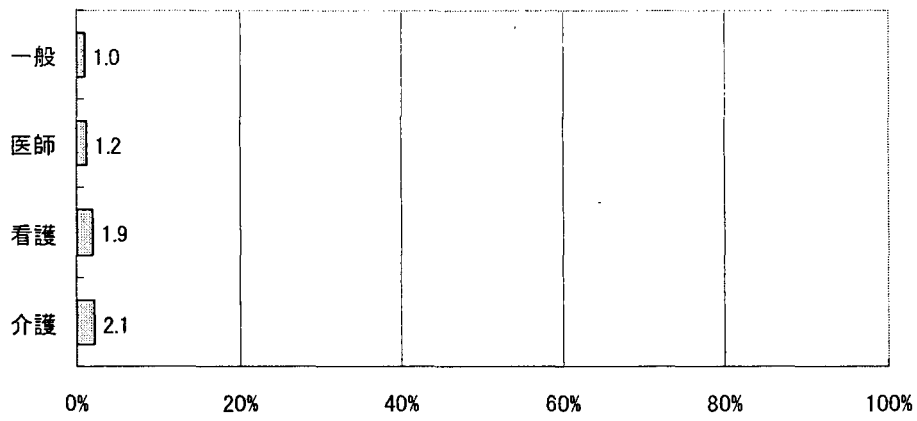
病院では本人の望むように最期を迎えられないので



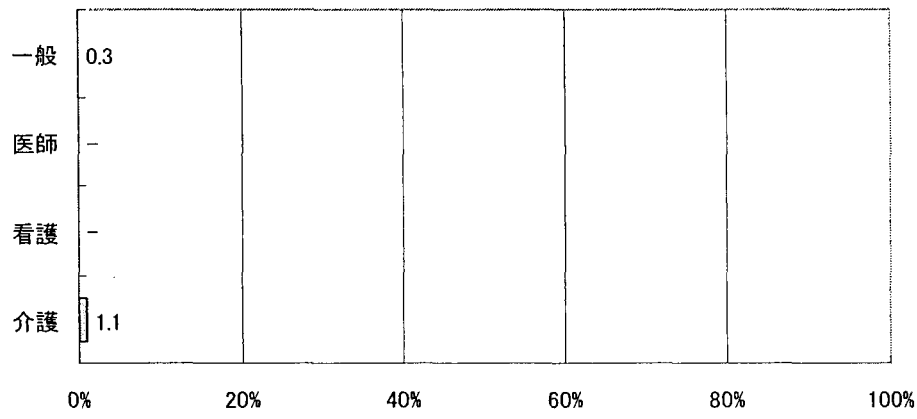
他の家族や知人が自宅で最期を迎えていたので



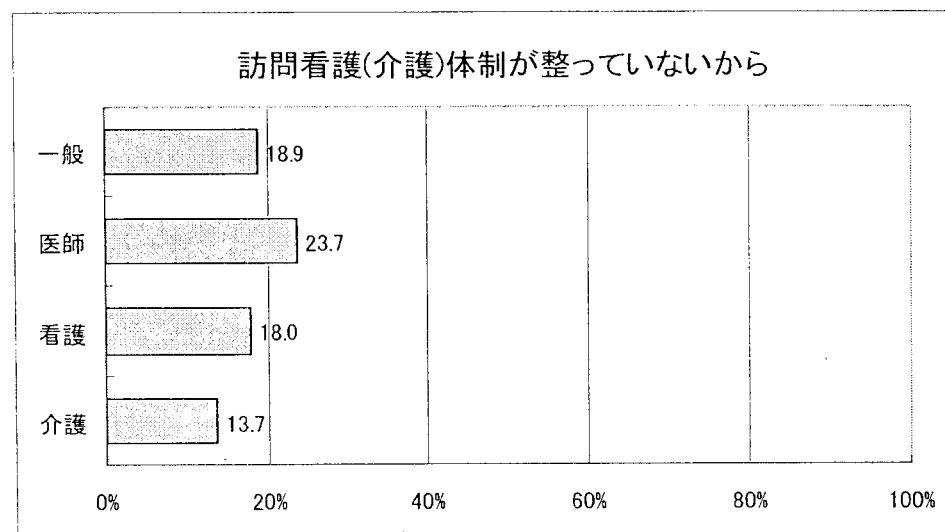
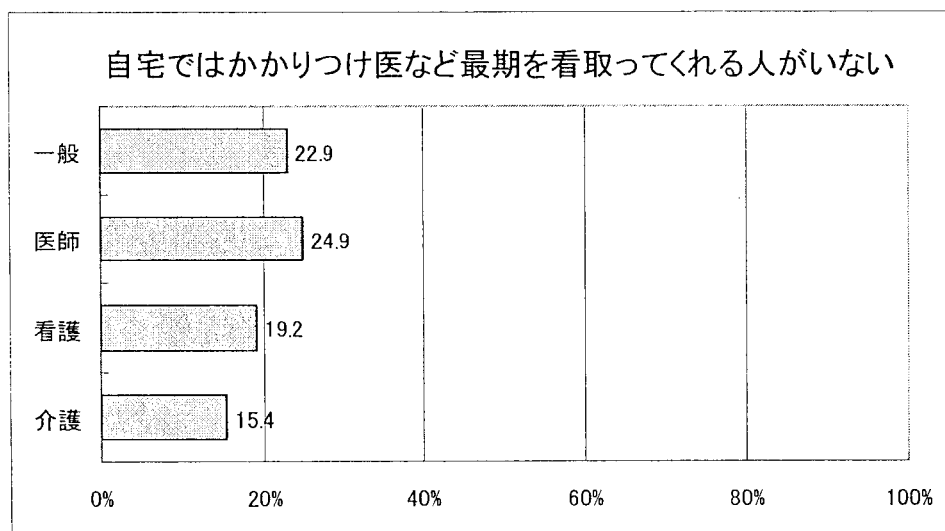
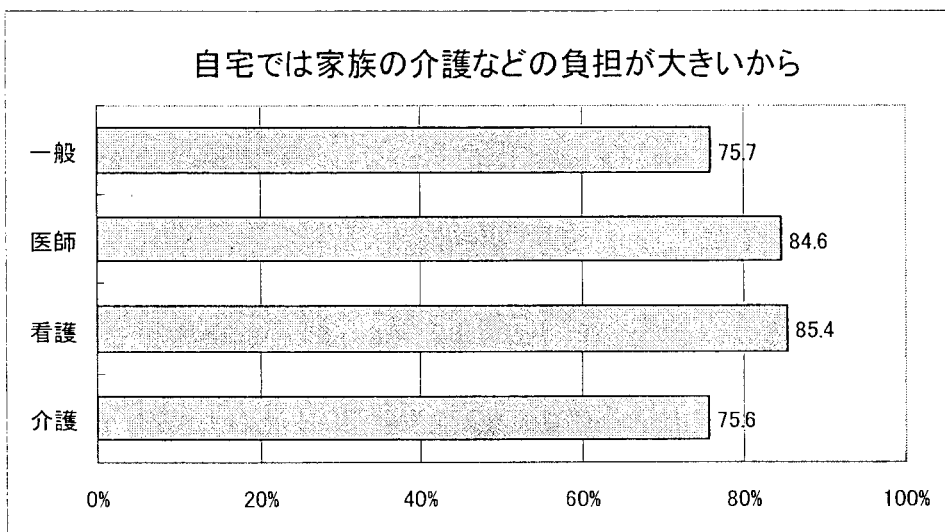
その他



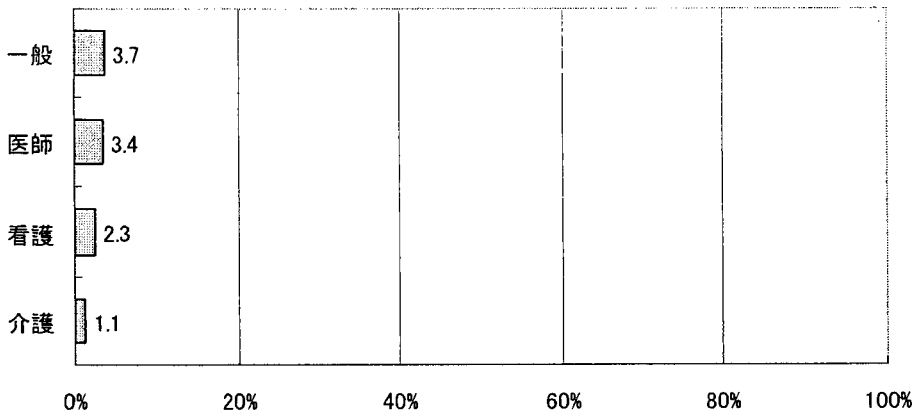
無回答



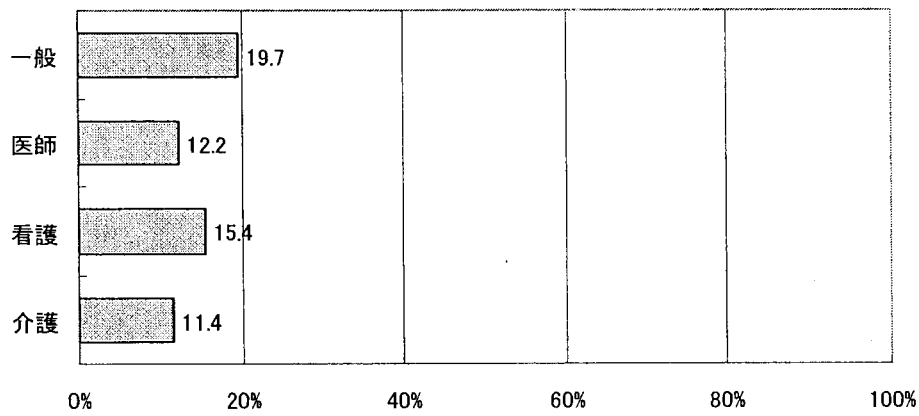
【(一般) 問13補問2 (医療従事者) 問19補問2】 (問13、19で「2一般病院 3介護療養型医療施設 4介護老人保健施設」をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)



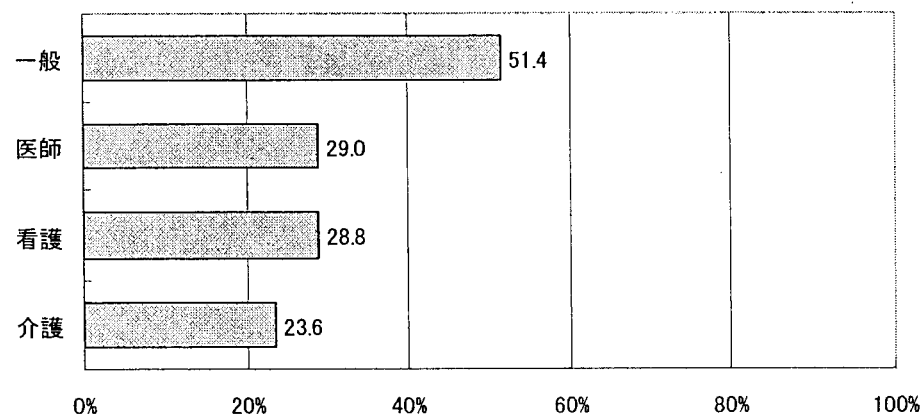
自宅で最期を迎えるのは、一般的でないため



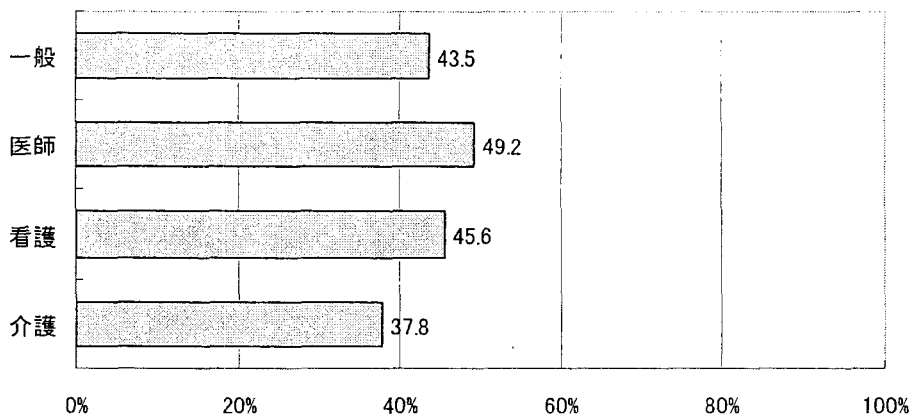
自宅で最期を迎えるのは、経済的に負担が大きいから



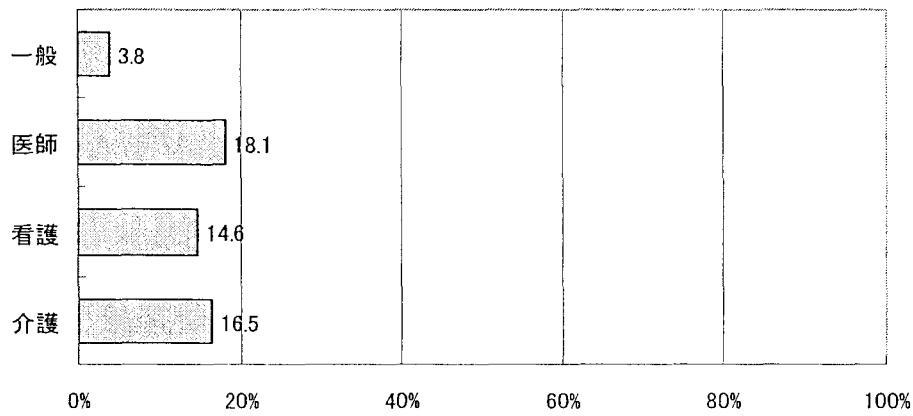
自宅では、最期に痛み等に苦しむかもしれないから



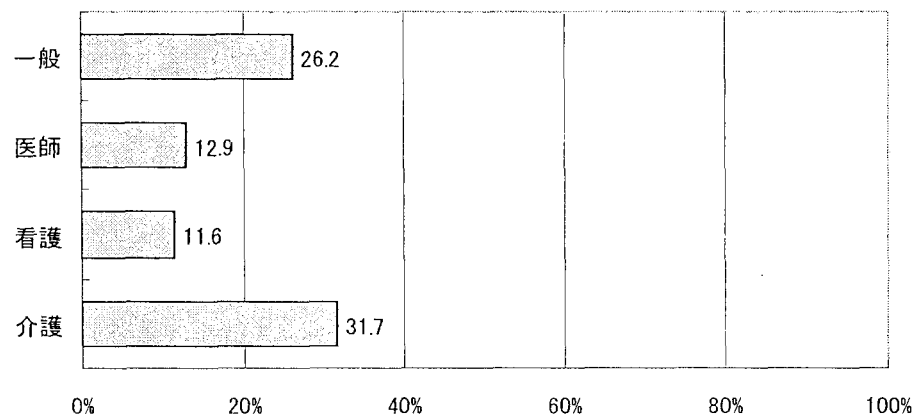
自宅では、緊急時に家族が大変になるかもしれないから



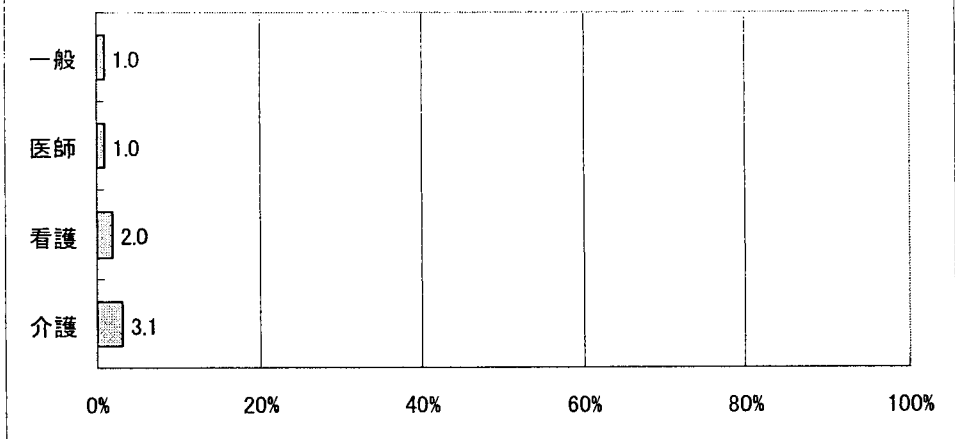
自宅での療養について、家族として希望しないから



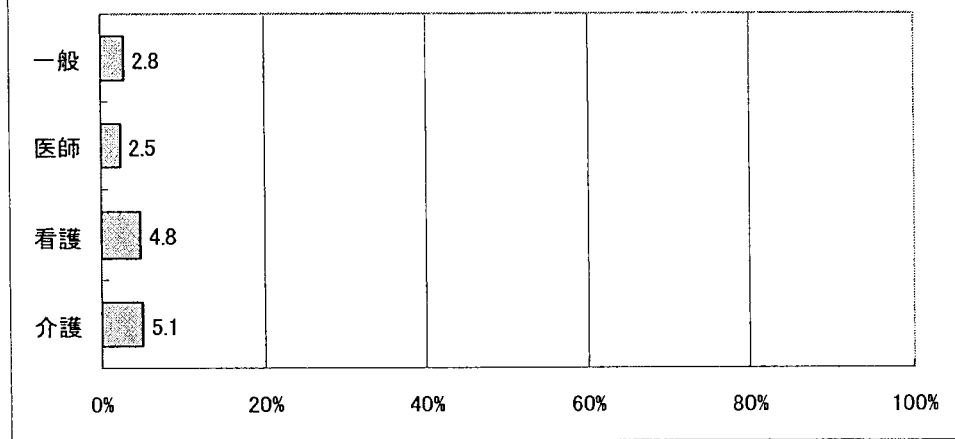
それまでかかっていた病院(施設)の医師、看護師、介護職員
などのもとで最期までみてほしいから



わからない



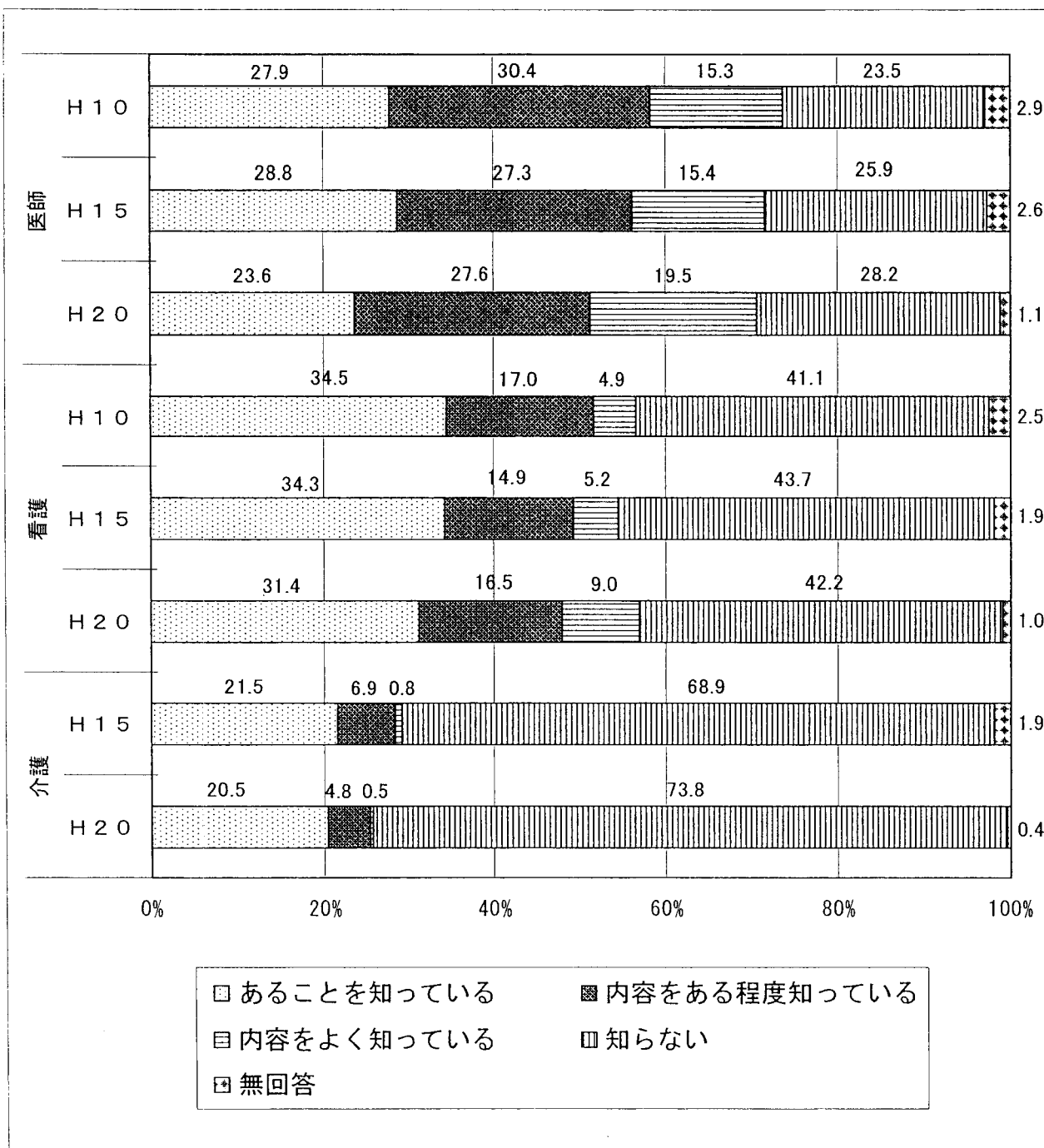
無回答



(10) がん疼痛治療法とその説明

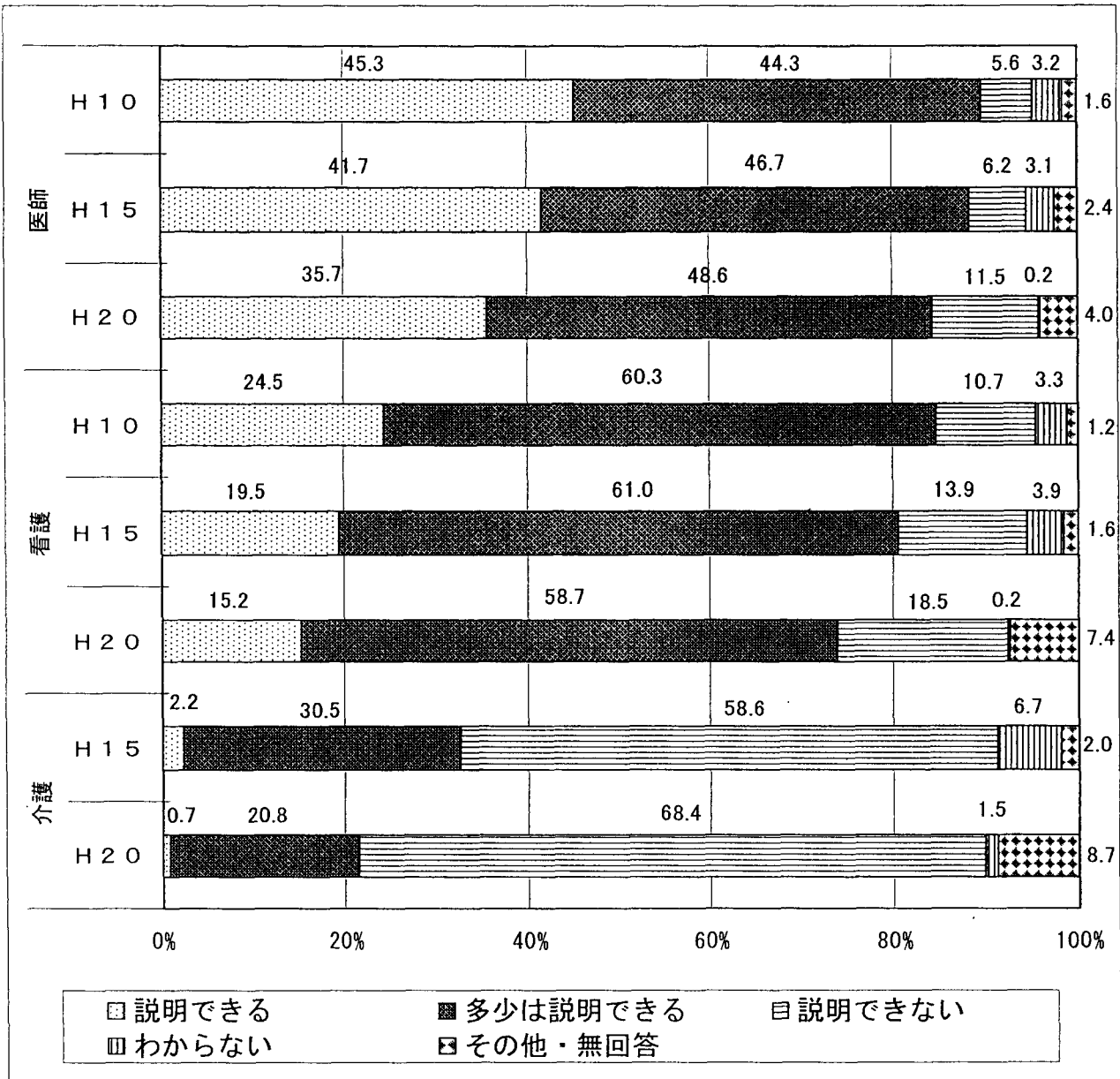
【(医療従事者) 問11-1】

あなたは世界保健機関 (WHO) が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。(○は1つ)



【(医療従事者) 問11-2】

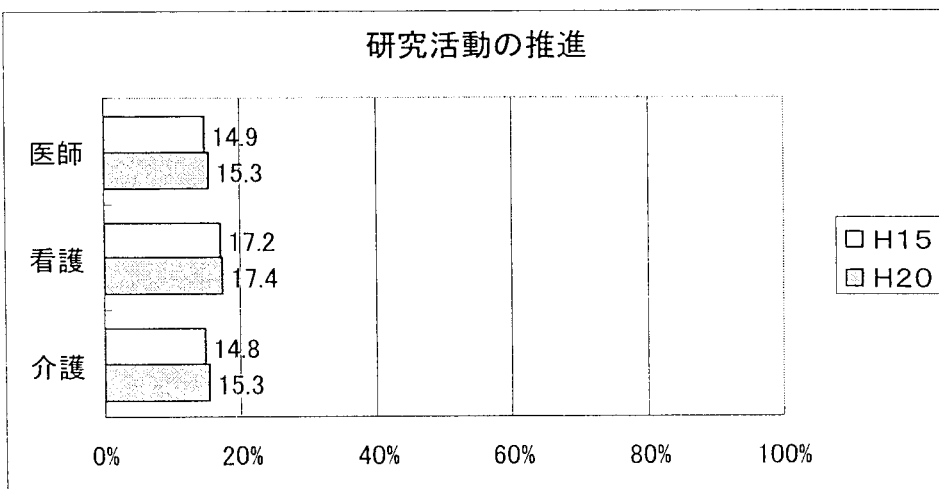
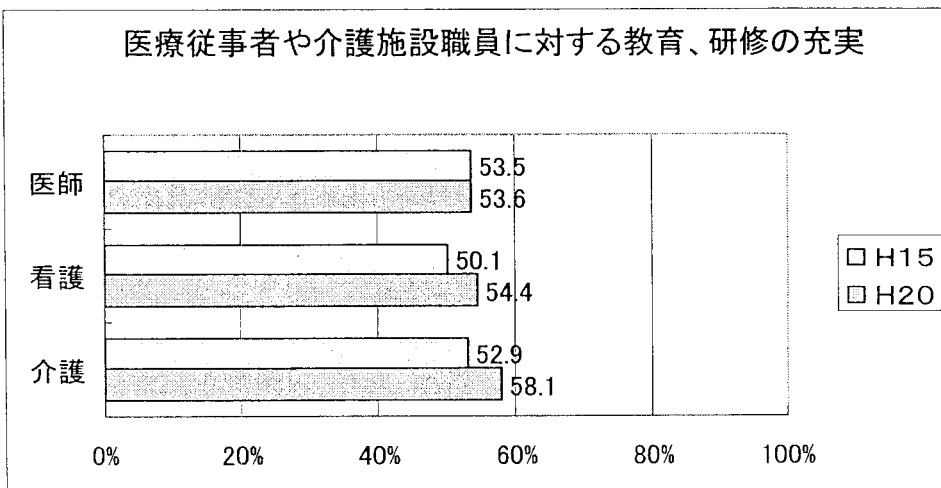
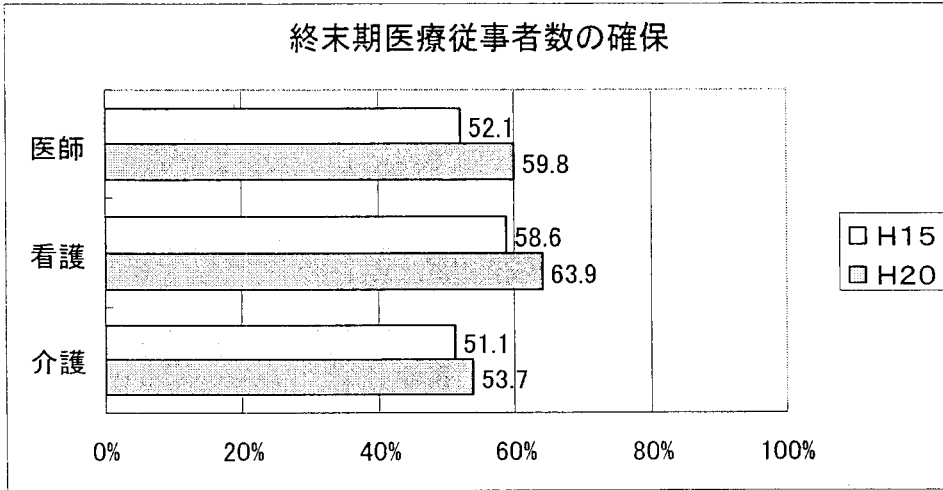
あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者（入所者）にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。(〇は1つ)



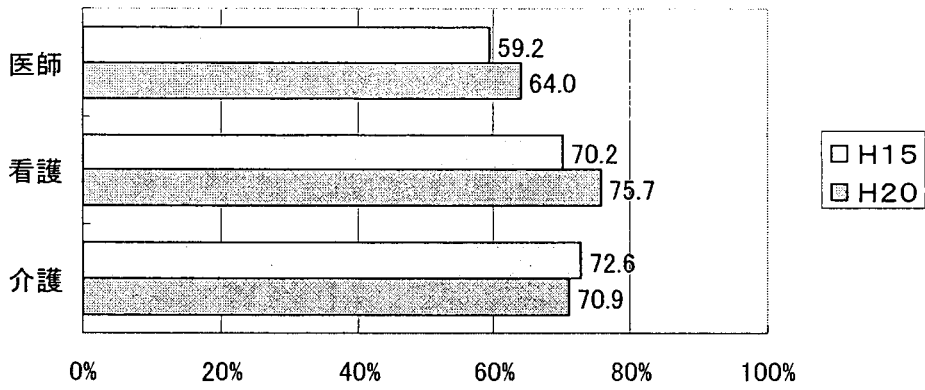
(11) 終末期医療体制の充実

【(医療従事者) 問27】

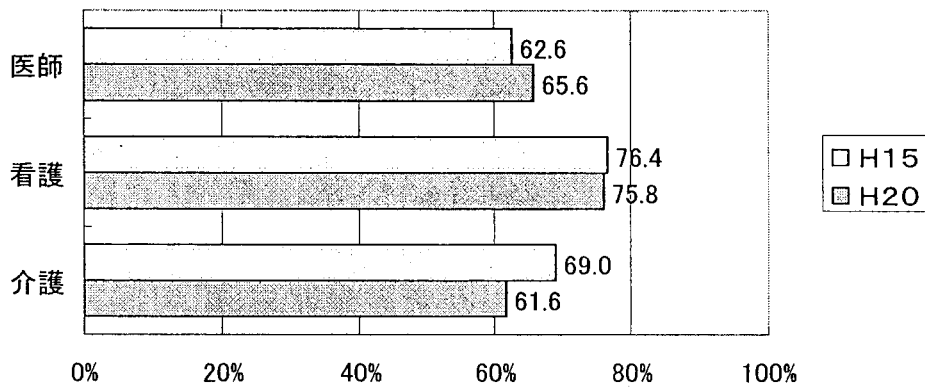
あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)



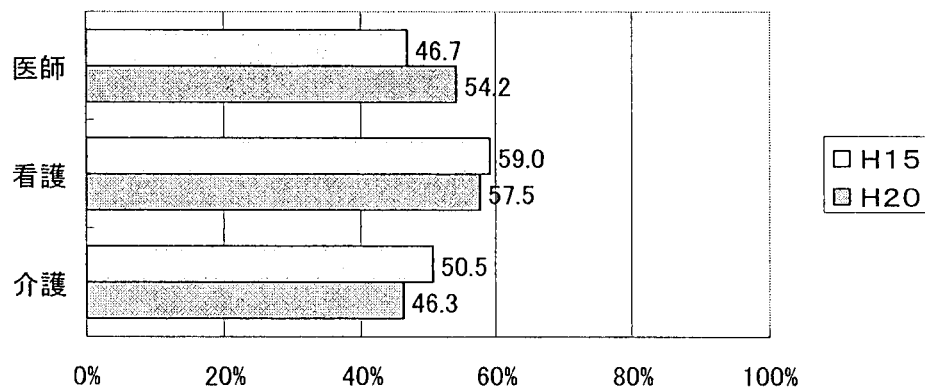
患者・入所者、家族への相談体制の充実



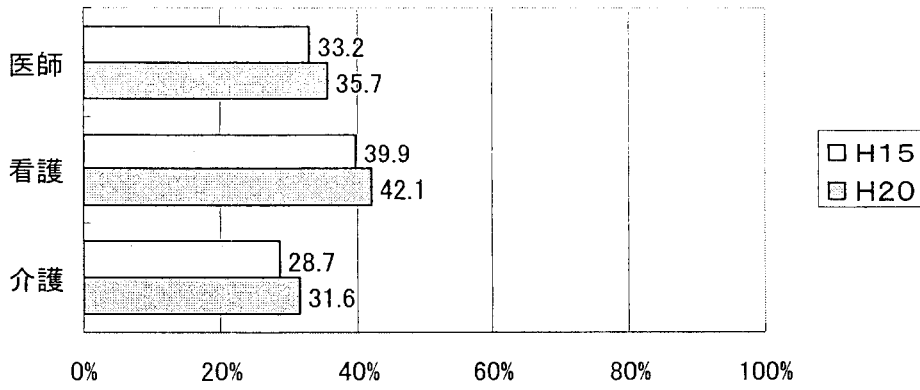
在宅終末期医療が行える体制づくり



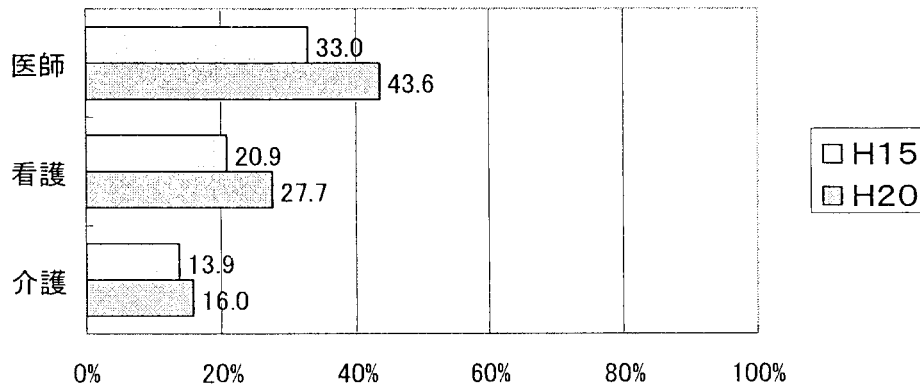
緩和ケア病棟の設置と拡充



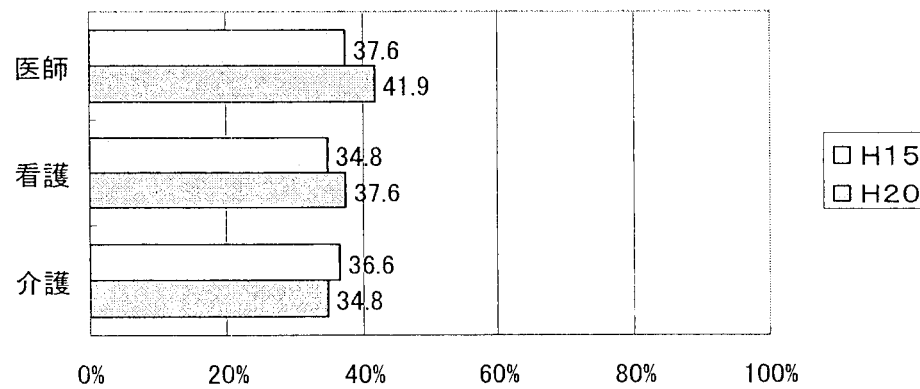
一般病棟での終末期医療が行えるの体制づくり



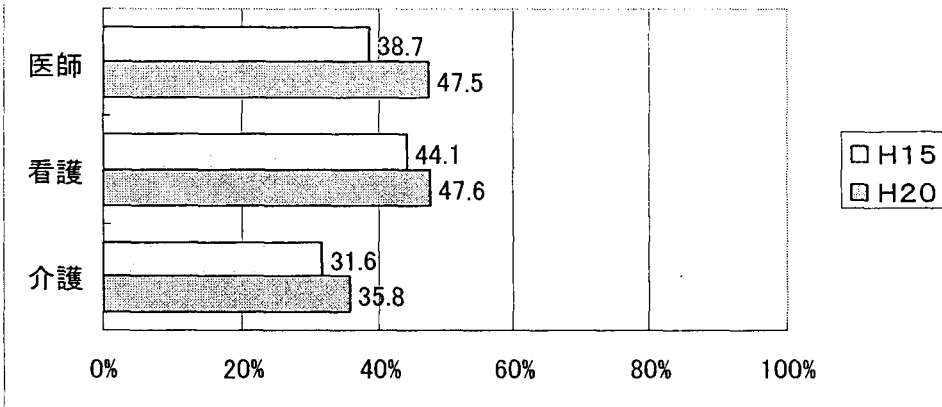
一般市民に対する教育活動



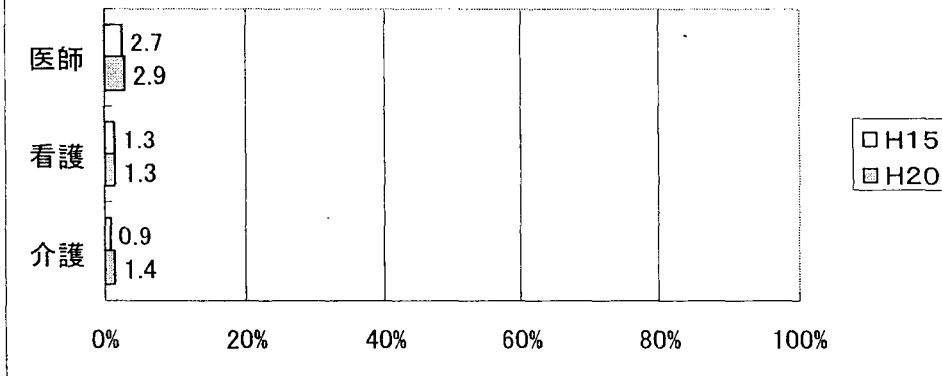
意思表示の事前文書などの法的整備



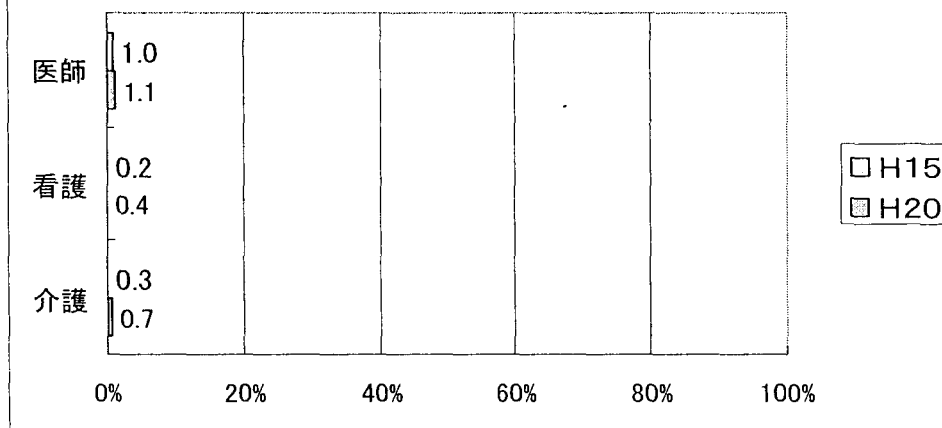
終末期医療への経済的評価



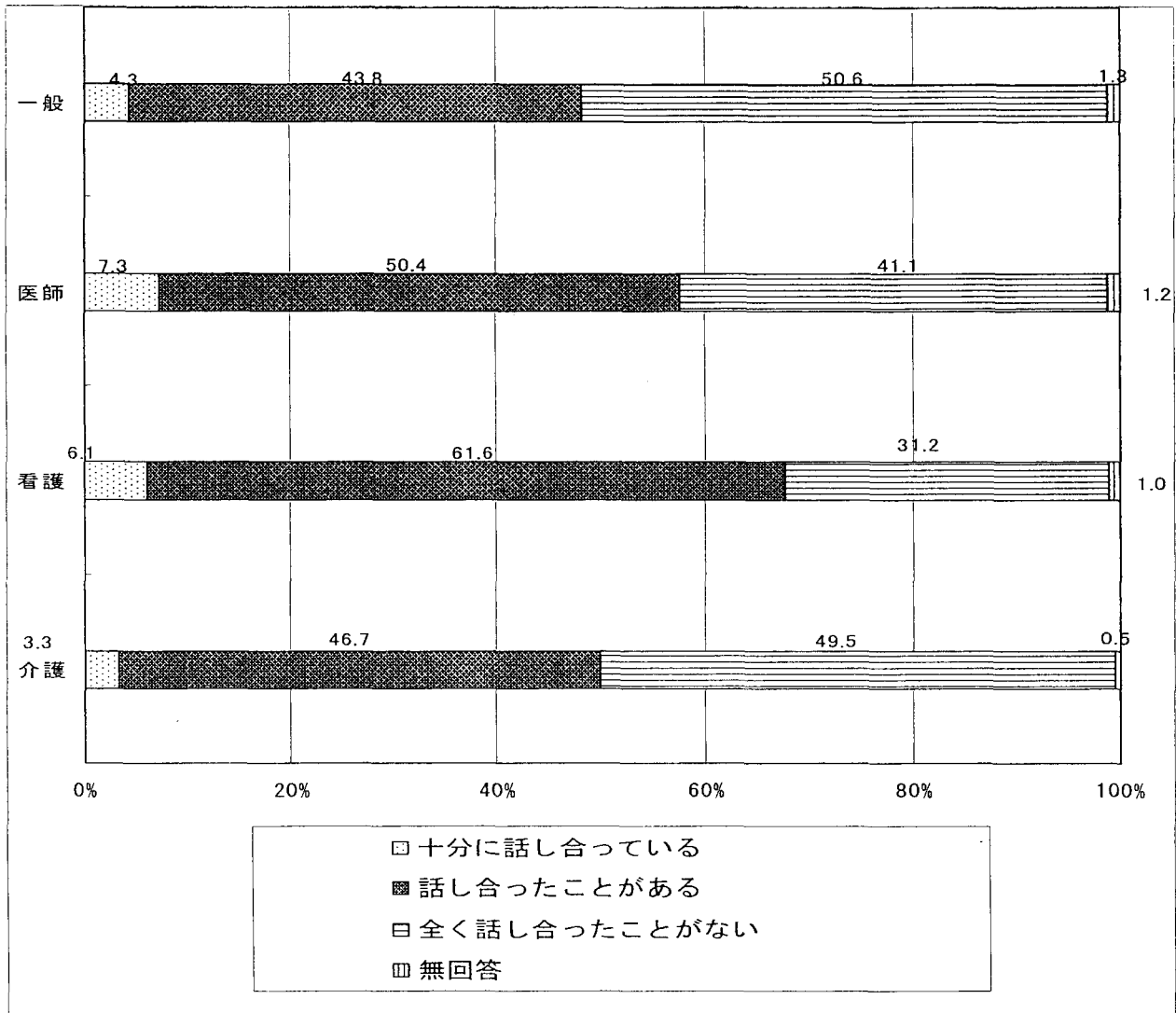
その他



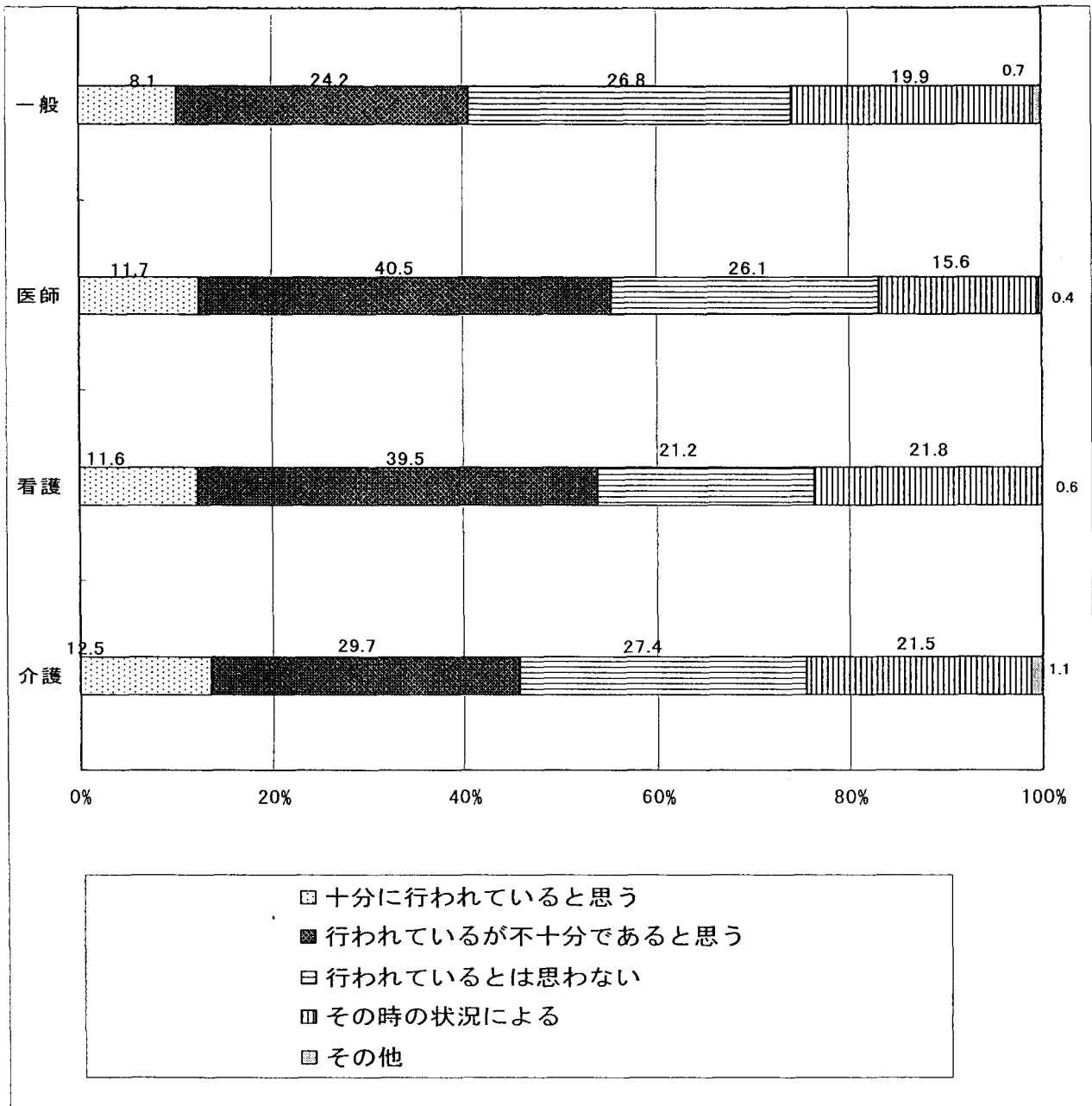
特になし



【(一般)問15 (医療従事者)問21】 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

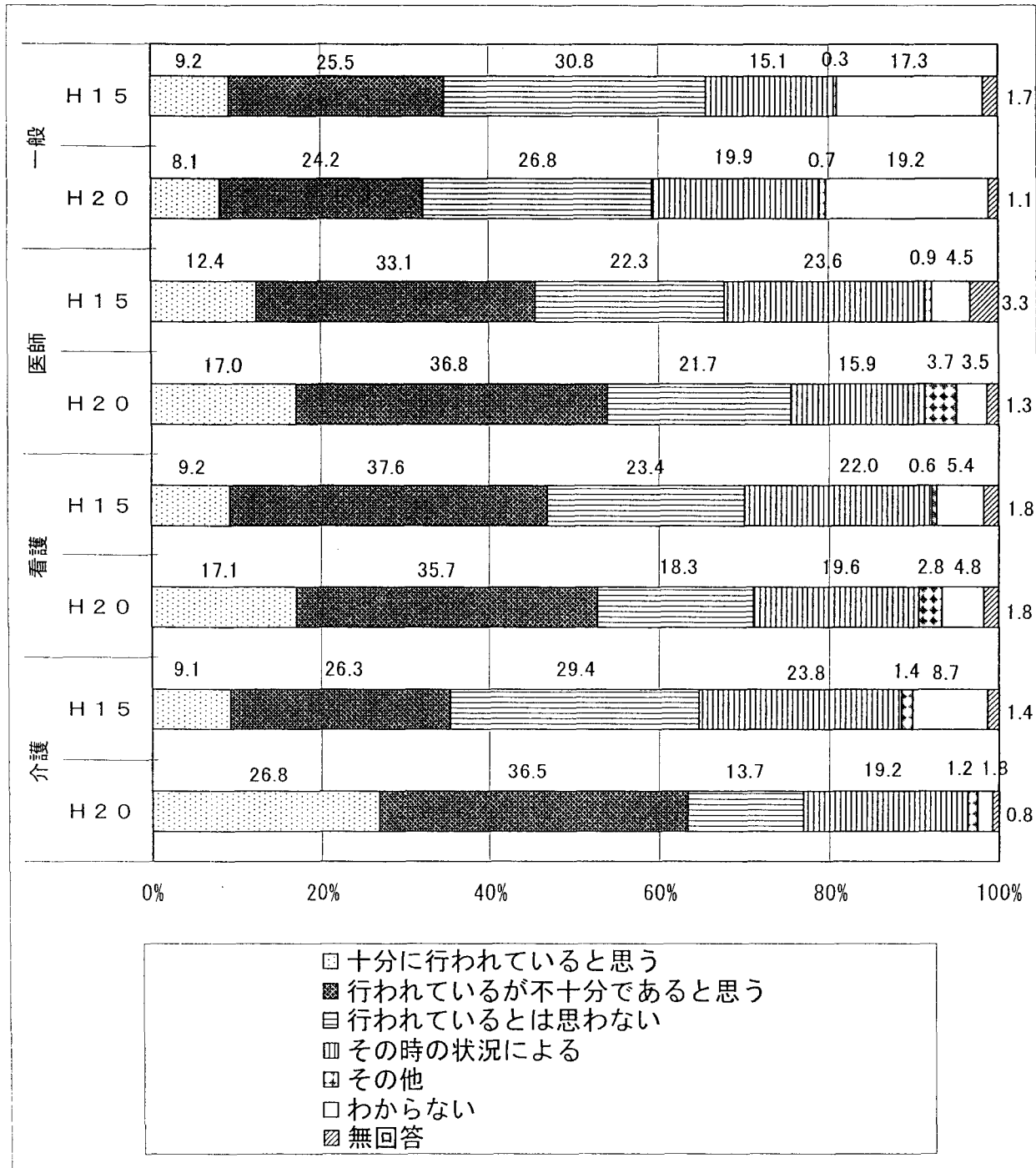


【(一般)問16、(医療従事者)問22】延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(〇は1つ)

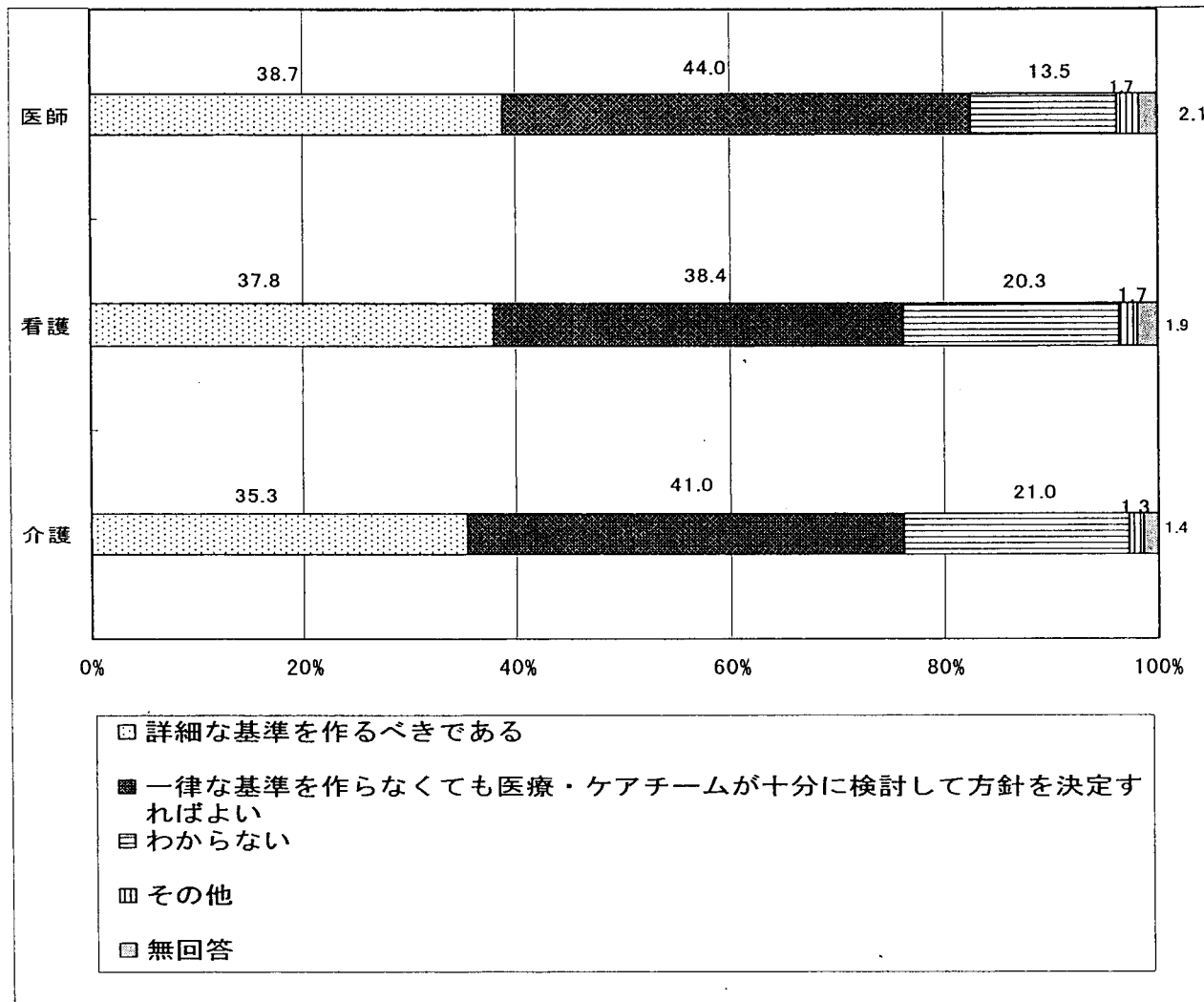


【(一般) 問16】 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(〇は1つ)

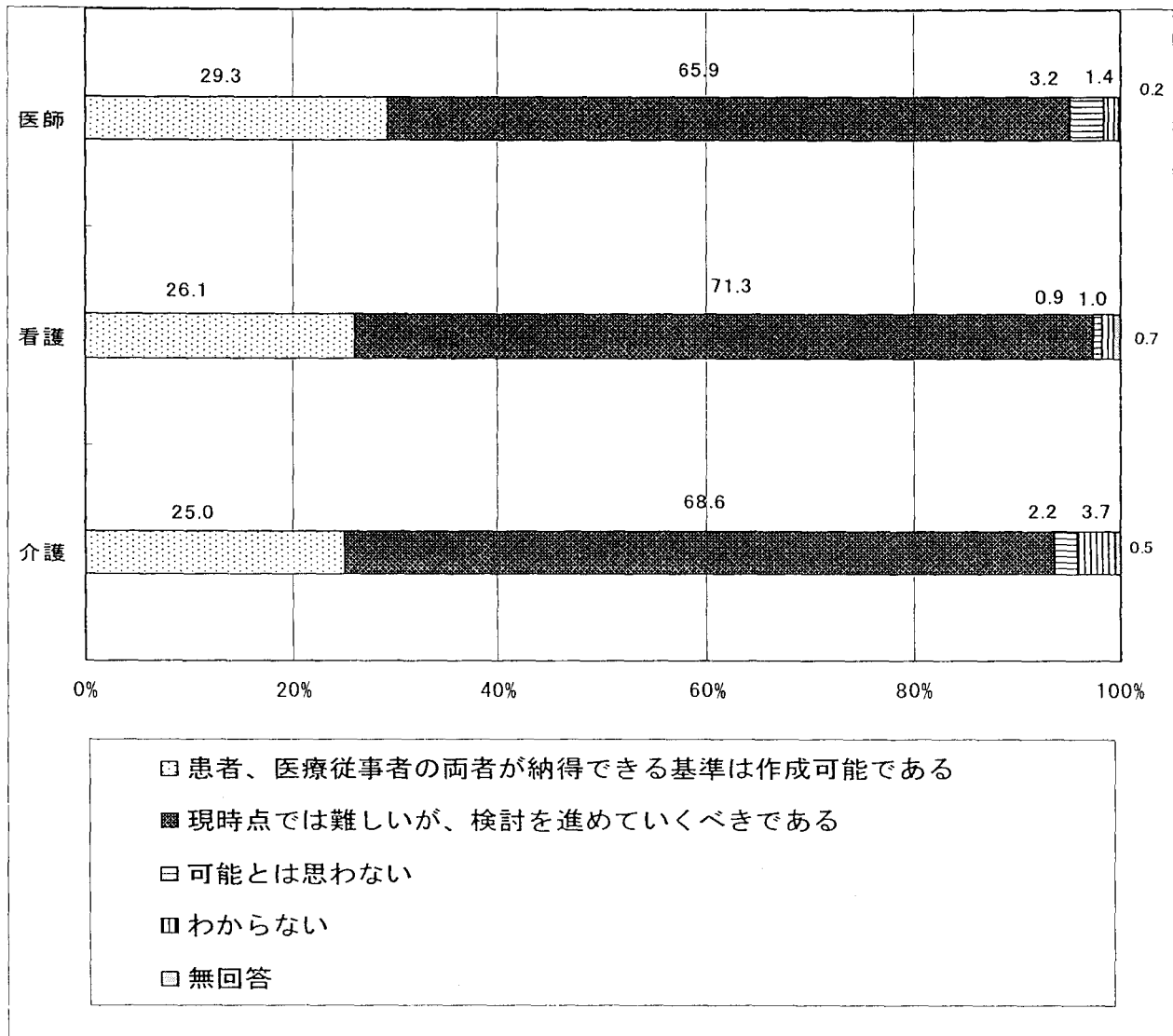
【(医療従事者) 問23】 あなたの施設では、終末期医療における治療方針について、医師や看護・介護職員等の職員間で十分な話し合いが行われていると思えますか。



【(医療従事者) 問25】あなたは終末期状態の定義や延命治療の不開始、中止等に関する一律な判断基準についてどう考えますか。

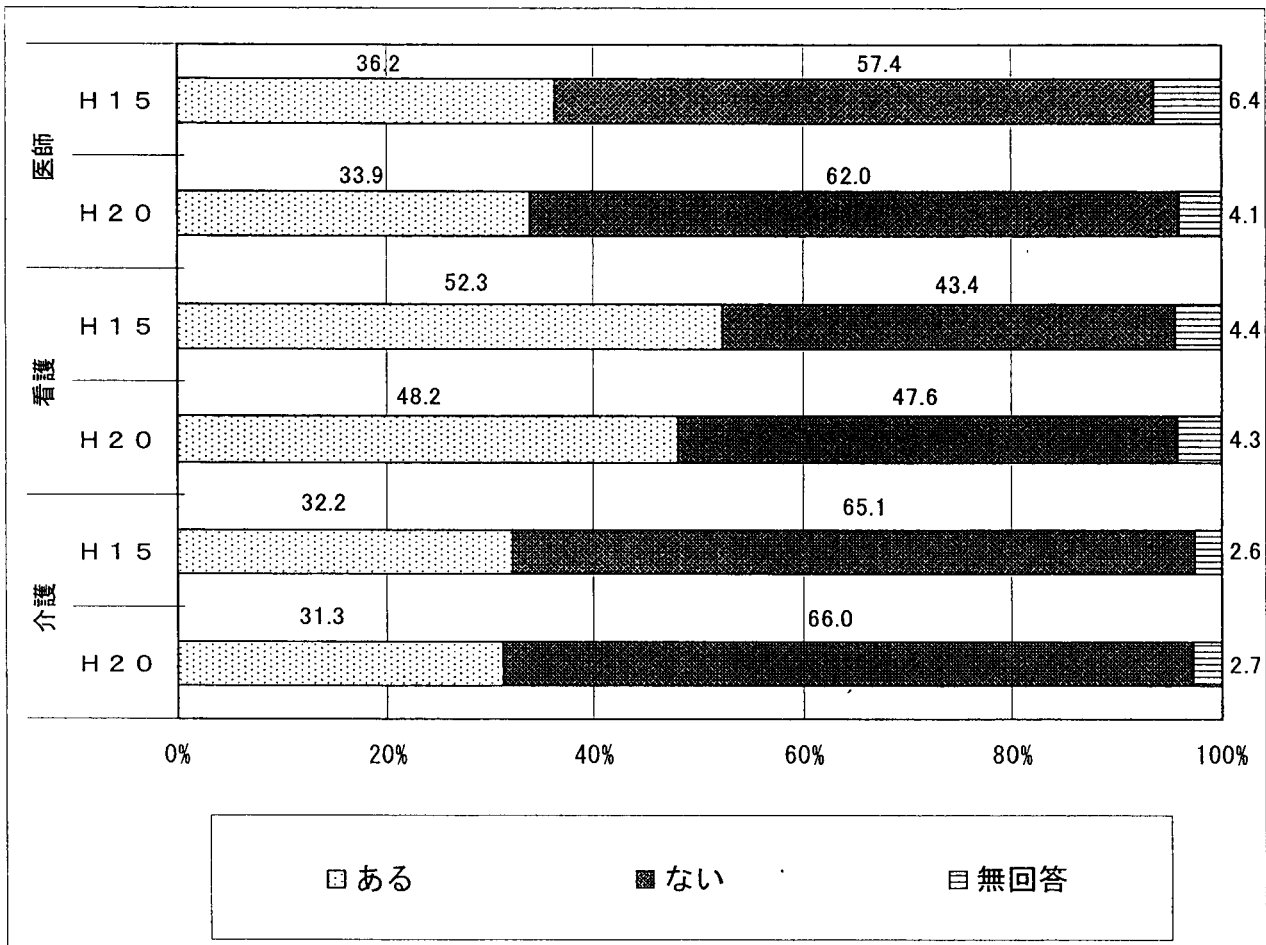


【(医療従事者) 問25補問】 (問25で「1 詳細な基準を作るべきである」をお選びの方に) 現時点で、そのような基準は作成可能だと思いますか



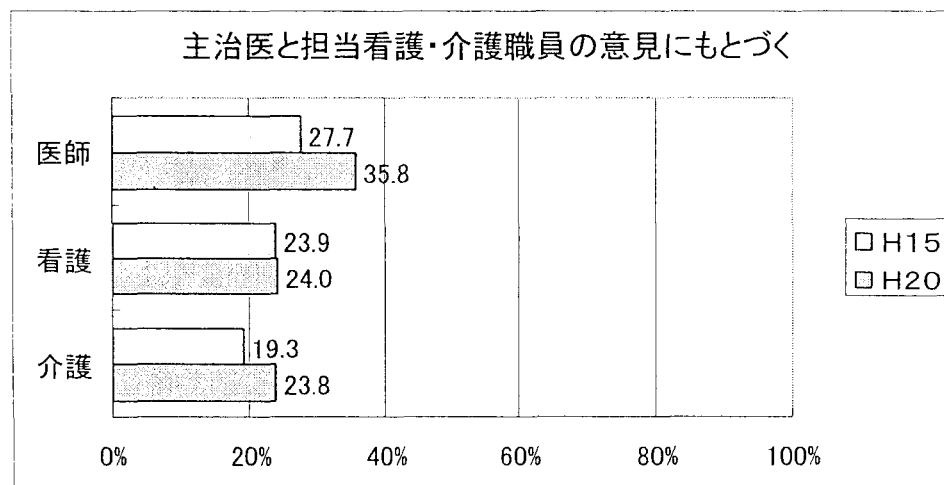
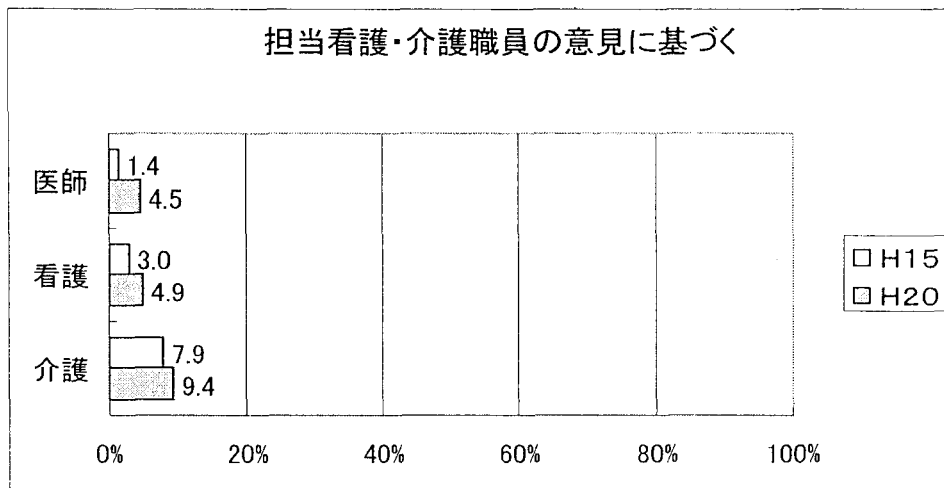
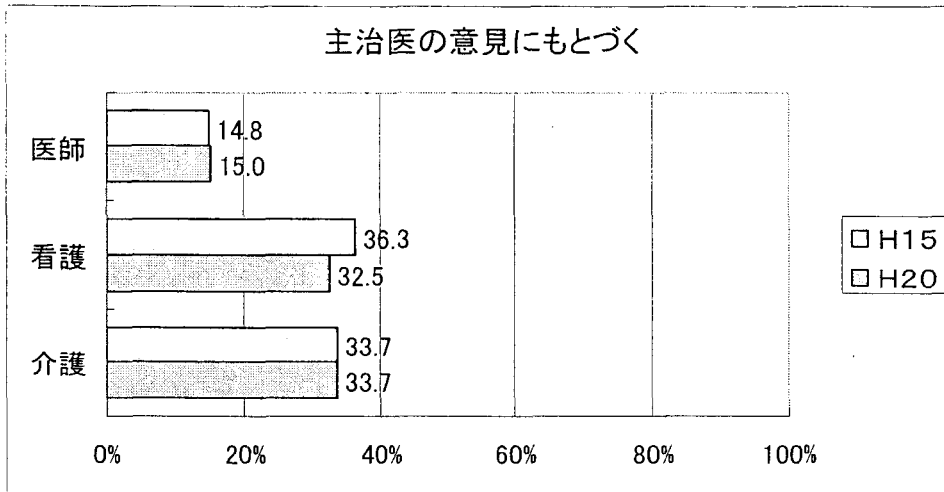
【(医療従事者) 問24】

終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員等の方に意見の相違がおこったことがありますか。(〇は1つ)

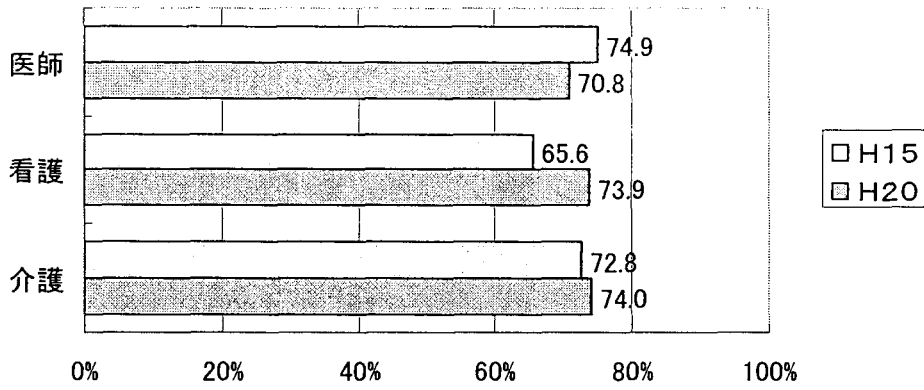


【(医療従事者) 問2 4 補問】

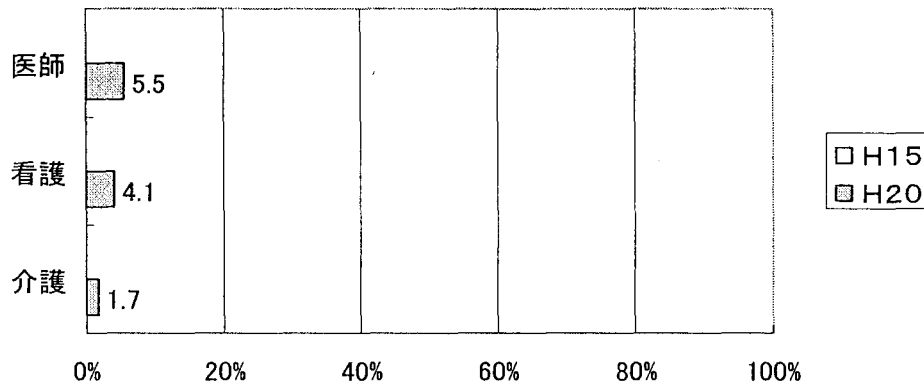
(「1ある」をお選びの方に) その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。(〇はいくつでも)



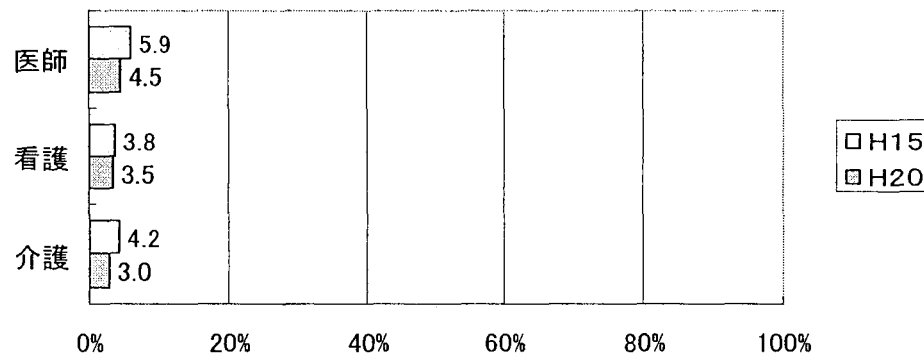
本人または家族との意見に基づく



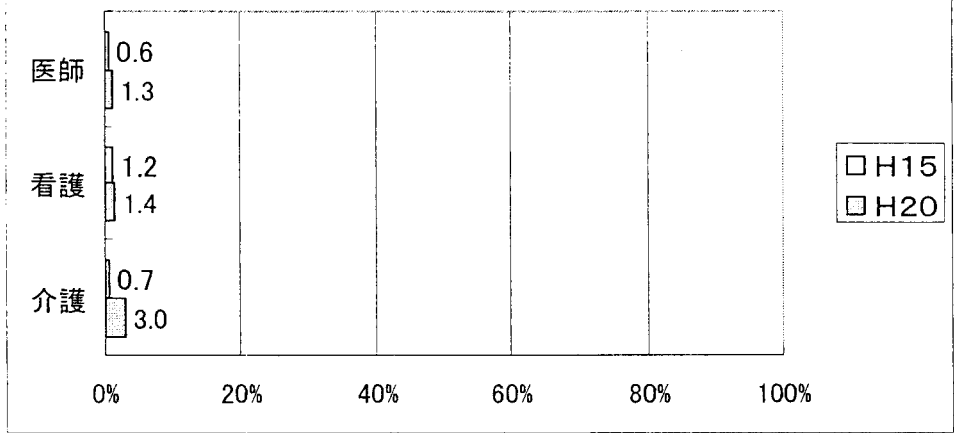
専門家からなる委員会の意見を参考にする



その他

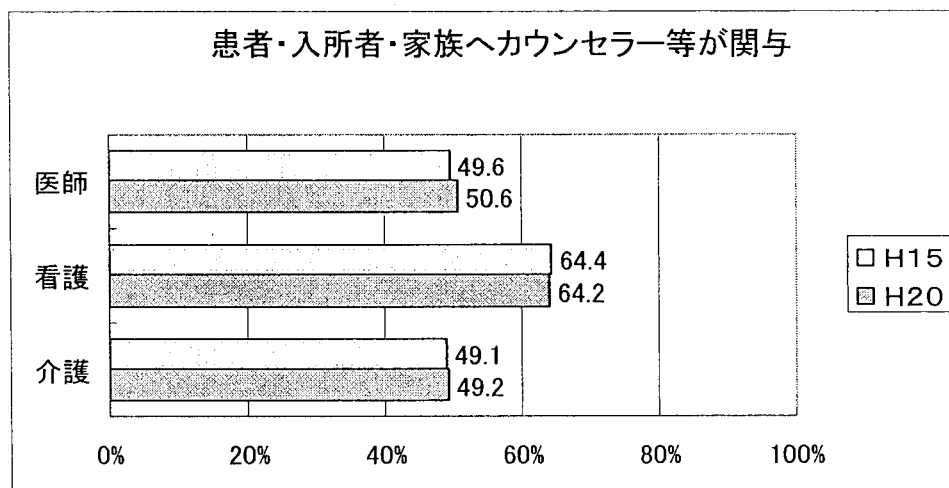
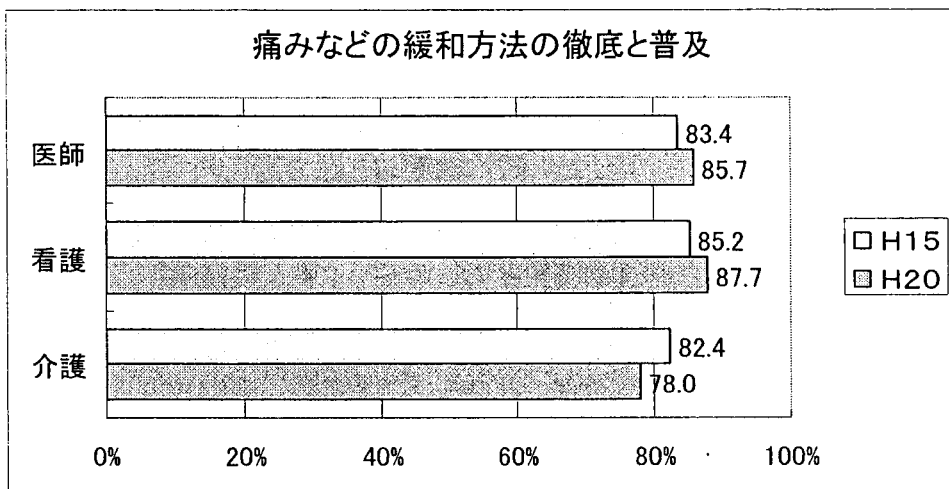


わからない

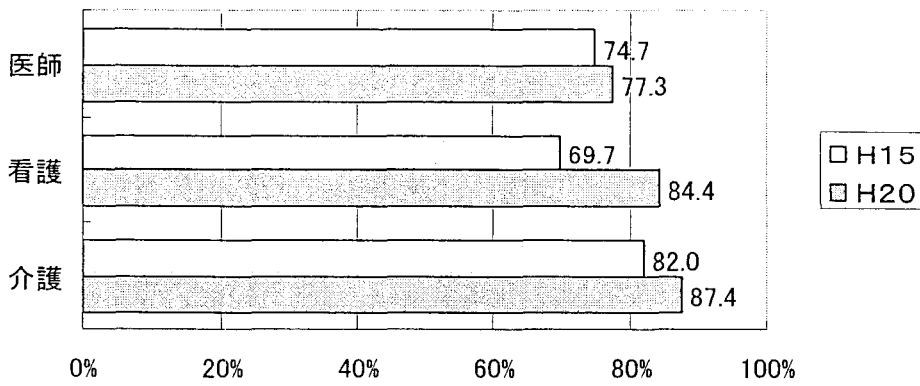


【(医療従事者) 問26】

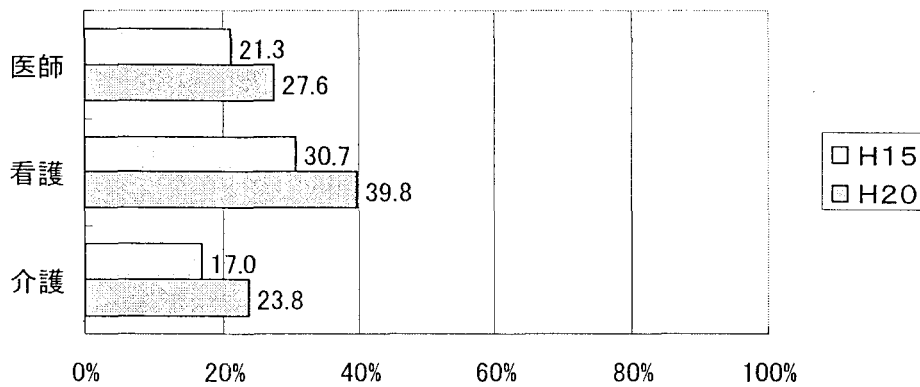
あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)



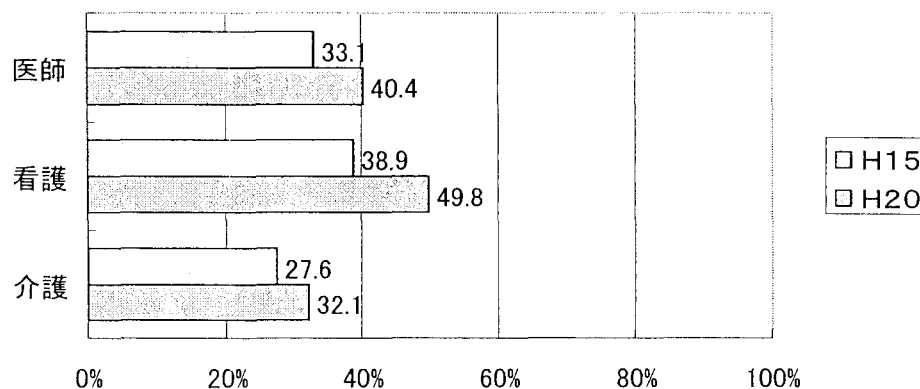
治療方針等に関する患者・入所者等との十分な話し合い



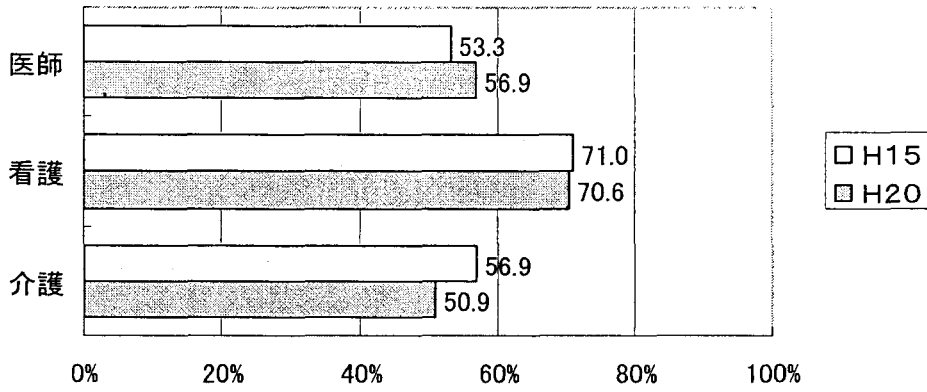
患者・入所者の死後、遺族への援助サービス



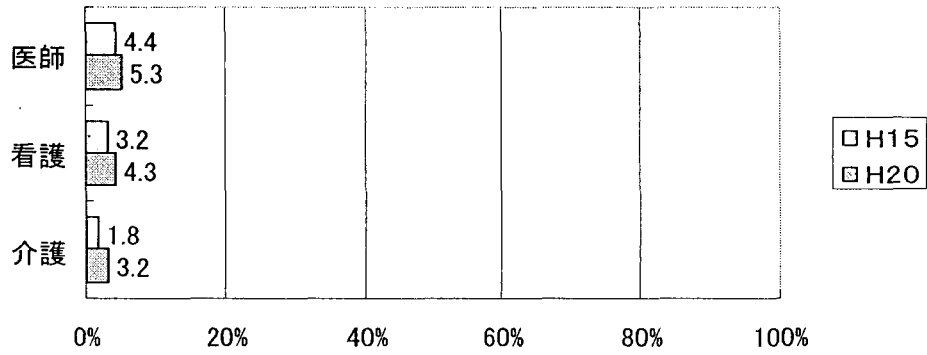
患者・入所者等の看護に関して看護師が関与



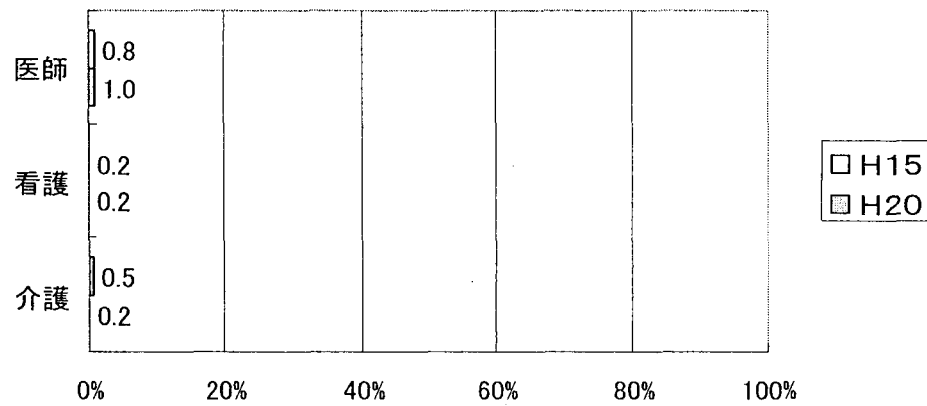
終末期医療におけるチーム医療充実



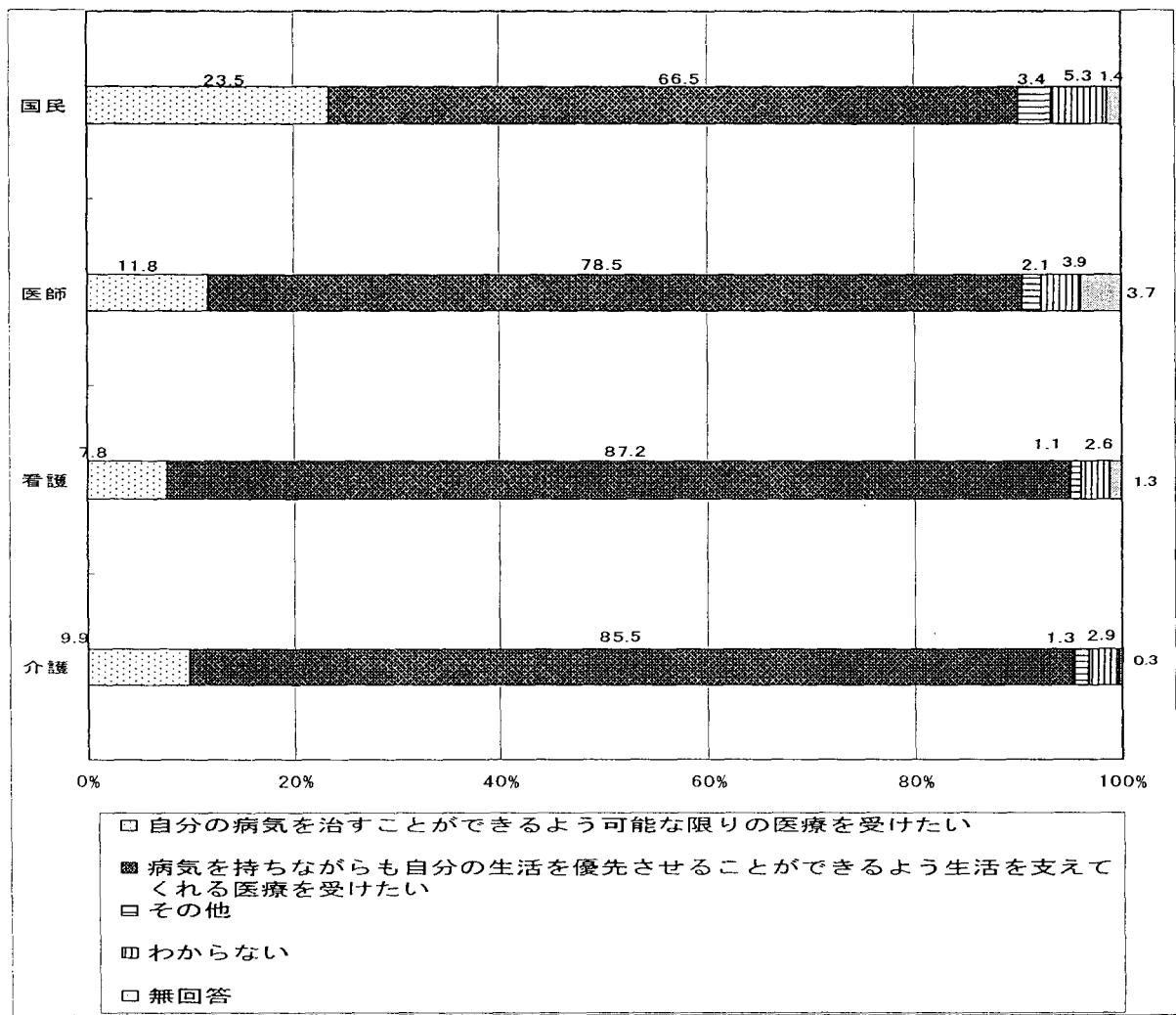
その他



特になし



【(一般) 問17、(医療従事者) 問29】 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(○は1つ)



調査票と結果の対照表

結果順

結果 ページ	調査票の問番号	
	一般国民	医療従事者
4	1	1
5	1 補問	1 補問
6	2	2
7	2 補問	2 補問
8		6
9		7
10		8
11	3	3
12	4	4
13	4 補問 1	4 補問 1
14	4 補問 2	4 補問 2
15	4 補問 3	9 補問 3
19	6	5
20	6 補問 1	5 補問 1
21	6 補問 2	5 補問 2
22	6	9
23	6 補問 1	9 補問 1
24	6 補問 2	9 補問 2
25	8	12
26	8 補問 1	12 補問 1
27	8 補問 2	12 補問 2
28	9	13
29	9 補問 1	13 補問 1
30	9 補問 2	13 補問 2
31	9	14
32		14 補問 1
33		14 補問 2
34	10	15
35	10 補問 1	15 補問 1
36	10 補問 2	15 補問 2
37	12	17
38	12 補問 1	17 補問 1
39	12 補問 2	17 補問 2
40		18
41		18 補問 1

結果 ページ	調査票の問番号	
	一般国民	医療従事者
42		18 補問 2
43	14 の 1	20 の 1
44	14 の 1 補問 1	20 の 1 補問 1
45	14 の 1 補問 2	20 の 1 補問 2
46	14 の 1 補問 3	20 の 1 補問 3
47	14 の 2	20 の 2
48	14 の 3	20 の 3
49	14 の 4	20 の 4
50	14 の 5	
51	14 の 6	20 の 5
52		28
53		28 補問
57	5 の 1	
58	5 の 2	10 の 2
59	5 の 2 補問	10 の 2 補問
63	7 の 1	10 の 1
64	7 の 2	10 の 2
65	7 の 2 補問	10 の 2 補問
69	11	16
70	11 補問 1	16 補問 1
73	11 補問 2	16 補問 2
81	13	19
82	13 補問 1	19 補問 1
85	13 補問 2	19 補問 2
89		11 の 1
90		11 の 2
91		27
95	15	21
96	16	22
97	16	23
98		25
99		25 補問
100		24
101		24 補問
107	17	29

一般国民問い順

調査票の問番号		結果
一般国民	医療従事者	ページ
1	1	4
1 補問	1 補問	5
2	2	6
2 補問	2 補問	7
3	3	11
4	4	12
4 補問 1	4 補問 1	13
4 補問 2	4 補問 2	14
4 補問 3	9 補問 3	15
5 の 1		57
5 の 2	10 の 2	58
5 の 2 補問	10 の 2 補問	59
6	5	19
6	9	22
6 補問 1	5 補問 1	20
6 補問 1	9 補問 1	23
6 補問 2	5 補問 2	21
6 補問 2	9 補問 2	24
7 の 1	10 の 1	63
7 の 2	10 の 2	64
7 の 2 補問	10 の 2 補問	65
8	12	25
8 補問 1	12 補問 1	26
8 補問 2	12 補問 2	27
9	13	28
9	14	31
9 補問 1	13 補問 1	29
9 補問 2	13 補問 2	30
10	15	34
10 補問 1	15 補問 1	35
10 補問 2	15 補問 2	36
11	16	69
11 補問 1	16 補問 1	70
11 補問 2	16 補問 2	73
12	17	37

調査票の問番号		結果
一般国民	医療従事者	ページ
12 補問 1	17 補問 1	38
12 補問 2	17 補問 2	39
13	19	81
13 補問 1	19 補問 1	82
13 補問 2	19 補問 2	85
14 の 1	20 の 1	43
14 の 1 補問 1	20 の 1 補問 1	44
14 の 1 補問 2	20 の 1 補問 2	45
14 の 1 補問 3	20 の 1 補問 3	46
14 の 2	20 の 2	47
14 の 3	20 の 3	48
14 の 4	20 の 4	49
14 の 5		50
14 の 6	20 の 5	51
15	21	95
16	22	96
16	23	97
17	29	107
	6	8
	7	9
	8	10
	11 の 1	89
	11 の 2	90
	14 補問 1	32
	14 補問 2	33
	18	40
	18 補問 1	41
	18 補問 2	42
	24	100
	24 補問	101
	25	98
	25 補問	99
	27	91
	28	52
	28 補問	53

医療従事者問い順

調査票の問番号		結果
医療従事者	一般国民	ページ
1	1	4
1 補問	1 補問	5
2	2	6
2 補問	2 補問	7
3	3	11
4	4	12
4 補問 1	4 補問 1	13
4 補問 2	4 補問 2	14
5	6	19
5 補問 1	6 補問 1	20
5 補問 2	6 補問 2	21
6		8
7		9
8		10
9	6	22
9 補問 1	6 補問 1	23
9 補問 2	6 補問 2	24
9 補問 3	4 補問 3	15
10 の 1	7 の 1	63
10 の 2	5 の 2	58
10 の 2	7 の 2	64
10 の 2 補問	5 の 2 補問	59
10 の 2 補問	7 の 2 補問	65
11 の 1		89
11 の 2		90
12	8	25
12 補問 1	8 補問 1	26
12 補問 2	8 補問 2	27
13	9	28
13 補問 1	9 補問 1	29
13 補問 2	9 補問 2	30
14	9	31
14 補問 1		32
14 補問 2		33
15	10	34

調査票の問番号		結果
医療従事者	一般国民	ページ
15 補問 1	10 補問 1	35
15 補問 2	10 補問 2	36
16	11	69
16 補問 1	11 補問 1	70
16 補問 2	11 補問 2	73
17	12	37
17 補問 1	12 補問 1	38
17 補問 2	12 補問 2	39
18		40
18 補問 1		41
18 補問 2		42
19	13	81
19 補問 1	13 補問 1	82
19 補問 2	13 補問 2	85
20 の 1	14 の 1	43
20 の 1 補問 1	14 の 1 補問 1	44
20 の 1 補問 2	14 の 1 補問 2	45
20 の 1 補問 3	14 の 1 補問 3	46
20 の 2	14 の 2	47
20 の 3	14 の 3	48
20 の 4	14 の 4	49
20 の 5	14 の 6	51
21	15	95
22	16	96
23	16	97
24		100
24 補問		101
25		98
25 補問		99
27		91
28		52
28 補問		53
29	17	107
	5 の 1	57
	14 の 5	50

第1回終末期懇談会ワーキング会議	資料4
平成20年12月19日	

コメント要領

参考：は、前回の報告書の該当部分のコメント。

- ・なし、の箇所は前回の報告書でコメントの無かったところ。
- ・問の修正や、問うている対象の違い(家族と担当患者、等)等で、コメント意図が異なる箇所がある。

(1) 終末期医療に対する関心

【問1】

近年、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらに関心がありますか。（○は1つ）

参考：終末期医療については、一般国民、医師、看護職員、介護施設職員の多くが、「非常に関心がある」、「まあ関心がある」と回答しており(般80%、医92%、看95%、介93%)、いずれも高い関心を持っている(P3)。また、年齢によらず、どの年齢層でも関心が高い(般75~84%、医86~100%、看57~97%、介92~100%)(P4、P5)。(注：一般国民、医師、看護師、介護施設職員の回答について、それぞれ般、医、看、介と省略している。)

コメント

【問1 補問】

(問1で「1非常に関心がある」「2まあ関心がある」をお選びの方に)あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

参考：なし

コメント

【問2】

あなたご自身が治る見込みがない病気になった場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

参考：国民、医師、看護職員、介護職員自身の多くが自分の病名や病気の見通しについて知りたいと思っており（77%（前回73%）、85%、88%、84%）、前回より微増している。

コメント

【問2補問】

（1「知りたい」をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けたいと思いませんか。（○は1つ）

参考：自分が治る見込みがない病気に罹患した場合に、病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいと回答した者の多くは、担当医師から直接説明を聞きたいと考えており（般92%、医98%、看98%、介96%）（P7）、医師、看護職員、介護施設職員の過半数は、治療方針の決定に当たって「患者本人の意見を聞く」、「患者本人の状況を見て誰にするか（意見を聞くか）を判断する」としている（医71%、看88%、介63%）（P10）。

コメント

(2) 病名や病気の見通しについての説明

【(医療従事者) 問6】

あなたの担当している患者(入所者)が治る見込みがない病気に罹患した場合、その病名や病気の見通し(治療期間、余命)について、まずどなたに説明をしますか。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(医療従事者) 問7】

あなたは病名や病気の見通しについて、患者(入所者)や家族が納得のいく説明ができていていると考えていますか。(○は1つ)

参考: 病名や病気の見通しについて、患者や家族が納得のいく説明ができていているかということに関しては、大半の医師、看護職員、介護職員が肯定的な回答であったが(87%, 62%, 77% (前回 88%, 65%)、3%の医師(前回 4%)、29%の看護職員(前回 27%)、14%の介護職員が「できていない」と答えている。

コメント

(3) 治療方針の決定

【(医療従事者) 問8】

あなたの担当している患者(入所者)が治る見込みがない病気に罹患した場合、その治療方針を決定するにあたり、まずどなたの意見を聞かれますか。(○は1つ)

参考: 治療方針の決定に当たって、「患者本人の意見を聞く」と回答した者(医14%、看17%、介6%)よりも、「患者本人の状況を見て誰にするか(意見を聞くか)を判断する」と回答した者が多く(医57%、看71%、介57%)、前回までの調査よりは「患者本人の意見を聞く」が若干増加している(医5%、看1%の増)(P10)。このことは、医療関係者が、患者本人の意思決定能力、家族の状況や気持ちを踏まえて、誰に説明するのが適切かを判断して説明していることを伺わせるものである。

コメント

(4) 死期が迫っている患者に対する医療のあり方

【問3】

あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている(数日程度あるいはそれより短い期間)と告げられた場合、心肺蘇生措置を望みますか。(○は1つ)

参考: 自分が痛みを伴う末期状態(死期が1か月程度よりも短い期間)の患者になった場合、心臓マッサージ等の心肺蘇生措置は「やめたほうがよい」、または「やめるべきである」と回答した者が多い(般70%、医90%、看91%、介79%)(P11)。

コメント

【問4】

あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

参考: 自分が痛みを伴う末期状態(死期が6か月程度よりも短い期間)の患者になった場合には、単なる延命医療について、「やめたほうがよい」、または「やめるべきである」と回答した者も多く(般74%、医82%、看87%、介83%)(P12)

コメント

【問4補問1】

(問4で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【問4補問2】

(問4で「2どちらかというとな延命医療を望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: 多くは、単なる延命医療を中止するときに、「痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法」(緩和医療)を選択し(般59%、医84%、看83%、介75%)、「あらゆる苦痛から解放され安楽になるために医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法」(積極的安楽死)を選択する者は少ない(般14%、医3%、看2%、介3%) (P13)。痛みを伴う末期状態となった場合、国民は単なる延命医療をやめることには肯定的であるが、その場合でも積極的な方法で生命を短縮させる行為は許容できないというのが、国民の間でほぼ一致していると考えられる。

コメント

【(一般) 問4 補問3】

【(医療従事者) 問9 補問3】

(問4、9の補問2で「3 医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法」をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要になるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつでもお選びください。(○はいくつでも)

参考: なし

コメント

【(一般) 問6 (医療従事者) 問5】では、あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

参考: 一方で自分の患者(または自分の家族)が痛みを伴う末期状態の患者になった場合については、単なる延命治療を中止することに肯定的である国民、医師、看護職員が微増したが(63%, 79%, 80%(前回 60%, 78%, 78%))、いずれも自分の場合より低くなっている。介護職員については、71%が単なる延命治療を中止することが良いと考えている。単なる延命治療であっても続けられるべきであると考えてる者はいずれも減少している。(21%, 12%, 9%(前回 23%, 14%, 9%))。

コメント

【(一般) 問6 補問1 (医療従事者) 問5 補問1】 (問6、5で「2 どちらかというに延命医療は望まない」「3 延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般) 問6 補問2 (医療従事者) 問5 補問2】 (問6、5で「2どちらかという」と延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般) 問6】 あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

【(医療従事者) 問9】 あなたが担当している患者(入所者)が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

参考: 一方で自分の患者(または自分の家族)が痛みを伴う末期状態の患者になった場合については、単なる延命治療を中止することに肯定的である国民、医師、看護職員が微増したが(63%, 79%, 80%(前回 60%, 78%, 78%))、いずれも自分の場合より低くなっている。介護職員については、71%が単なる延命治療を中止することが良いと考えている。単なる延命治療であっても続けられるべきであると考えてる者はいずれも減少している。(21%, 12%, 9%(前回 23%, 14%, 9%))。

コメント

【(一般)問6補問1】

【(医療従事者)問9補問1】

(問6、9で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問6補問2】(「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法を望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

【(医療従事者)問9補問2】(「2どちらかというとな延命医療は中止したほうがよい」「3延命医療は中止するべきである」をお選びの方に)この場合、具体的にはどのような医療・ケア方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

(5) 遷延性意識障害の患者に対する医療のあり方

【(一般) 問8, (医療従事者) 問12】

あなたご自身が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

参考: 自分が治る見込みのない植物状態になった場合、単なる延命治療を中止することに肯定的である国民、医師・看護職員が微増し(81%, 85%, 87%, 84%(前回 70-80%)、単なる延命治療であっても続けられるべきであると考えた国民、医師、看護職員、介護職員は10%, 8%, 7%, 6%(前回 9%, 7%, 4%)も微増している。

コメント

【(一般) 問8 補問1, (医療従事者) 問12 補問1】

(問8、12で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般) 問8 補問2, (医療従事者) 問12 補問2】

(問8、12で「2どちらかというとな延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)

この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: その延命治療の中止の方法について、国民、医師、看護職員、介護職員の53%, 62%, 71%, 65%(前回 53%, 64%, 68%)が人工呼吸器等生命の維持のために特別に用いられる治療を中止して良いが、それ以外の治療は続けるとしている。

コメント

【(一般)問9 (医療関係者)問13】あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

参考: 自分の患者(または家族)が治る見込みのない植物状態になった場合については、単なる延命治療を中止することに肯定的な国民、医師、看護職員は減少し(65%, 75%, 70%(前回 64%, 78%, 74%))、いずれも自分の場合より低くなっている。介護職員については、71%が単なる延命治療を中止することに好意的である。単なる延命治療であっても続けられるべきであるとする国民、医師・看護職員は19%, 13%, 12%(前回 19%, 13%, 9%)である。

コメント

【(一般)問9補問1 (医療関係者)問13補問1】 (問9、13で「2どちらか」というと延命医療は望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問9補問2 (医療関係者)問13補問2】 (問9、13で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に)この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: その延命治療の中止の方法について、国民、医師、看護職員、介護職員の60%, 72%, 81%, 77%(前回 63%, 77%, 82%)が「人工呼吸器等生命の維持のために特別に用い

られる治療を中止して良いが、それ以外の治療は続ける」と回答しており、いずれも自分の場合より多くなっている。具体的治療としては、喀痰吸飲、全身清拭、床ずれの手当て目の乾燥防止等が多くなっている。

コメント

【(一般) 問9】あなたの家族が、遷延性意識障害で治る見込みがないと診断された場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

【(医療従事者) 問14】あなたの担当している患者が遷延性意識障害で治る見込みがない場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

参考：自分の患者（または家族）が治る見込みのない植物状態になった場合については、単なる延命治療を中止することに肯定的な国民、医師、看護職員は減少し（65%, 75%, 70%(前回 64%, 78%, 74%)）、いずれも自分の場合より低くなっている。介護職員については、71%が単なる延命治療を中止することに好意的である。単なる延命治療であっても続けられるべきであると考える国民、医師・看護職員は19%, 13%, 12%(前回 19%, 13%, 9%)である。

コメント

【(医療従事者) 問14補問1】（問14で「2どちらか」というと延命医療は中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に）この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考：なし

コメント

【(医療従事者) 問14補問2】 (問14で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: その延命治療の中止の方法について、国民、医師、看護職員、介護職員の60%, 72%, 81%, 77%(前回 63%, 77%, 82%)が「人工呼吸器等生命の維持のために特別に用いられる治療を中止して良いが、それ以外の治療は続ける」と回答しており、いずれも自分の場合より多くなっている。具体的治療としては、喀痰吸飲、全身清拭、床ずれの手当て目の乾燥防止等が多くなっている。

コメント

(6) 脳血管障害や認知症等によって全身状態が悪化した患者に対する医療のあり方

【(一般)問10 (医療関係者)問15】あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問10補問1 (医療関係者)問15補問1】 (問10、15で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問10補問2 (医療関係者)問15補問2】 (問10、15で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問12 (医療関係者)問17】 あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療を望みますか。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問12補問1 (医療関係者)問17補問1】 (問12、17で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような時期に中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(一般)問12補問2 (医療関係者)問17補問2】 (問12、17で「2延命医療をどちらかという望まない」「3延命医療は望まない」をお選びの方に) この場合延命医療を望まないとき、具体的にはどのような治療を中止することを望みますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: なし

コメント

【(医療従事者)問18】 あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障

害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みがなく、全身の状態が極めて悪化した場合、延命医療の中止についてどのようにお考えになりますか。
(○は1つ)

参考:なし

コメント

【(医療従事者) 問18補問1】 (問18で「2延命医療をどちらかという中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考:なし

コメント

【(医療従事者) 問18補問2】 (問18で「2延命医療をどちらかという中止すべきである」「3延命医療は中止すべきである」をお選びの方に) この場合、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考:なし

コメント

(7) リビング・ウィルと患者の意思の確認方法

【(一般) 問14-1, (医療従事者) 問20-1】

「治る見込みがなく、死期が近いときには、延命医療を拒否することをあらかじめ書面に記しておき、本人の意思を直接確かめられないときはその書面に従って治療方針を決定する。」(リビングウィル) という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

参考:リビング・ウィル(書面による生前の意思表示)の考え方に「賛成する」と回答した者は、前回調査結果よりも増加して、過半数となっており(般59%(48%)、医75%(70%)、看75%(68%)、介76%、()内は前回調査結果。以下同じ。)(P26)、書面で自分の意思を明示しておくというリビング・ウィルの考え方が国民の間に受け入れられつつあると考えられる。また、書面にする必要はないが、「患者の意思を尊重するという考え方には賛成する」者を含めると、治る見込みがなく、死期が近いときの治療方針に関し、国民の多くは、患者本人の意思を尊重することに賛成している(般84%、医88%、看89%、介87%)

コメント

【(一般) 問14-1 補問1, (医療従事者) 問20-1 補問1】

(リビングウィルについて1「賛成する」をお選びの方に)書面による本人の意思表示という方法について、わが国ではどのように扱われるのが適切だとお考えですか。(○は1つ)

参考:しかしながら、書面による本人の意思表示という方法について、「そのような書面が有効であるという法律を制定すべきである」とする国民は、前回調査結果よりも減少して、半数を下回っている(般37%(49%)、医48%(55%)、看44%(52%)、介38%)(P27)。

コメント

【(一般) 問14-1 補問2, (医療従事者) 問20-1 補問2】

(リビングウィルについて1「賛成する」をお選びの方に)死期が近い時の治療方針についての意思について入院(入所)前、入院(入所)時、あるいは、入院(入所)後に、病院や介護施設(老人ホーム)から、書面により患者(入所者)の意思を尋ねるという

考え方についてどのように思いますか。(○は1つ)

参考：リビング・ウィルについて、「賛成する」と回答した者のうち、死期が近いときの治療方針についての医師について病院や介護施設から、書面により患者の意思を尋ねるといった考え方に賛成する者が約70%を占めるが、書面で尋ねる時期については意見が分かれています。

コメント

【(一般)問14-1補問3, (医療従事者)問20-1補問3】

(リビングウィルについて1「賛成する」をお選びの方に)書面に残すとしたらいつの時期が良いと思いますか。

参考：リビング・ウィルについて、「賛成する」と回答した者のうち、死期が近いときの治療方針についての医師について病院や介護施設から、書面により患者の意思を尋ねるといった考え方に賛成する者が約70%を占めるが、書面で尋ねる時期については意見が分かれています。

コメント

【(一般)問14-2】このような書面を見せれば、医師はその内容を尊重してくれると思いますか。(○は1つ)

【(医療従事者)問20-2】このような書面について、あなた自身はその内容を尊重しますか。(○は1つ)

参考：リビング・ウィルについてその内容を尊重するかどうかについては、医師では半数以上(60%(前回53%))が「尊重する」と回答しているが、国民、看護職員、介護職員に医師がそのような書面を尊重するかどうか聞いたところ、「そのときの状況による」としている者が多い。(45%, 57%, 60%(前回42%, 54%))

コメント

【(一般)問14-3, (医療従事者)問20-3】

あなたは、この書面を作成した後も、状況の変化等によってあなたの考えが変わった場合、何度でも書き直すことが可能であることをご存じですか。(○は1つ)

参考:なし

コメント

【(一般)問14-4, (医療従事者)問20-4】

事前に本人の意思の確認ができなかった患者(入所者)の場合、「家族や後見人が延命医療を拒否したら、それを本人の意思の代わりとして治療方針などを決定すればよい」(書面ではなく代理人による意思表示)という考え方についてどう思いますか。(○は1つ)

参考: 医師、看護職員、介護職員においては、事前に患者本人の意思が確認できなかった場合、家族や後見人が、それを患者本人の意思の代わりとして治療方針などを決定するという考え方については、過半数が肯定的であり、医師、看護職員で増加していた。(57%, 67%, 62%, 60%(前回 57%, 61%, 51%) 代理人の適任者としては配偶者をあげる者が過半数を占める(63%, 73%, 66%, 63%)。

コメント

【(一般)問14-5】

では、あなたは、自分が終末期に明確な意思表示を行うことが困難と思われる場合、事前に治療方針に関する判断をあなた以外の方に任せておくことは可能ですか。

参考:なし

コメント

【(一般) 問14-6】 あなたは、自分が終末期に明確な意思表示が示せない場合、治療方針の決定についてどのようにしてほしいですか。(○は1つ)

【(医療従事者) 問20-5】 本人の明確な意思表示が全くわからない場合の終末期における治療方針の決定についてどう思いますか。(○は1つ)

参考:なし

コメント

(8) 終末期医療に対する悩み、疑問

【(医療従事者) 問28】

あなたは、終末期医療に対して、悩みや疑問を感じた経験がありますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考：終末期医療について、悩みや疑問を「頻繁に感じる」「たまに感じる」医師、看護職員、介護職員は各々86%, 91%, 84%であり(前回 89%, 91%)、

コメント

【(医療従事者) 問28補問】

(1「頻繁に感じる」か「2たまに感じる」をお選びの方へ) 痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)患者(入所者)の診療にあなた自身が携わって、どんな難しさを感じていますか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

参考：医師では「患者への病名、病状の説明をすること」「病院内の終末期医療施設が乏しいこと」、看護職員、介護職員では「痛みをはじめとした症状の緩和」、「病院内の終末期医療施設が乏しいこと」に難しさを感じている。

コメント

(9) 終末期における療養の場所

1) 死期が迫っている患者

【(一般) 問5-1】

あなたご自身が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。(○は1つ)

参考: 自分が高齢になった場合の療養場所としては、医療関係者は自宅(医師49%、看護職員41%、介護職員38%)や介護療養型医療施設等(医師23%、看護職員27%、介護職員18%)で療養することを望んでいる者が多いが、国民は一般の急性期病院で療養することを望んでいる者が多い(38%)。介護職員は介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)で療養することを望んでいる者も多い(国民10%、医師7%、看護職員13%、介護職員26%)。

コメント

【(一般) 問5-2, (医療従事者) 問10-2】

自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

参考:なし

コメント

【(一般) 問5-2 補問, (医療従事者) 問10-2 補問】

(「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(○はいくつでも)

参考: 自宅で最後まで療養するのが困難な理由としては、「自宅では緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから」をあげる者が多い。

コメント

【(一般) 問7-1】

あなたの家族が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。(○は1つ)

【(医療従事者) 問10-1】

あなたが担当している患者(入所者)が治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)場合、療養生活はどこを薦めますか。(○は1つ)

参考: 自分の患者(または家族)が高齢になった場合の療養場所としては、医療関係者は介護療養型医療施設等(医師34%、看護職員38%、介護職員27%)で療養することを望んでいる者が多いが、国民は一般病院で療養することを望んでいる者が多い(41%)。介護職員は介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)で療養することを望んでいる者も多い(国民9%、医師8%、看護職員10%、介護職員33%)。

コメント

【(一般) 問7-2 (医療従事者) 問10-2】

あなたの家族(担当者)は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(○は1つ)

参考:なし

コメント

【(一般) 問7-2 補問 (医療従事者) 問10-2 補問】

(問7-2、10-2で「2実現困難である」をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどのようなことでしょうか。お考えに近いものをお選びく

ださい。(〇はいくつでも)

参考:なし

コメント

2) 脳血管障害や認知症によって全身状態が悪化した患者

【(一般) 問11, (医療従事者) 問16】

あなたが高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療養したいですか。(〇は1つ)

参考: 自分が高齢になった場合の療養場所としては、医療関係者は自宅(医師 49%、看護職員 41%、介護職員 38%)や介護療養型医療施設等(医師 23%、看護職員 27%、介護職員 18%)で療養することを望んでいる者が多いが、国民は一般の急性期病院で療養することを望んでいる者が多い(38%)。介護職員は介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)で療養することを望んでいる者も多い(国民 10%、医師 7%、看護職員 13%、介護職員 26%)。

コメント

【(一般) 問11 補問1, (医療従事者) 問16 補問1】

(問11で「1 自宅」をお選びの方へ)なぜ、自宅で最期まで療養したいと思いますか。

参考: 自宅で療養したいと回答した者は、その理由として「住み慣れた場所で最後を迎えたい」「最後まで好きなように過ごしたい」をあげる者が多い。

コメント

【(一般) 問 1 1 補問 2】(「2 病院」「3 老人ホーム」「4 その他」をお選びの方へ)
あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養したいと思ったのですか。(〇はいくつ
でも)

自宅以外で療養したいと回答した者は、その理由として「自宅では家族の介護などの
負担が大きいため」をあげる者が多く、自宅で最後まで療養するのが困難な理由とし
ては、「自宅では緊急時に家族へ迷惑をかけるかもしれないから」をあげる者が多い。

コメント

【(一般) 問 1 3】あなたの家族が高齢となり、脳血管障害や認知症等によって日常
生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になった場合、どこで最期まで療
養させたいですか。(〇は 1 つ)

【(医療従事者) 問 1 9】あなたの担当する患者(入所者)が高齢となり、脳血管障
害や認知症等によって日常生活が困難となり、さらに、治る見込みのない状態になっ
た場合、どこで最期まで療養させたいですか。(〇は 1 つ)

参考: 自分の患者(または家族)が高齢になった場合の療養場所としては、医療関係
者は介護療養型医療施設等(医師 34%、看護職員 38%、介護職員 27%)で療養すること
を望んでいる者が多いが、国民は一般病院で療養することを望んでいる者が多い(41%)。
介護職員は介護老人保健施設(特別養護老人ホーム)で療養することを望んでいる者
も多い(国民 9%、医師 8%、看護職員 10%、介護職員 33%)。

コメント

【(一般) 問 1 3 補問 1 (医療従事者) 問 1 9 補問 1】 (問 1 3、1 9 で「1 自宅」
をお選びの方へ) なぜ、自宅で最期まで療養させたいと思いますか。(〇はいくつで
も)

参考: なし

コメント

【(一般) 問13補問2 (医療従事者) 問19補問2】 (問13、19で「2一般病院 3介護療養型医療施設 4介護老人保健施設」をお選びの方へ) あなたはなぜ自宅以外の場所で最期まで療養させたいと思ったのですか。(〇はいくつでも)

参考: なし

コメント

(10) がん疼痛治療法とその説明

【(医療従事者) 問11-1】

あなたは世界保健機関 (WHO) が作成した「WHO方式癌疼痛治療法」をご存じですか。(○は1つ)

参考: 「WHO方式癌疼痛治療法」について「内容をよく知っている」「内容をある程度知っている」者をあわせると、医師 43%(前回 46%)、看護職員 20%(前回 22%)といずれも微減しており、介護職員では、「(あることも) 知らない」者が 69%を占める。

コメント

【(医療従事者) 問11-2】

あなたは、モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について、患者(入所者)にわかりやすく具体的に説明することができますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

参考: モルヒネの使用にあたって、有効性と副作用について患者にわかりやすく具体的に説明することができる者は医師、看護職員とも微減しており(42%, 20%(前回 45%, 25%))、介護職員では 59%が説明できないと回答している。

緩和ケア病棟においては、「WHO方式癌疼痛治療法」について、内容を知っている医師、看護職員の割合(医92%、看88%)は、その他の病院、診療所等(医41%、看17%)に比べて多く、モルヒネの有効性と副作用について患者にわかりやすく具体的に説明することができる医師、看護職員の割合(医97%、看76%)も、その他の病院、診療所等(医40%、看17%)に比べて多くなっている(P55)。

コメント

(11) 終末期医療体制の充実

【(医療従事者) 問27】

あなたは、終末期医療の普及に関し、どのようなことを充実していくべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

参考：終末期医療の普及のために充実していくべき点について、医師では、「在宅終末期医療が行える体制づくり」が最も多く(63%(前回48%))、次いで「患者、家族への相談体制の充実」(59%(前回54%))、「医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や障害研修の充実」(59%(前回63%))であり、看護職員では「在宅終末期医療が行える体制づくり」が最も多く(76%(前回57%))、次いで「患者、家族への相談体制の充実」(70%(前回69%))、「緩和ケア病棟の設置と拡充」(59%(前回65%))をあげている。介護職員では「患者・入所者・家族への相談体制の充実」(73%)、「在宅終末期医療が行える体制づくり」(69%)、「医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や障害研修の充実」(53%)が多くなっている。

コメント

【(一般) 問15 (医療従事者) 問21】 あなたは、自分自身の延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、ご家族で話し合ったことがありますか。(〇は1つ)

参考：なし

コメント

【(一般) 問16、(医療従事者) 問22】 延命医療を続けるべきか中止するべきかという問題について、医師と患者の間で十分な話し合いが行われていると思われますか。(〇は1つ)

【(医療従事者) 問23】 あなたの施設では、終末期医療における治療方針について、医師や看護・介護職員等の職員間で十分な話し合いが行われていると思いますか。

参考：単なる延命医療を続けるべきかどうかについて、医師と患者・入所者の間で十

分な話し合いが「不十分と思う」「行われているとは思わない」と回答した者が多い（国民 56% 医師 55%, 看護職 61% 介護職員 56%）。

コメント

【(医療従事者) 問25】あなたは終末期状態の定義や延命治療の不開始、中止等に関する一律な判断基準についてどう考えますか。

参考: なし

コメント

【(医療従事者) 問25補問】（問25で「1 詳細な基準を作るべきである」をお選びの方に）現時点で、そのような基準は作成可能だと思いますか

参考: なし

コメント

【(医療従事者) 問24】
終末期医療において、治療方針について医師や看護・介護職員等の間に意見の相違があったことがありますか。（○は1つ）

参考: 終末期医療の治療方針について医師や看護職員等の間に意見の相違が起こった経験の有無については、医師、看護職員、介護職員ではそれぞれ 57%, 65%, 43% (前回 40%, 60%) がその経験を持っており、

コメント

【(医療従事者) 問24補問】

(「1ある」をお選びの方に) その場合、意見の調整を多くの場合どのように図ってきましたか。(〇はいくつでも)

参考: その場合の意見調整の方法は、「本人または家族の意見にもとづく」と回答する者が多い。

コメント

【(医療従事者) 問26】

あなたは、終末期医療において、どのようなことを今後重点的に行うべきだとお考えですか。あなたのお考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

参考: 終末期医療の普及のために充実していくべき点について、医師では、「在宅終末期医療が行える体制づくり」が最も多く(63%(前回48%))、次いで「患者、家族への相談体制の充実」(59%(前回54%))、「医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や障害研修の充実」(59%(前回63%))であり、看護職員では「在宅終末期医療が行える体制づくり」が最も多く(76%(前回57%))、次いで「患者、家族への相談体制の充実」(70%(前回69%))、「緩和ケア病棟の設置と拡充」(59%(前回65%))をあげている。介護職員では「患者・入所者・家族への相談体制の充実」(73%)、「在宅終末期医療が行える体制づくり」(69%)、「医師・看護師等医療従事者や、介護施設職員に対する、卒前・卒後教育や障害研修の充実」(53%)が多くなっている。

コメント

【(一般) 問17、(医療従事者) 問29】 あなたは医療に対してどのようなことを望みますか。(○は1つ)

参考: なし

コメント